

令和4年8月24日

市政記者クラブ 各位

交通局総務課長

令和4年度「福岡市地下鉄事業概要」の送付について

日頃より本市地下鉄事業について格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、この度、令和4年度「福岡市地下鉄事業概要」を作成しましたので、送付させていただきます。

今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。

【連絡先】

交通局総務部総務課

担当：作本、田平

TEL：092-732-4105

(内線：140-4105)

福岡市地下鉄

事業概要

令和4年度

福岡市交通局

安全方針

1. 安全を全てに優先する。
1. 安全に関する規程を遵守する。
1. 誠実、厳正に職務を遂行する。

安全行動規範

1. 一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
2. 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
3. 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
4. 車両、線路、保安設備等を常に安全な状態に保持するよう努めます。
5. 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
6. 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
7. 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
8. 常に問題意識を持ち、業務の見直しが必要な場合は、積極的に対処します。

目 次

福岡市地下鉄路線図

第 1 交通局の概要

1. 営業路線の概要	1
2. 開業の経緯	2
3. 七隈線延伸事業の概要	2
4. 設備・規格等	3
(1) 空港線・箱崎線	3
(2) 七隈線	3
5. 組織及び職員	4
(1) 組織図	4
(2) 組織の変更概要	5
(3) 管区駅の概要	5
(4) 種類別、費目別職員数	5

第 2 安全対策

1. 安全管理体制	6
(1) 組織体制	6
(2) 安全に関する会議	6
2. 安全重点施策	7
3. 安全に関する設備投資	7
4. 鉄道運転事故・インシデント・輸送障害	7

第 3 財務

1. 総事業費及び財源	8
2. 企業債現在高	8
3. 国及び一般会計からの補助金、出資金	9
4. 収益的収支の推移	10
5. 令和 4 年度 高速鉄道事業会計予算	11
6. 令和 4 年度 主な建設改良事業	12
7. 重要施策	12

第4 環境への取組

1. 環境にやさしい地下鉄	15
2. 地下鉄の利用促進	15
3. 環境負荷低減の取組	16

第5 営業

1. 乗車料金制度	17
(1) 料金改定の推移	17
(2) 料金制度の概要	17
(3) 料金区界表	19
2. 料金表等	20
(1) 料金の種別及び金額	20
(2) 割引乗車券の種別及び金額	20
(3) 企画乗車券の種別及び金額	21
3. 連絡運輸制度	21
4. ICカード乗車券「はやかけん」	22
5. 運輸実績	24
(1) 総括表	24
(2) 輸送人員（1日平均）と定期率の推移	25
(3) 運輸収入（1日平均）と1人平均支払運賃の推移	25
(4) 乗車券別輸送人員（令和3年度）	26
(5) 乗車券別運輸収入（令和3年度）	27
(6) 駅別乗車人員の推移（年度別1日平均）	28
(7) 駅別乗車人員の推移（令和3年度、月別1日平均）	29
(8) 広告取扱額の推移	30
(9) 駅ナカ事業収入の推移	30

第6 運転

1. 運転本数	31
(1) 空港線・箱崎線	31
(2) 七隈線	31
2. 運転時隔	31
3. 始終発時刻	31

4. 標準運転時分	32
(1) 空港線・箱崎線	32
(2) 七隈線	32
5. 主要駅までの平均所要時分	33
6. 乗車効率、混雑率等	33

第7 駅設備等

1. 駅設備	34
(1) 空港線・箱崎線	34
(2) 七隈線	36
2. バリアフリー対応設備	38
(1) 空港線・箱崎線	38
(2) 七隈線	40
3. 駐輪場及び駐車場設備	42
(1) 空港線・箱崎線	42
(2) 七隈線	43
(3) 全線	43

第8 線路設備及び土木構造物

1. 線路設備	44
2. 土木構造物	44

第9 車両及び車両基地

1. 車両	45
(1) 車両諸元	45
(2) 列車編成図	50
2. 車両基地	50
3. 検修作業の概要	51

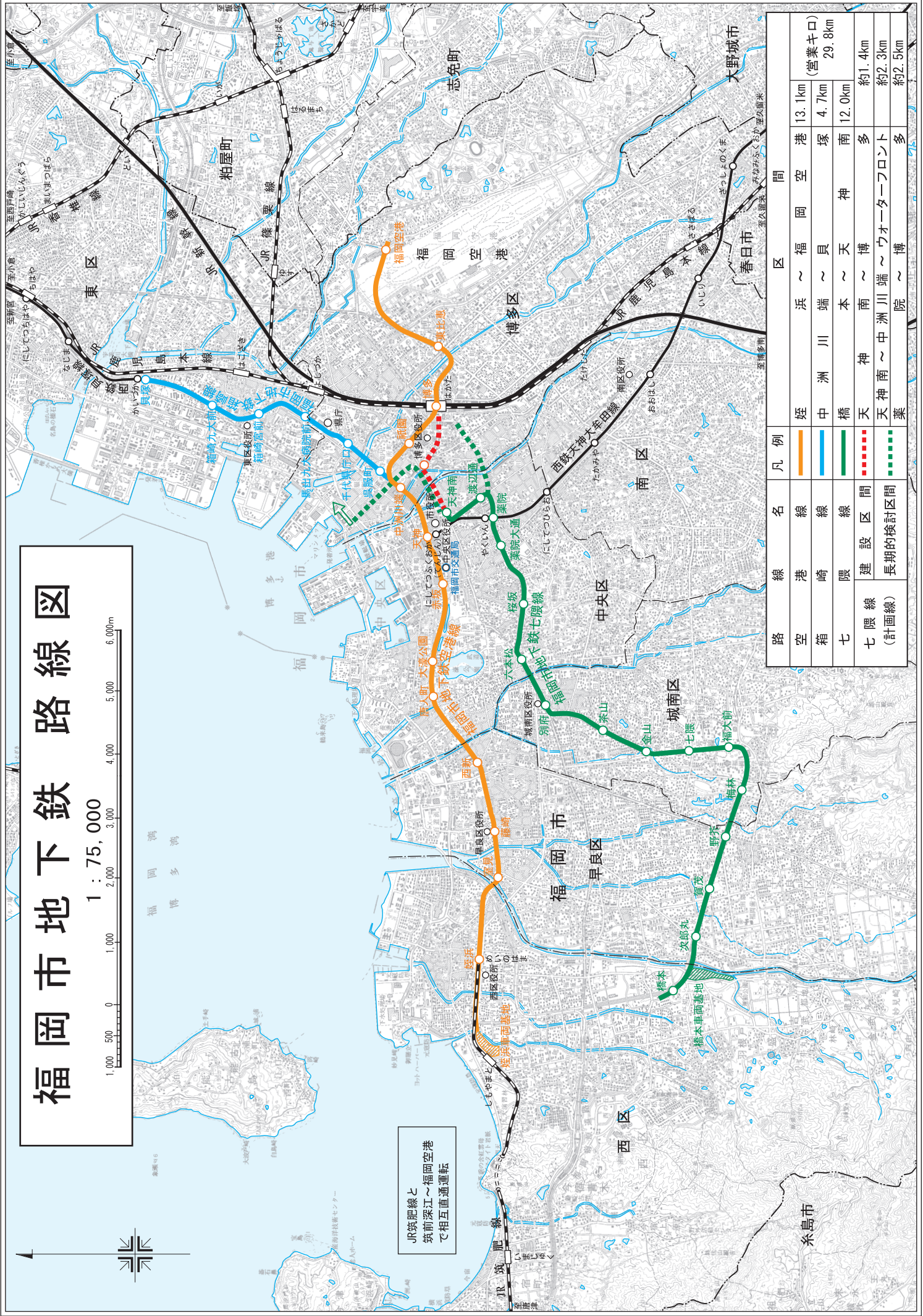
第10 電気設備

1. 電力設備一覧表	52
2. 受配電系統図	53
(1) 空港線・箱崎線	53
(2) 七隈線	53

3. 信号設備一覧表	54
4. 通信設備一覧表	54
5. トータルシステム図	55
(1) 空港線・箱崎線	55
(2) 七隈線	56
第11 お客様の声	57
1. 収受方法別実績	57
2. 内容別実績	57
3. お客様の声を反映した主な取組	57
第12 経緯	58
第13 交通対策特別委員会調査報告の概要	69

参考資料

1. 福岡市及び北九州市を中心とする北部九州都市圏における旅客輸送力の整備 増強に関する基本的計画について （昭和46年3月11日 都市交通審議会答申第12号）	72
2. 福岡県における公共交通機関の維持整備に関する計画について（抜粋） （平成元年10月16日 九州地方交通審議会答申第4号）	75
3. 福岡都市高速鉄道路線等について （昭和47年2月22日 都市交通対策特別委員会決定）	78
4. 福岡都市高速鉄道の建設に伴う経営（建設）主体並びに緊急に建設すべき 路線等について （昭和48年2月21日 都市交通対策特別委員会決定）	79
5. 高速鉄道の整備計画 （昭和49年2月20日 福岡都市圏交通対策協議会決定）	80



福岡市地下鉄路線図

1 : 75,000

1,000 500 0 1,000 2,000 3,000 4,000 5,000 6,000m

JR筑肥線と
筑前深江～福岡空港
で相互直通運転

路線名	凡例	区間	長さ
空港線	オレンジ線	姪浜～福岡空港	13.1km
箱崎線	青線	中洲川端～貝塚	4.7km
七隈線	緑線	橋本～天神南	12.0km
七隈線 (建設中)	赤点線	天神南～博多	約1.4km
七隈線 (計画線)	緑点線	天神南～中洲川端	約2.3km
		博多～博多	約2.5km

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したものである。(承認番号 平28九環 第62号) 「許可なく複製を禁ず」

第 1 交 通 局 の 概 要

1. 営業路線の概要

福岡市地下鉄は、昭和56年7月に室見～天神間5.8kmを開業して以来、順次、延伸・開業を重ね、平成5年3月に博多～福岡空港間を開業したことにより、空港線（1号線、姪浜～福岡空港、13.1km）、箱崎線（2号線、中洲川端～貝塚、4.7km）の全区間が開業した。

その後、市西南部における慢性的な交通渋滞を緩和し、効率的で利便性の高い公共交通体系の確立を図るとともに、均衡あるまちづくりを推進するため、七隈線（3号線、橋本～天神南、12.0km）の建設を進め、平成17年2月に開業し、現在では、3路線全線で計29.8kmとなった。

令和元年度には1日あたりの輸送人員は47万人以上と10年連続で増加していたが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により輸送人員は急減し、令和3年度の1日あたりの輸送人員は34万人まで落ち込んだ。

令和5年3月には七隈線延伸区間（天神南～博多 営業キロ：約1.6km）の開業を予定しており、七隈線と空港線が博多駅で直結するなど公共交通機関として、市民生活、都市活動に不可欠な都市基盤施設となっている。

また、空港線が姪浜駅でJR筑肥線と相互直通運転を行っているほか、天神駅では西鉄天神大牟田線と、博多駅では新幹線やJR鹿児島本線と接続、箱崎線が貝塚駅で西鉄貝塚線と接続しており、七隈線も薬院駅で西鉄天神大牟田線と、天神南駅で空港線及び西鉄天神大牟田線と接続しており、福岡都市圏の基幹交通網の要としての役割を担っている。

さらに、空港線は、地下鉄として全国で初めて空港乗入れを実現し、空港から博多駅まで5分、都心の天神まで11分の利便性を確保しており、地下鉄路線を軸として、九州旅客鉄道株式会社（JR九州）、西日本鉄道株式会社の各路線と航空路線を結ぶ広域交通ネットワークを形成している。

項目		路線名	空港線 (1号線)	箱崎線 (2号線)	小計	七隈線 (3号線)	計
線 区 概 要	区間（起・終点）		姪浜～ 福岡空港	中洲川端 ～貝塚	—	橋本～天神南	—
	建設キロ		14.9km	5.2km	20.1km	12.7km	32.8km
	営業キロ		13.1km	4.7km	17.8km	12.0km	29.8km
	駅数		13 駅	7 駅 (含中洲川端)	19 駅	16 駅	35 駅
	平均駅間距離		1.09km	0.78km	0.99km	0.80km	0.90km
	相互直通運転		筑肥線 地下鉄線	筑前深江～姪浜 姪浜～福岡空港	20.1km 13.1km	—	—
建設費		4,113億円 (205億円/km)				2,811億円 (221億円/km)	—
工法		開削工法、山岳トンネル工法、シールド工法、ケーソン工法					—
事業期間		昭和49年度～平成5年度				平成7年度～ 平成18年度	—

2. 開業の経緯

開業年月日	空港線		箱崎線		七隈線		累計
	開業区間	開業キロ	開業区間	開業キロ	開業区間	開業キロ	
昭和56年 7月26日	室見～天神	5.8 ^{km}		km		km	5.8 ^{km}
昭和57年 4月20日	天神～ 中洲川端	0.8	中洲川端 ～呉服町	0.5			7.1
昭和58年 3月22日	姪浜～室見	1.5					10.0
	中洲川端～ 博多(仮)	1.4					
昭和59年 4月27日			呉服町～ 馬出九大病院前	1.6			11.6
昭和60年 3月3日	博多(仮) ～博多	0.3					11.9
昭和61年 1月31日			馬出九大病院前 ～箱崎九大前	1.6			13.5
昭和61年 11月12日			箱崎九大前 ～貝塚	1.0			14.5
平成5年 3月3日	博多～ 福岡空港	3.3					17.8
平成17年 2月3日					橋本～天神南	12.0	29.8

※ 開業キロは、開業した区間の長さ（キロ）を表す。

3. 七隈線延伸事業の概要

七隈線は、市西南部地域の慢性的な交通渋滞の緩和、効率的で利便性の高い公共交通体系の確立、均衡あるまちづくりの推進を目的として計画され、平成17年2月に橋本～天神南間（12.0km）を開業した。

しかしながら、都心部区間が未整備で残され、鉄道ネットワークが不十分であることから、現在、天神南～博多間（建設キロ：約1.4km）の七隈線延伸事業を進めている。

- ① 延伸区間 天神南～博多
- ② 延長 建設キロ：約1.4km 営業キロ：約1.6km
- ③ 建設費 約587億円
- ④ 工法 全線地下式（開削工法、シールド工法、ナトム工法、アンダーピニング工法）
- ⑤ 乗車人員 約8.2万人（需要定着後）
うち、新規利用者数※は約2.3万人

※ マイカー等から地下鉄に移動手段を替えることで、新たに地下鉄を利用する人数

- ⑥ 開業予定 令和5年3月

4. 設備・規格等

(1) 空港線・箱崎線

項 目		内 容
車 両 基 地		福岡市西区下山門四丁目1番1号、敷地面積 約71,500㎡
変 電 所		5カ所（姪浜、今川橋、中洲、榎田、箱崎）
軌 間 ・ 電 気	軌 間	1,067mm
	電 気 方 式	D C 1,500V
	集 電 方 式	架空線方式
車 両	保 有 車 両	144両（1編成6両、24編成。1000N系18編成、2000系3編成、2000N系3編成。全車冷暖房）
	車 両 寸 法	長さ 約20.0m、幅 約2.8m、高さ 約4.1m
	定員（1編成）	854人（先頭車135人、中間車146人）
保 安 設 備		列車間の間隔を確保する装置による方法（A T C保安方式）、列車無線、A T C（自動列車制御装置）、A T O（自動列車運転装置）、C T C（列車集中制御装置）
駅 構 内	駅 舎	エスカレーター（全駅） エレベーター（全駅） 駅冷房（全館）（5駅……西新、天神、中洲川端、博多、福岡空港） 駅冷房（局所）（14駅……西新、天神、中洲川端、博多、福岡空港を除く駅）
	駅 務 機 器	券売機・精算機・改札機（全駅）、定期券発行機（5駅）

※ 定期券は全駅設置のマルチ券売機で発売

(2) 七隈線

項 目		内 容
車 両 基 地		福岡市西区橋本二丁目34番1号、敷地面積 約79,000㎡
変 電 所		3カ所（賀茂、茶山、薬院）
軌 間 ・ 電 気	軌 間	1,435mm
	電 気 方 式	D C 1,500V
	集 電 方 式	架空線方式
車 両	保 有 車 両	76両（1編成4両、19編成。3000系17編成、3000A系2編成。全車冷暖房）
	車 両 寸 法	長さ 約16.5m、幅 約2.5m、高さ 約3.1m
	定員（1編成）	3000系：378人（先頭車89人、中間車100人） 3000A系：351人（先頭車81人、中間車94人・95人）
保 安 設 備		列車間の間隔を確保する装置による方法（A T C保安方式）、列車無線、A T C（自動列車制御装置）、A T O（自動列車運転装置）、C T C（列車集中制御装置）
駅 構 内	駅 舎	エスカレーター（全駅） エレベーター（全駅） 駅冷房（全館）（4駅……橋本、別府、薬院、天神南） 駅冷房（局所）（12駅……橋本、別府、薬院、天神南を除く駅）
	駅 務 機 器	券売機・精算機・改札機（全駅） 定期券発行機（2駅）、自動定期券発売機（5駅）

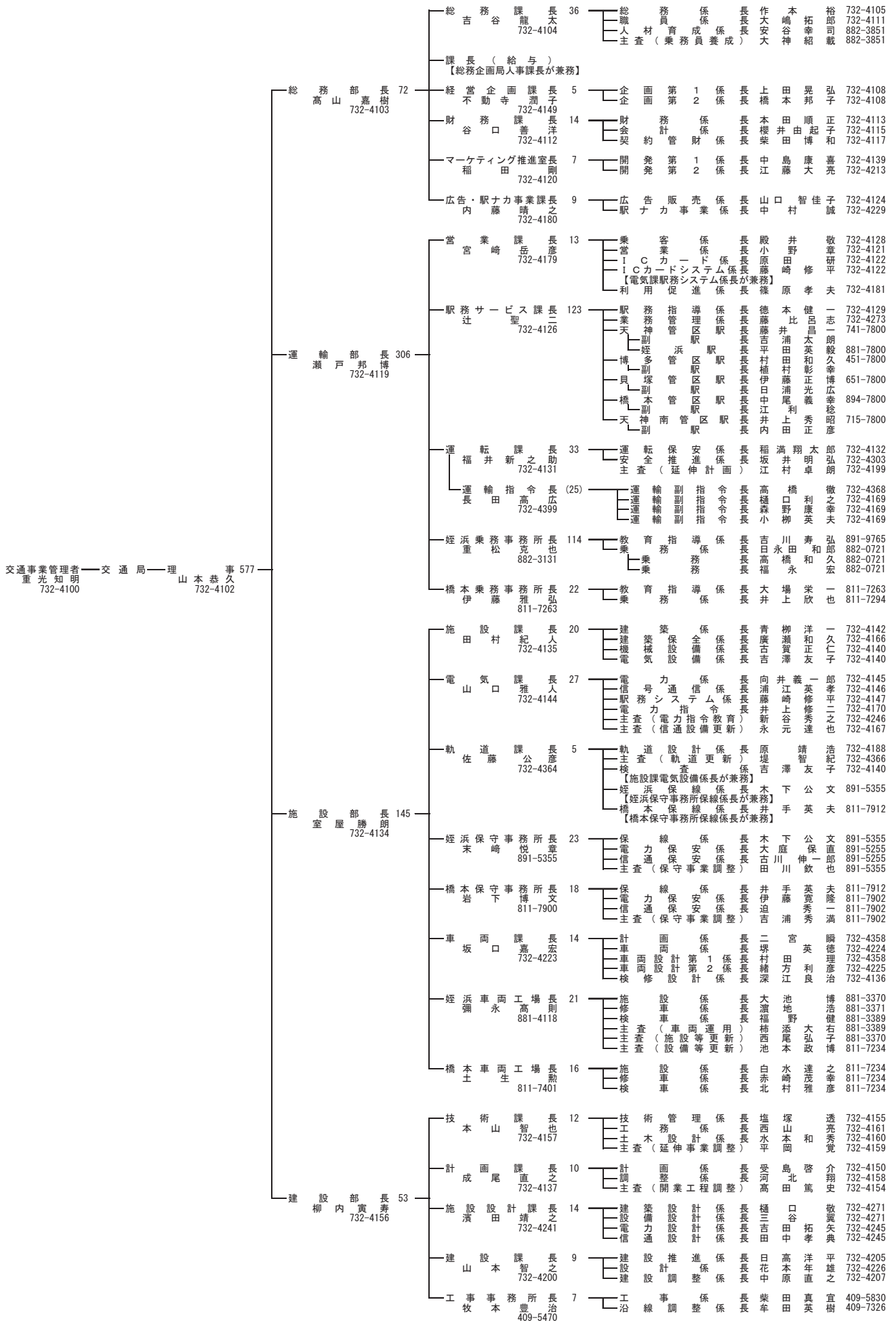
※ 定期券は全駅設置のマルチ券売機で発売

5. 組織及び職員

(令和4年4月1日 現在)

(1) 組織図

【市外局番 092】



(2) 組織の変更概要

施行日	組織数				職員数	備 考
	局	部	課	係		
令和4年 4月1日	1	4	24	93	577	<ul style="list-style-type: none"> 橋本車両工場主査（車両運用等）を廃止 工事事務所工事第1係を工事係へ名称変更 工事事務所工事第2係を廃止 課長（沿線調整）を廃止

※1 交通事業管理者を除く

※2 組織数のうち、局は理事をいう

※3 課長（給与）（※総務企画局人事課長が兼務）は、課数に含めない

※4 営業課ICカードシステム係（電気課駅務システム係長が兼務）、軌道課検査係（施設課電気設備係長が兼務）、軌道課姪浜保線係（姪浜保守事務所保線係長が兼務）及び軌道課橋本保線係（橋本保守事務所保線係長が兼務）は係数に含めない

※5 職員数は条例定数

(3) 管区駅の概要

路線	管区駅	駅名	駅務業務
空港線	天神管区駅	姪浜、天神	直 営
		室見、藤崎、西新、唐人町、大濠公園、赤坂	委 託
	博多管区駅	博多	直 営
		祇園、東比恵、福岡空港	委 託
箱崎線	貝塚管区駅	中洲川端、呉服町、千代県庁口、馬出九大病院前、箱崎宮前、箱崎九大前、貝塚	委 託
七隈線	橋本管区駅	橋本、次郎丸、賀茂、野芥、梅林、福大前、七隈、金山、茶山	委 託
	天神南管区駅	別府、六本松、桜坂、薬院大通、薬院、渡辺通、天神南	委 託

(4) 種類別、費目別職員数（単位：人）

（令和4年4月1日現在）

種類別		費目別				合計
		営業勘定		建設勘定		
運 輸	駅 務	181	123	-	-	181
	指 令		25		-	
	営 業		25		-	
	そ の 他		8		-	
運 転			136		-	136
土 木			43		26	69
電 気			48		20	68
車 両			40		11	51
一 般 管 理			59		11	70
合 計			507		68	575

※ 交通事業管理者及び再任用短時間（週31時間）職員4名は除く

第2 安全対策

1. 安全管理体制

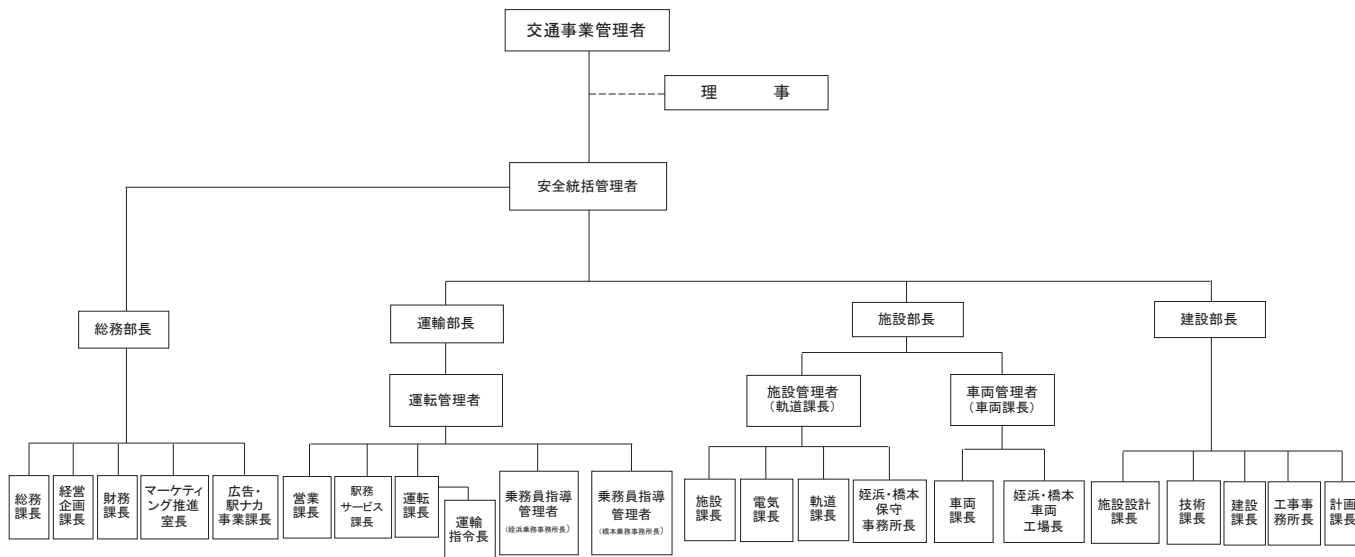
福岡市地下鉄では、運転保安装置であるATC（自動列車制御装置）及びATO（自動列車運転装置）を開業時から導入し、安全に最善を尽くしている。

また、平成17年度に全駅でホームドアの設置を完了する等、車両や施設面の充実を図っており、これまで列車の衝突、脱線等の事故は発生していない。

福知山線脱線事故を契機として、平成18年に鉄道事業法が改正され、同法に基づき同年10月に「福岡市交通局安全管理規程」を新たに制定した。この安全管理規程は、福岡市高速鉄道事業における輸送の安全確保のための基本的方針並びに事業の実施及び管理の体制及び方法を定めたもので、これにより新たな安全管理体制を確立している。

(1) 組織体制

安全の確保に関する体制表



(2) 安全に関する会議

会議名	構成メンバー	実施内容
経営会議	交通事業管理者、理事、各部長	地下鉄経営に関し、基本方針や安全性向上等の重要施策の審議、決定
安全推進会議	安全統括管理者、各部長、運転管理者、施設管理者、車両管理者、総務課長、技術課長、各設計管理者	<ul style="list-style-type: none"> 運輸安全マネジメントの推進 事故・災害等の情報分析及び事故防止対策の策定 内部監査の実施 各責任者による現場巡視

※ 運輸安全マネジメントとは、ISO9001等を参考に作られた「安全に関して組織を指揮し、管理する取組」を取り入れた新たな安全管理手法である。

2. 安全重点施策

輸送の安全を確保するための基本的な方針に基づき、「安全目標」を定め、これを達成するために様々な取組を「安全重点施策」として策定し、進捗状況を管理している。

令和4年度における安全重点施策は次のとおり定めている。

安全目標	目標達成のための取組	内 容
安全運行の実現	運転事故・輸送障害・インシデントのゼロ	「鉄道事故等報告規則」における運転事故、輸送障害及びインシデントのゼロ（交通局に責任のあるものに限る）
	安全性向上のための人材の育成・管理	① 乗務員、駅務員等の教育訓練及び安全に関する評価を定期的実施 ② 乗務員及び駅務員等の資質管理の徹底 ③ 乗務員のアルコールに関する自己管理の徹底及び乗務前のアルコール測定の実施（測定器の設定値(下限値)：0.05mg/L） ④ 職員の技術の維持・継承
	車両、構造物、駅施設及び設備の計画的改良	安全性・信頼性の向上を図るため、運転保安設備の要であるATC設備の改良や車両、構造物等の改良を実施
安全最優先の組織風土を確立	安全マネジメントの推進	① 関係法令遵守と安全最優先意識の徹底 ② 事業者の事故等に関する情報の活用 ③ 内部監査の充実
万一の事故・災害等に備えて	大規模自然災害等の対応	① 大規模自然災害及びテロに備えた危機管理体制の確保 ② 電力供給不足時における危機管理体制の確保
	外部への情報提供	大規模事故発生時等の外部への情報提供体制の整備
	関係機関と連携した各種訓練の実施等	① 事故復旧体制の教育訓練の実施 ② 事故復旧訓練の実施 ③ 災害対応訓練の実施
安心してご利用いただくために	駅係員全員の普通救命講習受講	① 駅係員の救急・救命の応急処置技能の向上 ② AEDの日常点検と維持管理
	各駅のAEDの適切な管理	
	新型インフルエンザ等対策	新型インフルエンザ等に関する情報収集及び状況に応じた対応
	お客様への適切な情報提供	案内放送・案内表示等の拡充

3. 安全に関する設備投資

安全設備の主なものとして、ATC（自動列車制御装置）、ATO（自動列車運転装置）、ホームドア、地震監視装置、風速・雨量警報装置、運転シミュレータ装置等を設置、維持管理し、安全を確保している。令和3年度においては、総設備投資額約56億円のうち、安全に関する設備投資額は約45億円である。

4. 鉄道運転事故・インシデント・輸送障害

	鉄道運転事故	インシデント	輸送障害	計
平成29年度	0	0	0	0
平成30年度	0	0	0	0
令和元年度	0	0	2	2
令和2年度	0	0	1	1
令和3年度	0	0	0	0

第 3 財 務

1. 総事業費及び財源

(単位:百万円)

区 分	空港線 姪浜～福岡空港 箱崎線 中洲川端～貝塚 (昭和49年度～ 平成5年度)		七隈線 橋本～天神南 (平成7年度～ 平成18年度)		全線合計		
		構成比		構成比		構成比	
総事業費	411,254	100.0	281,050	100.0	692,304	100.0	
内 訳	用地	33,684	8.2	26,481	9.4	60,165	8.7
	土木	200,834	48.8	152,066	54.1	352,900	51.0
	軌道	8,019	1.9	7,981	2.8	16,000	2.3
	建築	37,802	9.2	38,583	13.7	76,385	11.0
	電気	37,888	9.2	20,348	7.3	58,236	8.4
	車両	17,195	4.2	12,002	4.3	29,197	4.2
	その他	75,832	18.5	23,589	8.4	99,421	14.4
財 源 内 訳	企業債	338,526	82.3	165,280	58.8	503,806	72.8
	一般会計出資金	42,062	10.2	54,653	19.5	96,715	14.0
	補助金	28,172	6.9	58,273	20.7	86,445	12.5
	その他	2,494	0.6	2,844	1.0	5,338	0.7

2. 企業債現在高

(単位:百万円)

区分		建設改良債	特例債	緩和債	平準化債	特別減収対策 企業債	計
2 年度末企業債残高		131,481	3,496	24,798	57,858	10,000	227,633
3 年 度 (見込み)	企業債発行(借入)額	12,144	300	3,170	4,190	5,800	25,604
	企業債償還金	15,170	990	5,851	6,918	-	28,929
	年度末企業債残高	128,455	2,806	22,117	55,130	15,800	224,308
4 年 度 (見込み)	企業債発行(借入)額	11,180	226	-	5,240	2,303	18,949
	企業債償還金	10,304	565	806	8,232	714	20,621
	年度末企業債残高	129,331	2,467	21,311	52,138	17,389	222,636

※ 企業債発行(借入)額は繰越分を含む

3. 国及び一般会計からの補助金、出資金

(単位：百万円)

区 分		2年度 まで	3年度 (見込み)	4年度 (繰越含む)	合 計	
国 庫	補助金	高速鉄道整備事業費補助金	149,064	2,327	3,355	154,746
		特例債利子補助金	8,099	-	-	8,099
		社会資本整備総合交付金	693	-	-	693
		国際競争拠点都市整備事業補助金	74	-	-	74
		二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 (旧エコレールラインプロジェクト補助金)	170	-	-	170
		観光振興事業費補助金 (公共交通利用環境の革新等事業)	11	1	-	12
		計	158,111	2,328	3,355	163,794
市一般会計	補助金	高速鉄道整備事業費補助金	152,423	2,586	3,729	158,738
		緊急整備事業特別債元利償還助成金	61,747	3,801	3,801	69,349
		補正予算債元利償還助成金	781	46	46	873
		特例債元利償還助成金	103,329	995	565	104,889
		基礎年金拠出金	2,760	159	164	3,083
		福祉対策助成金	1,576	2	-	1,578
		祇園博多間連絡通路整備等助成金	1,077	40	40	1,157
		九大病院前地下通路整備助成金	57	-	-	57
		児童手当等に係る助成金	532	37	35	604
		調査費補助金(延伸、相互直通)	221	-	-	221
		最新エネルギー技術導入等による新たな 駅の検討事業補助金	2	-	-	2
		地下鉄駅券売機の4カ国語化事業補助金	8	-	-	8
		地方公営企業会計制度改正に係る補助金	41	-	-	41
		黒田官兵衛プロジェクト関連事業補助金	7	-	-	7
		福岡空港駅改造事業費補助金	178	-	-	178
		観光客等の移動円滑化施策の推進に係る 補助金	18	74	36	128
		特別減収対策企業債利子補助金	-	10	22	32
	その他補助金	318	-	-	318	
	小 計	325,075	7,750	8,438	341,263	
	出資金	建設改良事業出資金	121,413	3,576	4,598	129,587
		追加出資金	9,117	-	-	9,117
		小 計	130,530	3,576	4,598	138,704
	合 計		455,605	11,326	13,036	479,967
総 合 計		613,716	13,654	16,391	643,761	

※高速鉄道整備事業費補助金には、空港線、箱崎線、七隈線の耐震補強・大規模改良・浸水対策の補助金を含む

○主な制度の概要

(1) 高速鉄道整備事業費補助金(国、市)

- ・ 平成3年度以降新規補助採択分
- ・ 建設当年度一括交付
- ・ 国…(総建設費-車両費-総係費-建設利息)×1.02×0.8(有償資金比率)×0.9(1割圧縮)×35%(補助率)
- ・ 市…(総建設費-車両費-総係費-建設利息)×1.02×0.8(有償資金比率)×35%(補助率)

(2) 緊急整備事業特別債元利償還助成金(市)

地方単独整備区間に係る企業債(特別債)について元利償還金の2/3相当額を助成

(3) 特例債元利償還助成金

① 特例債利子助成金(市)

平成5年度から平成14年度まで(10年間)発行の新々特例債(昭和52~57年度間に発行された建設債から生じる利息相当額)及び平成15年度から平成24年度まで(10年間)発行の続特例債(昭和58年~平成2年度間に発行された建設債から生じる利息相当額)に係る利子のうち、年利1.2%を上限として助成

② 特例債元金償還助成金(市)

上記特例債及び平成25年度から令和4年度まで(10年間)発行の再特例債の元金償還相当額を助成

4. 収益的収支の推移

(単位：千円)

種 別			年 度					
			29	30	元	2	3 (見込み)	4 (予算)
収 益 的 収 入	営業 収益	旅客運輸収益	30,238,069	31,122,975	31,519,809	20,384,228	22,989,234	24,159,276
		運輸雑収益	2,249,695	2,260,146	2,288,864	2,029,129	2,057,660	2,098,191
		(A) 小 計	32,487,764	33,383,121	33,808,673	22,413,357	25,046,894	26,257,467
	営業外 収益	補助金	3,575,306	2,879,929	2,256,954	1,681,010	1,794,150	1,314,358
		その他収益	7,519	1,580	2,478	8,652	4,863	264
		長期前受金戻入	3,784,677	3,657,519	3,655,261	3,487,081	3,114,680	3,175,120
		小 計	7,367,502	6,539,028	5,914,693	5,176,743	4,913,693	4,489,742
	(B) 経常収益計	39,855,266	39,922,149	39,723,366	27,590,100	29,960,587	30,747,209	
	特別利益	-	21,397	406,970	383,696	323,480	52,896	
	(C) 収益的収入計	39,855,266	39,943,546	40,130,336	27,973,796	30,284,067	30,800,105	
収 益 的 支 出	営業費 用	給与費	5,093,980	4,609,061	4,640,157	4,898,430	4,814,928	5,044,473
		経 費 (うち修繕費)	8,971,534 (4,191,891)	9,848,514 (4,767,030)	10,571,727 (5,291,077)	10,131,105 (5,209,868)	9,777,455 (5,041,376)	10,160,529 (5,043,259)
		減価償却費等	12,731,946	12,478,214	12,614,258	12,271,047	11,420,784	12,248,433
		(D) 小 計	26,797,460	26,935,789	27,826,142	27,300,582	26,013,167	27,453,435
		営業外 費用	支払利息	3,928,973	3,572,587	3,219,934	2,818,600	2,466,777
	消費 税		1,568,045	1,485,642	1,515,435	714,742	512,577	688,817
	雑 支 出		354	871	-	1,497	1,011	1,000
	小 計		5,497,372	5,059,100	4,735,369	3,534,839	2,980,365	2,967,923
	(E) 経常費用計	32,294,832	31,994,889	32,561,511	30,835,421	28,993,532	30,421,358	
	特別損失	96,916	370	3,895	1,028	218,271	-	
(F) 予 備 費	-	-	-	-	-	10,000		
(G) 収益的支出計	32,391,748	31,995,259	32,565,406	30,836,449	29,211,803	30,431,358		
収 支 差 引	営 業 収 支 (A-D)	5,690,304	6,447,332	5,982,531	△ 4,887,225	△ 966,273	△ 1,195,968	
	経 常 収 支 (B-E-F)	7,560,434	7,927,260	7,161,855	△ 3,245,321	967,055	315,851	
	単年度収支 (C-G)	7,463,518	7,948,287	7,564,930	△ 2,862,653	1,072,264	368,747	

※1 消費税込みの額である

※2 「減価償却費等」は、減価償却費及び固定資産除却費（撤去費を除く）をいう

※3 「支払利息」は、支払利息及び企業債取扱諸費をいう

5. 令和4年度 高速鉄道事業会計予算

収益的収支	金額
収入	30,801 百万円
支出	30,432 百万円
差引	369 百万円
単年度損益(消費税要素除く)	△ 426 百万円

令和3年度末累積損益 △ 113,294 百万円
 令和4年度損益 △ 426 百万円
 令和4年度末累積損益 △ 113,720 百万円

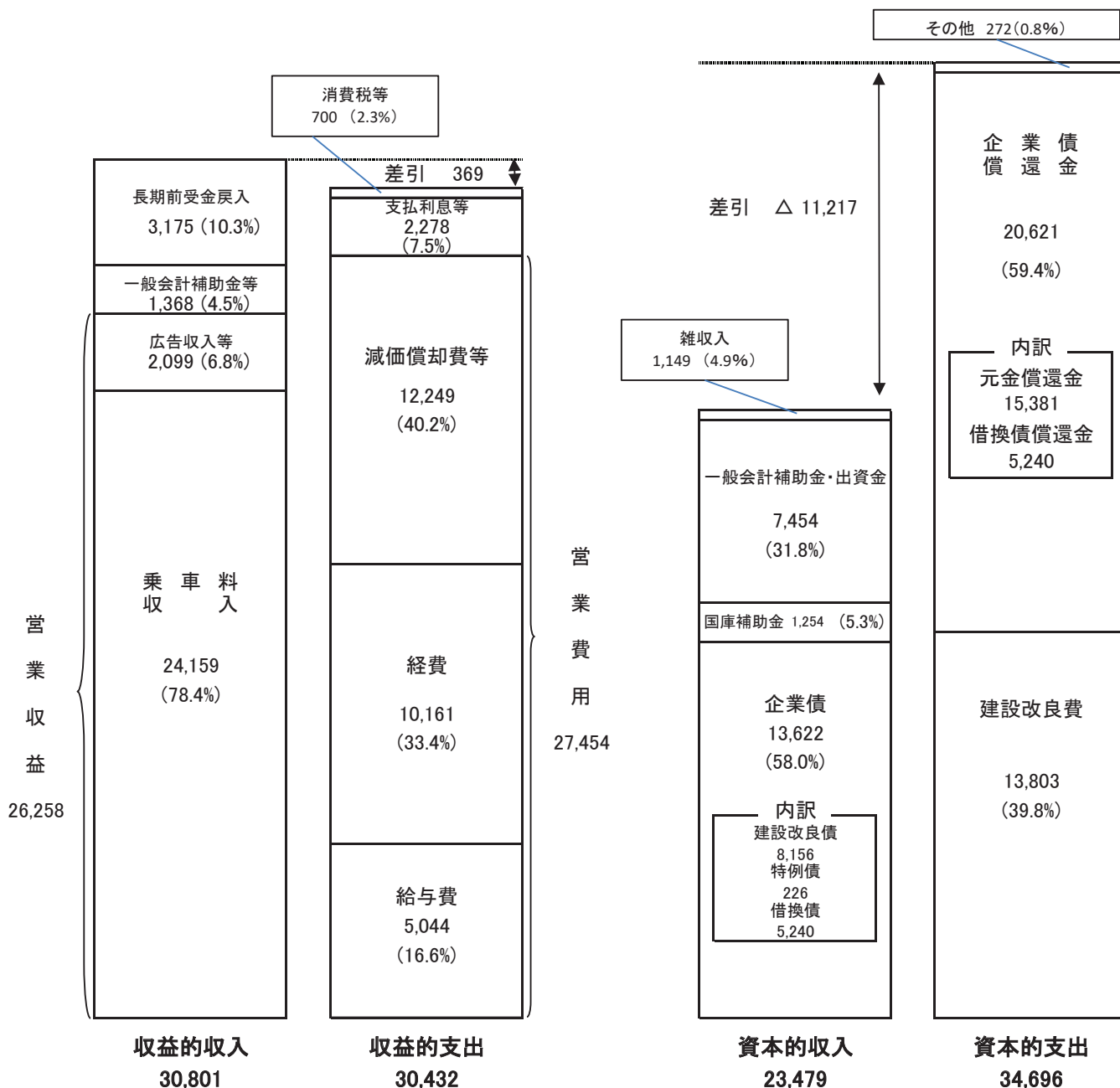
資本的収支	金額
収入	23,479 百万円
支出	34,696 百万円
差引(※)	△ 11,217 百万円

※減価償却費などの損益勘定留保資金等9,178百万円で補てんし、なお不足する額2,039百万円については企業債(特別減収対策)で措置する。

令和4年度末累積資金不足額 △ 4,293 百万円

収益的収支 (単位:百万円)

資本的収支 (単位:百万円)



※新型コロナウイルス感染症による減収を補てんするため、企業債(特別減収対策)を2,303百万円借り入れる。

6. 令和4年度 主な建設改良事業

七隈線延伸事業	事業費	6,016,000千円
営業線改良事業	事業費	7,786,360千円

7. 重要施策

(1) 七隈線延伸事業の推進 6,016,000千円

土木工事や軌道工事、駅建築・設備工事等について、安全対策に万全を期しながら進めていくとともに、令和5年3月の開業に向け、試運転の実施や各種検査等に着実に取り組む。

また、全市的なイベントなどの機会も捉えつつ、市民に期待感や親しみを持っていただけるような広報及びイベント等を実施するとともに、市政だよりやホームページなどの既存媒体に加え、SNSを活用するなど、引き続き多様な情報発信に取り組む。

<令和4年度の主な事業内容>

・土木工事、軌道工事、駅建築・設備工事 等

(2) 安全・安心の確保

安全を最優先とする組織風土を確立するため、運輸安全マネジメントのスパイラルアップを図るとともに、教育訓練の充実などによる安全スキルの向上や、施設・車両などの安全性確保、様々な自然災害やテロ対策の強化等に取り組む。

また、安全・安心の取組みに関する情報を積極的に発信する。

ア 施設、車両などの安全性の確保 2,875,217千円

トンネルなどの土木構造物について、長期的な補修計画に基づく改良工事を実施するとともに、自動列車制御装置（ATC）や七隈線運行管理システムなどを計画的に更新し、施設・設備等の安全性の確保に取り組む。

また、車両については、2000系車両の大規模改修や3000系車両の列車制御装置の更新等を行い、安全性や快適性を向上させるとともに、運用開始から40年が経過した1000N系車両更新のため、新造車両製作を推進する。

そのほか、姪浜車両基地の安定的な機能維持のため、建築物等の経年劣化に対応した大規模改修事業を推進する。

イ 災害対策などの強化 95,044千円

局地的な集中豪雨などによる浸水に備え、駅施設の浸水対策を強化する。

また、新たに「みんなのトイレ」の自動扉押しボタンの非接触化や七隈線博多駅及び櫛田神社前駅においてエスカレーター手すりの自動清掃装置による消毒を実施するとともにマスクアンドライドの推進、既存の駅や車両などにおける消毒や抗ウイルス化の実施など、新型コロナウイルス感染症対策に継続して取り組む。

(3) 快適で質の高いサービスの提供

お客様により満足いただける高品質なサービスを提供するため、スムーズな輸送サービスや快適・便利な環境づくりに取り組むとともに、高齢者や障がいのある人に対応したサービスの提供や来街者にも使いやすい環境整備など「ユニバーサル都市・福岡」にふさわしい地下鉄に向けた取り組みを推進する。

ア 快適・便利な環境づくり 1,549,828 千円

お客様に安心・快適にご利用いただくため、乗車マナー向上に関する取組みを継続するとともに、駅の空調設備を改善する。

また、七隈線博多駅及び櫛田神社前駅において、お客様のより安全な乗降を確保するため、3Dセンサー搭載型ホームドアを導入する。

そのほか、七隈線の混雑緩和等を図るため3000A系車両1編成を導入する。

なお、3000A系車両には、車内における犯罪防止等、セキュリティ向上を目的として車内に防犯カメラを設置する。

イ 来街者にも使いやすい環境整備とサービスの提供 50,836 千円

福岡市を訪れる国内外からのお客様などの利便性向上を図るため、博多駅に地下鉄駅コンシェルジュを配置するとともに、地下鉄車内や駅の案内サインについて、車内案内表示器の外国語表記を含め、より分かりやすい案内表示に改修する。

(4) まちづくりへの貢献

福岡のまちの発展に貢献するため、駅周辺のまちづくりに対応した駅施設の改良や、沿線の地域、イベント、施設などと連携した取組みを推進する。

また、省エネの推進など環境対策に関する取組みを推進する。

ア 沿線まちづくりに対応した駅施設の改良など 91,722千円

博多駅筑紫口において、駅リニューアルの一環として、お客様の安全性や快適性の向上を図るため、天井、壁、誘導ブロックなどの内外装改修を行う。

イ 沿線の地域、イベント、施設などとの連携 1,596千円

「世界水泳選手権福岡大会・世界マスターズ水泳選手権九州大会」の気運醸成に向け、車体広告や案内放送等により大会のPRを行う。

ウ 環境対策に関する取組み 396,504千円

省エネのため、トンネル内の照明や駅構内の電照広告のLED化を計画的に実施し、使用する電力の削減に取り組む。

また、再生可能エネルギーの利用を促進するため、七隈線博多駅及び櫛田神社前駅において下水熱や地中熱を活用した空調設備を導入するほか、本局庁舎における使用電力を再生可能エネルギーに転換する。

(5) 経営基盤の強化

新型コロナウイルス感染症の影響など、経営環境の大幅な変化に対応するため、地下鉄の中長期的な経営の基本計画である経営戦略の見直しに取り組む。

また、経営基盤を強化するため、データ分析に基づく戦略的な営業施策の推進、広告・駅ナカ事業収入の確保や遊休資産の有効活用に取り組む。

そのほか、地下鉄を支える人材の計画的な確保と育成に取り組む。

ア 経営戦略の見直し 181千円

新型コロナウイルス感染症の影響など、経営環境の変化に対応するとともに、将来にわたって安定的に事業を継続していけるよう、平成31年2月に策定した福岡市地下鉄経営戦略の見直しに着手する。

イ 戦略的な営業施策の推進

36,107千円

「新しい生活様式」の定着など、地下鉄を取り巻く環境の変化に対応し増客増収を図るため、各種営業データの分析を通して地下鉄利用者の現状把握等に努めるとともに、七隈線延伸区間の開業を活かした営業施策を実施する。

ウ 人材確保と育成

19,126千円

交通局人材育成プランに基づき、専門的かつ高度な知識や技術を有する人材を育成していくため、研修の充実に取り組むとともに、鉄道に関する幅広い知識の習得や専門技術の向上に向けた取組みを推進する。

第4 環境への取組

1. 環境にやさしい地下鉄

地下鉄は、他の交通機関に比べ、二酸化炭素の排出量が自家用車の約 1/7、バスの約 1/3 と非常に少なく、すむ環境にやさしい乗り物である。

また、福岡市に地下鉄があることで、地球温暖化の原因となる二酸化炭素排出量やヒートアイランドの抑制等の環境面での効果も発揮している。

○ 1人を1km運ぶのに必要な二酸化炭素排出量

	二酸化炭素排出量（令和元年度実績）
鉄 道	17gCO ₂ /人・km
バ ス	57gCO ₂ /人・km
自 家 用 車	130gCO ₂ /人・km

※ 国土交通省ホームページから抜粋

○ 福岡市に地下鉄があることによる環境面での効果

項 目	概 要
二酸化炭素排出量の抑制	福岡市に地下鉄があることで、マイカーやバス等他の交通機関からの二酸化炭素排出量が1年当たり約5万2千トンも抑制されており、この総抑制量を森林による二酸化炭素吸収に委ねようとする、博多区・中央区・南区を合わせた面積に匹敵する約8千haもの森林が必要となる。
ヒートアイランドの抑制	地下鉄は、走行時の排熱が極めて小さく、都心部のヒートアイランド現象の抑制にも大きく貢献している。 もし、地下鉄がなかったら、その分マイカー等の利用者が増え、都心部において約5千世帯がお風呂を沸かす程度の熱量（＝約1,900万kcal/日）が日々増加してしまう。

2. 地下鉄の利用促進

福岡市地下鉄では、環境にやさしい地下鉄の利用促進を図ることが、地球温暖化等の環境問題への対応として重要と考えており、「駅まで歩く、駅から歩く」をスローガンとした「SUBWAY DIET」等を展開している。

○ 環境関連プロジェクト

概 要	開始時期
公共交通の利用促進 ・ 西日本鉄道株式会社と連携して、野芥駅、六本松駅及び賀茂駅構内にバスナビを設置し、また、両駅を通過する地下鉄・バスの車内モニターに、相互に乗換案内を表示している。 ・ 民間商業施設と連携し、橋本駅でパーク&ライドを実施。	平成23年～
SUBWAY DIET（サブウェイ ダイエット） 「地下鉄を含むライフスタイル」を提案する新たなプロモーション活動として、「環境・健康」を切り口に、市関係局や民間企業との連携をおこなっている。	平成20年～

3. 環境負荷低減の取組

環境負荷低減の取組として、軽量タイプの車両の採用、ブレーキをかけた時のエネルギーを電力に変える回生ブレーキの導入等、開業当初より様々な取組を行っている。

近年では駅照明のLED化や駅務室系統の空調のビルマルチ方式への変更を行っている。今後も、より一層の環境負荷低減に向けて、省エネやリサイクル等の取組を行っていく。

○ 主な環境負荷低減の取組

項目	主な取組	開始時期
電気使用量削減の取組	軽量タイプの車両の導入	開業当初～
	回生ブレーキの採用及び省エネ型の主回路（VVVF）導入による回生率の向上	開業当初～
	エスカレーターの自動作動・停止	開業当初～
	照明の見直し（構内減灯、照明器具変更）・自然採光の多用	昭和59年～
	車両空調の効率化	平成15年～
	太陽光発電装置の導入	平成16年～
	自然換気システムの導入	平成16年～
	駅照明のLED化	平成23年～
	駅務室系統の空調をビルマルチ方式へ変更	平成25年～
水使用量削減の取組	再生水の利用	昭和57年～
	雨水循環システムの導入	平成16年～
省資源・リサイクル等	きっぷのリサイクル	平成8年～
	繰り返し利用できるICカード「はやかけん」の導入	平成20年～
民間事業者と連携した取組	省エネ診断事業	平成25年～
	屋根貸し太陽光発電事業	平成27年～
	宅配取次ボックスの設置	平成30年～
	傘のシェアリングサービス「アイカサ」	令和元年～

環境方針

～「低炭素社会」の実現に向けて、福岡市交通局が取り組むこと～

環境問題、特に地球温暖化は、世界的に深刻な問題となっており、このまま進行すれば気候変動がさらに激しくなり、人類をはじめとする生物に大きな影響を及ぼすことが予想されています。この地球温暖化を抑止するため、環境への負荷が少なく、持続的な発展ができる「低炭素社会」の実現が求められています。

福岡市交通局でも、公共交通事業者の社会的な責任として、地球温暖化をはじめとする環境問題に対し、真剣に取り組んでいく必要があると認識しています。そのためには、二酸化炭素排出量が少なく、環境にやさしい乗り物である鉄道をはじめとする公共交通の利用を促進するとともに、事業活動によって生じる環境負荷のさらなる低減に努めていかなければなりません。

そこで、私たちは、次のとおり環境に関する基本方針を定め、「低炭素社会」の実現に向けて、取り組んでいきます。

1. 安全で快適な、質の高い輸送サービスを提供し、環境にやさしい交通機関である地下鉄を、より多くの方に利用していただけるよう努めます。
2. 地下鉄運営によって生じる環境負荷をよりいっそう削減するため、エネルギー使用の効率化や資源の有効活用を進めます。
3. 職員一人ひとりが常に環境を意識した行動ができるよう、職員の意識の向上を図ります。

平成21年6月 福岡市交通局

第 5 営 業

1. 乗車料金制度

(1) 料金改定の推移

当初制定年月日	昭和56年7月26日	(初乗り 120円)		
改定年月日	昭和60年6月1日	(" 140円)	……平均改定率	13.7%
	平成元年6月1日	(" 160円)	……	" 15.8%
	平成4年12月1日	(" 180円)	……	" 11.7%
	平成9年6月1日	(" 200円)	……	" 12.4%
	平成26年4月1日	(" 200円)	……	" 2.8%
	令和元年10月1日	(" 210円)	……	" 1.7%

(2) 料金制度の概要

① 普通料金 (対距離区間制)

	区間	料金	
		大人	小児
1 区	～3キロまで	210円	110円
2 区	3キロを超え7キロまで	260円	130円
3 区	7キロを超え11キロまで	300円	150円
4 区	11キロを超え15キロまで	340円	170円
5 区	15キロを超え19キロまで	360円	180円
6 区	19キロを超え20キロまで	380円	190円

② 定期料金 (通勤、通学 (大人・小児・割引))

ア 定期料金 (対距離区間制)

		通勤	通学
1 月 定 期	1 区	8,170円	5,040円
	2 区	10,220円	6,290円
	3 区	11,850円	7,300円
	4 区	13,080円	8,050円
	5 区	13,900円	8,550円
	6 区	14,710円	9,060円
3月定期		1月定期の3倍の5%引き	
6月定期		" の6倍の10%引き	

イ 共通定期料金 (地下鉄・自転車駐車場)

地下鉄・自転車駐車場双方の定期料金の合計額
から割引した額

割引額	1月定期	通勤900円、通学600円
	3月定期	1月定期の3倍
	6月定期	" の6倍

③ 1日乗車料金

大人 640円 小児・割引 320円

④ 団体料金

25人以上の団体に適用

割引率	学生団体	20%
		普通団体

⑤ 乗継割引料金

ア JR九州筑肥線

- ・ 対象区間 筑肥線（周船寺～下山門）と地下鉄線（室見～赤坂）を乗り継ぐ場合
- ・ 対象券種 普通券……大人20円（地下鉄、JR九州双方10円の割引）
定期券……下記の地下鉄料金にJR九州の料金を加えた額
通勤大人（1月）1区 7,770円、2区 9,810円
通学大人（1月）1区 4,780円、2区 6,030円

イ 西鉄貝塚線

- ・ 対象区間 貝塚線3区（～三苫）と地下鉄線3区（～藤崎・福岡空港・茶山）を乗り継ぐ場合
- ・ 対象券種 普通券……双方2区以内：大人60円（地下鉄、西鉄双方30円の割引）
片側又は双方3区：大人20円（地下鉄、西鉄双方10円の割引）
定期券（通勤）……下記の地下鉄料金に西鉄の料金を加えた額
双方2区以内：大人（1月）1区 7,360円
2区 9,200円
片側又は双方3区：大人（1月）1区 7,770円
2区 9,710円
3区 11,260円

⑥ 割引料金……身体障がい者等

大人は大人料金の半額、小児は小児料金の半額（普通券のみ）

⑦ 手数料……払戻し及び再発行

- ・ 払戻し 普通券（210円）、定期券・通学割引回数券・1日券・団体券・ICカード（220円）
- ・ 再発行 ICカード（520円）

⑧ その他……企画乗車券

- ・ 地下鉄全線乗り放題定期券（ちかパス）
- ・ 高齢者地下鉄全線定期乗車券（ちかパス65）
- ・ 地下鉄全線家族1日乗車券（ファミちかきっぷ）
- ・ 地下鉄全線ペア1日乗車券（ファミリーペア券）
- ・ 伊都・キャンパス回数券、伊都・シーサイド回数券等

※料金の区分 大人……12歳以上
小児……6歳以上12歳未満

2. 料金表等

(1) 料金の種別及び金額

(単位：円)

種 別		金 額						備 考		
		1 区	2 区	3 区	4 区	5 区	6 区			
普通料金	大人	210	260	300	340	360	380			
	小児	110	130	150	170	180	190	12歳未満の者		
定期料金	通勤定期料金	大人	1月	8,170	10,220	11,850	13,080	13,900	14,710	
			3月	23,290	29,130	33,780	37,280	39,620	41,930	
			6月	44,120	55,190	63,990	70,640	75,060	79,440	
		小児	1月	4,090	5,110	5,930	6,540	6,950	7,360	
			3月	11,650	14,570	16,890	18,640	19,810	20,970	
			6月	22,060	27,600	32,000	35,320	37,530	39,720	
	通学定期料金	大人	1月	5,040	6,290	7,300	8,050	8,550	9,060	
			3月	14,370	17,930	20,810	22,950	24,370	25,830	
			6月	27,220	33,970	39,420	43,470	46,170	48,930	
		小児	1月	2,520	3,150	3,650	4,030	4,280	4,530	
			3月	7,190	8,970	10,410	11,480	12,190	12,920	
			6月	13,610	16,990	19,710	21,740	23,090	24,470	
1日乗車料金	大人	640								
	小児	320								
団体料金	学生団体	大人	普通料金の2割引						25人以上の団体	
		小児								
	普通団体	大人	普通料金の1割引							
		小児								

(2) 割引乗車券の種別及び金額

(単位：円)

種 別		金 額						備 考
		1 区	2 区	3 区	4 区	5 区	6 区	
割引普通料金		110	130	150	170	180	190	
割引小児普通料金		60	70	80	90	90	100	
割引通勤定期料金	1月	4,090	5,110	5,930	6,540	6,950	7,360	
	3月	11,650	14,570	16,890	18,640	19,810	20,970	
	6月	22,060	27,600	32,000	35,320	37,530	39,720	
割引通学定期料金	1月	2,520	3,150	3,650	4,030	4,280	4,530	
	3月	7,190	8,970	10,410	11,480	12,190	12,920	
	6月	13,610	16,990	19,710	21,740	23,090	24,470	
通学割引回数料金		1,100	1,300	1,500	1,700	1,800	1,900	通信制高校・放送大学、11枚綴り
割引1日乗車料金		320						

(3) 企画乗車券の種別及び金額

(単位：円)

種 別			金額	備 考	
地下鉄全線 乗り放題定期券 「ちかパス」	一般	大人	1月	12,570	
			3月	35,830	
			6月	67,880	
		小児 割引	1月	6,290	
			3月	17,920	
			6月	33,940	
	学生	大人	1月	7,340	
			3月	20,920	
			6月	39,640	
		小児 割引	1月	3,670	
3月			10,460		
6月			19,820		
高齢者地下鉄全線 定期乗車券 「ちかパス65」	65歳以上		1月	6,000	
			3月	16,000	
			6月	30,000	
伊都・キャンパス回数券	大人		5,480	・10枚綴り	
伊都・シーサイド回数券	大人	昭和バス西の浦まで	7,330		
		昭和バス畑中まで	6,810		
		昭和バス大原橋まで	5,760		
地下鉄全線 家族1日乗車券 「ファミちかきっぷ」	家族 (大人2人まで、 小児・幼児無制限)		1,000	・「家族」とは、2親等以内の親族 (事実婚含む) ・大人または小児・幼児だけの 利用は不可 ・家族で同一行程を利用	
地下鉄全線 ペア1日乗車券 「ファミリーペア券」	大人1名・小児1名		800	・大人1名・小児1名のペア1セット ・利用する大人1名及び小児1名揃 った状態で販売	

3. 連絡運輸制度

区 分	連絡運輸対象区域	対象券種	実施日
J R 九 州	〔筑肥線 西唐津～下山門〕 ↔ 〔地下鉄全線 (全 駅)〕	普 通 定 期 団 体	昭和58年 3月22日
	〔地下鉄全線 (全 駅)〕 ↔ 〔鹿児島本線門司港～大牟田 篠栗線・香椎線全 駅 筑豊本線全 駅 長崎本線鳥栖～佐賀〕	定 期	平成17年 7月1日
	〔筑肥線各 駅 唐津線 西唐津～小城〕 ↔ 〔地下鉄 博 多〕 ↔ 〔JR九州 各 駅 JR西日本 各 駅 JR四国 各 駅 JR東海 各 駅〕	普 通 定 期 団 体	昭和58年 3月22日
西 鉄	〔地下鉄全線 (全 駅)〕 ↔ 〔西鉄貝塚線 (全 駅)〕	普 通 定 期	昭和61年 11月12日
	〔地下鉄全線 (全 駅)〕 ↔ 〔西鉄天神大牟田線 (全 駅)〕	定 期	平成14年 4月1日

※ 西唐津はJR九州唐津線の駅

4. ICカード乗車券「はやかけん」

地下鉄利用者の利便性向上及び公共交通機関の利用促進を図るため、平成21年3月7日にICカード乗車券「はやかけん」を導入した。

① 特徴

- ・ 全国相互利用サービス（平成25年3月23日開始）
- ・ 電子マネーサービス（「PiTaPa」を除く）
- ・ 定期券の搭載
- ・ 地下鉄乗車時のポイント付与
- ・ 紛失時の再発行（無記名式を除く）



② デポジット（預かり金）・・・500円

③ チャージ・・・1,000円単位で最大20,000円まで可能

④ ポイント・・・1ポイント＝1円で「はやかけん」にチャージ（入金）可能

ア 地下鉄線⇔JR筑肥線 乗継ぎポイント

「はやかけん」のカード入金額で姪浜駅をまたがってJR筑肥線（西唐津～下山門間各駅）⇔地下鉄線各駅を利用すると、1乗車につき10ポイントを翌月10日に付与

イ ひと駅ポイント（平成28年10月開始）

- 「はやかけん」のカード入金額で地下鉄の1駅区間を利用すると、1乗車につき60ポイントを付与
- ※ 1か月間（毎月1日～末日）の付与上限回数は10回
- ※ 定期区間の1駅前又は1駅超えた利用も対象

⑤ 「はやかけん」を活用したお客様サービス等

ア ANAとの提携によりマイレージクラブ会員を対象とした「ANAはやかけん」を発行（平成21年12月）
（「ANAマイル」を「はやかけんポイント」へ交換できるサービスの提供（平成22年3月））

イ 駅周辺駐車場を利用した場合に駐車場料金が割引となる、パーク＆ライドサービスを開始（平成22年1月）

ウ 対象駅周辺で利用可能なカーシェアリング車両の利用料金が割引となる、レール&カーシェアサービスを開始（平成27年5月）

エ 福岡市施設（区役所窓口や美術館・博物館・体育館等）において、「はやかけん」（相互利用カードも含む）による電子マネー決済を開始（平成22年5月）

- ・ 令和4年3月末現在、137箇所と同決済サービスを提供（はやかけん加盟店）

オ 運転免許を返納し、ちかパス65を購入した人にポイントを付与する、運転免許返納割サービスを開始
(平成29年5月)

5. 運輸実績

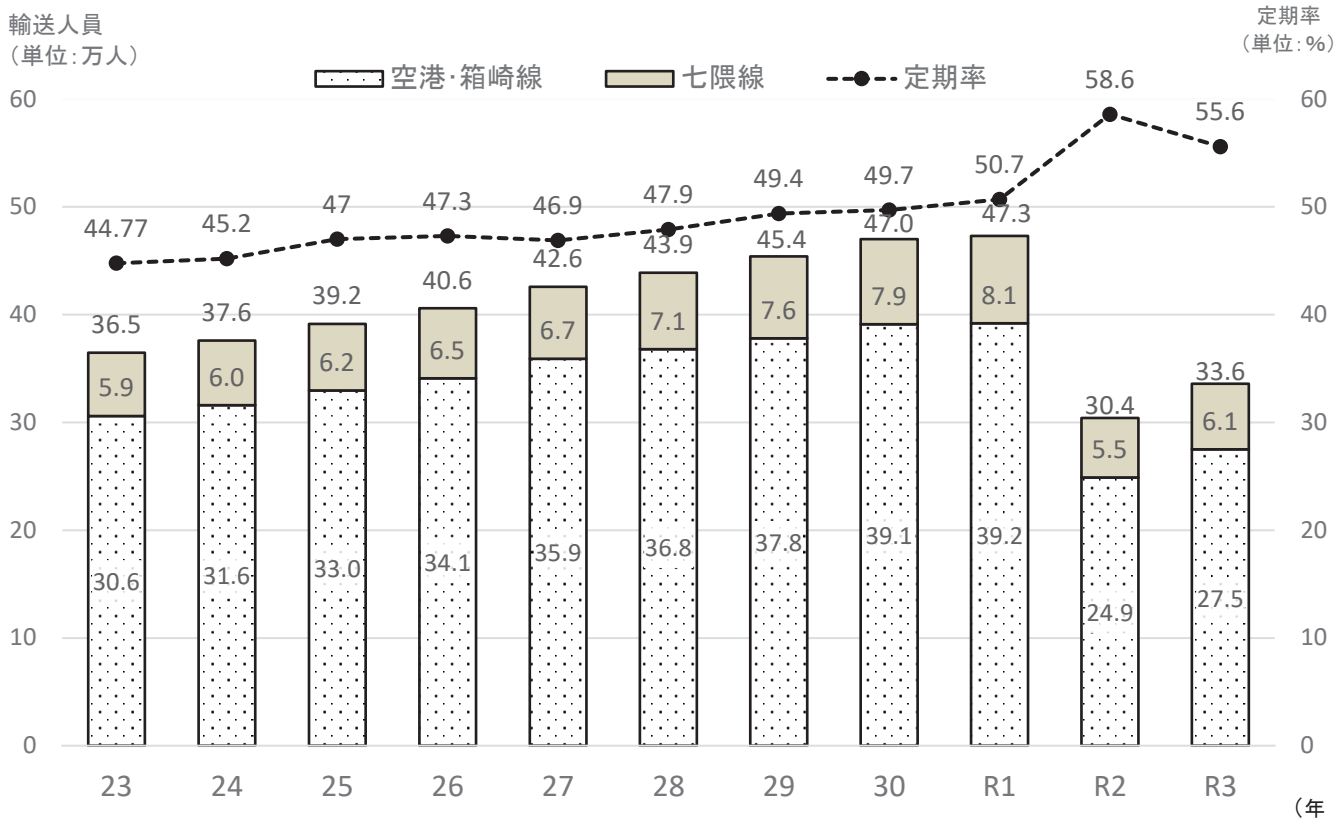
(1) 総括表

項目	年度 単位	平成29	平成30	元年度	2年度	3年度		3年度	4年度	
						空港線 箱崎線	七隈線		空港線 箱崎線	七隈線
営業日数	日	365	365	366	365	365	365	365	365	365
期末営業キロ	km	29.8	29.8	29.8	29.8	17.8	12.0	29.8	17.8	12.0
期中営業キロ	km	29.8	29.8	29.8	29.8	17.8	12.0	29.8	17.8	12.0
列車走行キロ	千km	3,555	3,553	3,557	3,549	2,247	1,302	3,523	2,231	1,293
車両走行キロ	千km	18,731	18,723	18,746	18,690	13,481	5,209	18,556	13,385	5,171
1日平均	km	51,319	51,295	51,218	51,205	36,935	14,270	50,840	36,672	14,168
使用電力量	千kWh	88,807	88,142	88,807	83,861	53,776	30,085	83,074	52,444	30,630
輸送人員	千人	165,786	171,551	173,294	110,919	90,984 (93,478)	19,935 (22,565)	122,497	100,194 (103,127)	22,303 (25,403)
定期	千人	81,927	85,311	87,811	64,972	53,521 (55,252)	11,451 (13,283)	68,060	55,260 (57,283)	12,800 (14,953)
定期外	千人	83,859	86,240	85,483	45,947	37,462 (38,226)	8,485 (9,282)	54,437	44,935 (45,844)	9,502 (10,451)
定期率	%	49.4%	49.7%	50.7%	58.6%	58.8% (59.1%)	57.4% (58.9%)	55.6%	55.2% (55.5%)	57.4% (58.9%)
1日平均	人	454,207	470,002	473,482	303,889	249,270 (256,104)	54,619 (61,822)	335,607	274,505 (282,541)	61,102 (69,599)
1日1キロ当り	人/km	15,242	15,772	15,889	10,198	14,004	4,552	11,262	15,422	5,092
輸送人キロ	千人キロ	871,560	899,169	903,555	594,143	463,358	130,785	651,059	503,763	147,296
輸送密度	人	80,129	82,667	82,843	54,624	71,319	29,860	59,856	77,538	33,629
乗車効率	%	37.5	38.7	38.9	25.6	25.5	26.3	28.3	27.9	29.8
運賃収入	百万円	30,238	31,123	31,520	20,384	16,457	3,927	22,989	18,589	4,400
1日平均	千円	82,844	85,268	86,120	55,847	45,088	10,759	62,984	50,928	12,056
1人平均乗車キロ	km	5.26	5.24	5.21	5.36	5.09	6.56	5.31	5.03	6.60
定期	km	5.82	5.79	5.72	5.71	5.42	7.05	5.70	5.38	7.11
定期外	km	4.71	4.69	4.69	4.86	4.62	5.90	4.83	4.60	5.92
1人平均支払運賃	円	182.39	181.42	181.89	183.78	180.88	196.98	187.67	185.53	197.31
定期	円	135.29	134.52	134.70	141.96	140.05	150.90	143.80	142.01	151.53
定期外	円	228.41	227.82	230.36	242.90	239.22	259.18	242.52	239.04	258.97

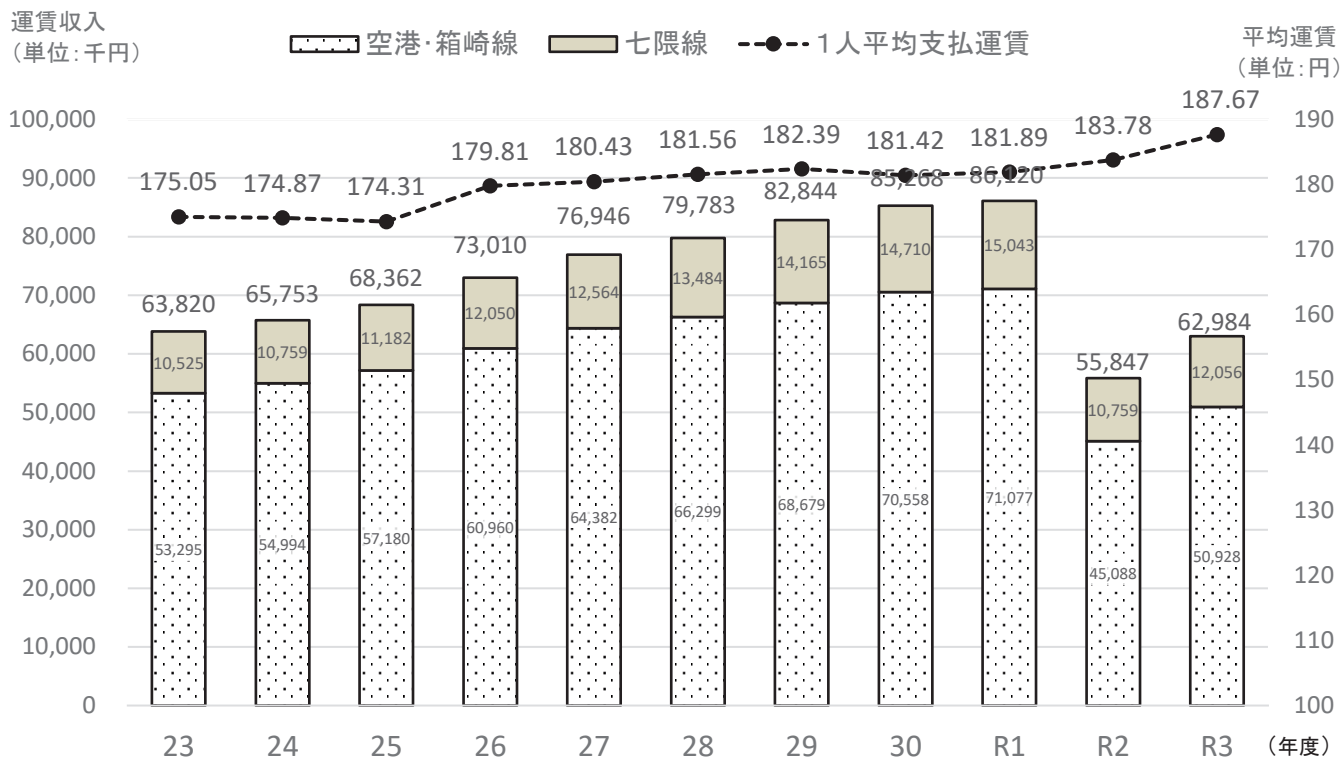
※ 「5. 運輸実績」の金額には、消費税を含む

※ 輸送人員の1日平均()書きは、空港線・箱崎線と七隈線の乗継人員を含む

(2) 輸送人員（1日平均）と定期率の推移



(3) 運輸収入（1日平均）と1人平均支払運賃の推移



(4) 乗車券別輸送人員（令和3年度）

（単位：人、％）

区 分			全線		空港線・箱崎線		七隈線	
			輸送人員	構成比	輸送人員	構成比	輸送人員	構成比
定 期	通 勤	1 月	17,358,000	14.2	44,798,610	44.7	9,104,064	40.8
		3 月	7,017,360	5.7				
		6 月	29,527,320	24.1				
		計	53,902,680	44.0				
	通 学	1 月	5,656,560	4.6	10,460,667	10.5	3,695,493	16.6
		3 月	4,416,780	3.6				
		6 月	4,082,820	3.4				
計	14,156,160	11.6						
計		68,058,840	55.6	55,259,283	55.2	12,799,557	57.4	
定 期 外	普 通		9,025,608	7.4	7,424,041	7.4	1,601,567	7.2
	I C カード		43,227,974	35.3	35,806,898	35.7	7,421,076	33.3
	回 数		8,657	0.0	7,282	0.0	1,375	0.0
	1 日		1,316,384	1.0	954,440	1.0	361,938	1.7
	特 別 企 画		500,762	0.4	493,370	0.5	7,392	0.0
	団 体		19,320	0.0	9,701	0.0	9,619	0.0
	敬老・福祉割引		339,090	0.3	239,206	0.2	99,884	0.4
	そ の 他		0	0.0	0	0.0	0	0.0
計		54,437,795	44.4	44,934,944	44.8	9,502,851	42.6	
合 計		122,496,635	100.0	100,194,227	100.0	22,302,408	100.0	

※ 空港線・箱崎線と七隈線の乗継人員は含まない

区 分		全線		空港線・箱崎線		七隈線	
		輸送人員	構成比	輸送人員	構成比	輸送人員	構成比
定 期	1 区	11,654,280	9.5	55,259,283	55.2	12,799,557	57.4
	2 区	24,555,480	20.1				
	3 区	17,536,320	14.3				
	4 区	195,180	0.2				
	5 区	6,360	0.0				
	6 区	120	0.0				
	全 線	14,111,100	11.5				
計		68,058,840	55.6				
定 期 外	1 区	17,941,403	14.6	44,934,944	44.8	9,502,851	42.6
	2 区	24,318,988	19.9				
	3 区	10,890,876	8.9				
	4 区	1,227,250	1.0				
	5 区	56,610	0.0				
	6 区	2,668	0.0				
計		54,437,795	44.4				
合 計	1 区	29,595,683	24.1	100,194,227	100.0	22,302,408	100.0
	2 区	48,874,468	40.0				
	3 区	28,427,196	23.2				
	4 区	1,422,430	1.2				
	5 区	62,970	0.0				
	6 区	2,788	0.0				
	全 線	14,111,100	11.5				
計		122,496,635	100.0				

(5) 乗車券別運輸収入（令和3年度）

（単位：円、％）

区 分			全線		空港線・箱崎線		七隈線		
			運輸収入	構成比	運輸収入	構成比	運輸収入	構成比	
定 期	通 勤	1 月	2,883,754,390	12.5	6,797,050,780	36.6	1,514,066,090	34.4	
		3 月	1,079,593,940	4.7					
		6 月	4,347,768,540	18.9					
		計	8,311,116,870	36.2					
	通 学	1 月	632,681,960	2.8	1,050,321,230	5.7	425,503,250	9.7	
		3 月	450,021,210	2.0					
		6 月	393,121,310	1.7					
		計	1,475,824,480	6.4					
	計			9,786,941,350	42.6	7,847,372,010	42.2	1,939,569,340	44.1
	定 期 外	普 通	2,046,534,140	8.9	10,741,294,141	57.8	2,460,998,480	55.9	
I C カ ー ド		10,569,356,260	46.0						
回 数		760,150	0.0						
1 日		392,422,276	1.7						
特 別 企 画		113,245,315	0.5						
団 体		2,476,090	0.0						
敬 老 ・ 福 祉 割 引		77,180,690	0.3						
そ の 他		317,700	0.0						
計			13,202,292,621	57.4					
合 計			22,989,233,971	100.0	18,588,666,151	100.0	4,400,567,820	100.0	

(6) 駅別乗車人員の推移（年度別1日平均）

（単位：人、％）

年 度 駅 名	平成29	平成30	前年度比	令和元	前年度比	令和2	前年度比	令和3	前年度比
JR筑肥線	28,269	29,249	103.5	28,722	98.2	19,503	67.9	20,812	106.7
姪浜	21,548	22,128	102.7	22,129	100.0	16,764	75.8	17,416	103.9
室見	8,738	8,783	100.5	8,861	100.9	6,674	75.3	6,938	104.0
藤崎	12,557	12,690	101.1	12,710	100.2	9,307	73.2	9,809	105.4
西新	24,140	24,599	101.9	24,811	100.9	15,856	63.9	18,160	114.5
唐人町	11,372	12,126	106.6	12,755	105.2	7,869	61.7	8,669	110.2
大濠公園	10,940	11,186	102.2	11,537	103.1	8,055	69.8	8,770	108.9
赤坂	15,656	15,963	102.0	16,266	101.9	12,253	75.3	13,035	106.4
天神	81,602	84,380	103.4	84,118	99.7	51,286	61.0	57,091	111.3
中洲川端	14,848	15,390	103.7	15,586	101.3	8,684	55.7	9,921	114.2
祇園	7,124	7,367	103.4	7,579	102.9	5,125	67.6	5,527	107.8
博多	79,046	82,154	103.9	82,086	99.9	46,101	56.2	53,021	115.0
東比恵	11,077	11,743	106.0	11,953	101.8	9,224	77.2	9,457	102.5
福岡空港	26,728	27,742	103.8	27,845	100.4	12,487	44.8	15,513	124.2
空港線計	353,645	365,500	103.4	366,954	100.4	229,188	62.5	254,139	110.9
中洲川端	2,164	2,289	105.8	2,429	106.1	1,583	65.2	1,708	107.9
呉服町	3,754	3,886	103.5	4,000	102.9	2,879	72.0	3,157	109.7
千代県庁口	4,619	4,826	104.5	4,974	103.1	3,686	74.1	3,852	104.5
馬出九大病院前	6,148	6,360	103.4	6,455	101.5	5,089	78.8	5,253	103.2
箱崎宮前	4,262	4,580	107.5	4,549	99.3	3,089	67.9	3,280	106.2
箱崎九大前	3,601	3,218	89.4	2,941	91.4	2,138	72.7	2,221	103.9
貝塚	7,257	7,276	100.3	7,365	101.2	5,281	71.7	5,610	106.2
西鉄貝塚線	3,598	3,686	102.4	3,782	102.6	3,171	83.8	3,321	104.7
箱崎線計	35,403	36,121	102.0	36,495	101.0	26,916	73.8	28,402	105.5
空港線・箱崎線計	389,048	401,621	103.2	403,449	100.5	256,104	63.5	282,541	110.3
橋本	4,320	4,382	101.4	4,361	99.5	3,069	70.4	3,284	107.0
次郎丸	3,027	3,119	103.0	3,181	102.0	2,425	76.2	2,520	103.9
賀茂	2,954	3,131	106.0	3,226	103.0	2,483	77.0	2,584	104.1
野芥	3,787	3,990	105.4	4,118	103.2	3,168	76.9	3,266	103.1
梅林	1,567	1,650	105.3	1,703	103.2	1,224	71.9	1,248	102.0
福大前	6,769	7,008	103.5	7,122	101.6	3,040	42.7	4,694	154.4
七隈	4,926	5,068	102.9	5,131	101.2	2,695	52.5	3,601	133.6
金山	2,973	3,075	103.4	3,120	101.5	2,386	76.5	2,451	102.7
茶山	2,449	2,520	102.9	2,552	101.3	1,877	73.6	2,035	108.4
別府	5,700	5,965	104.6	6,106	102.4	4,331	70.9	4,450	102.7
六本松	5,689	6,650	116.9	7,156	107.6	5,393	75.4	5,911	109.6
桜坂	1,902	1,968	103.5	1,935	98.3	1,388	71.7	1,540	111.0
薬院大通	2,977	3,059	102.8	3,042	99.4	2,248	73.9	2,390	106.3
薬院	9,330	9,797	105.0	10,189	104.0	6,718	65.9	8,239	122.6
渡辺通	3,333	3,509	105.3	3,660	104.3	2,792	76.3	2,934	105.1
天神南	25,312	26,396	104.3	26,463	100.3	16,585	62.7	18,452	111.3
七隈線計	87,015	91,287	104.9	93,065	101.9	61,822	66.4	69,599	112.6
乗継ぎ分	21,856	22,906	104.8	23,032	100.6	14,037	60.9	16,533	117.8
合計	454,207	470,002	103.5	473,482	100.7	303,889	64.2	335,607	110.4

※ 合計については、空港線・箱崎線と七隈線の乗継人員を除く

(7) 駅別乗車人員の推移（令和3年度、月別1日平均）

（単位：人）

月 駅名	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年	令和4年	令和4年	令和4年
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
JR筑肥線	21,413	20,743	20,912	20,851	20,033	19,479	20,687	22,581	22,156	20,403	21,083	19,466	
姪浜	18,005	16,499	17,512	17,474	16,559	16,703	17,808	18,593	17,836	16,920	17,169	17,933	
室見	7,142	6,705	7,037	6,959	6,592	6,642	7,066	7,392	7,164	6,757	6,824	6,983	
藤崎	10,101	9,319	9,824	9,877	9,312	9,398	10,007	10,500	10,168	9,461	9,660	10,070	
西新	19,025	18,147	18,068	19,310	16,497	16,547	18,938	20,381	19,885	16,496	17,120	17,440	
唐人町	8,983	8,133	8,540	9,029	7,654	7,901	8,772	8,939	9,867	8,338	8,496	9,366	
大濠公園	8,613	8,195	8,980	8,715	7,789	8,626	8,854	9,487	9,203	8,495	8,959	9,355	
赤坂	13,191	11,951	12,929	13,076	12,329	12,477	13,273	14,004	13,882	12,497	13,104	13,736	
天神	57,418	51,024	54,478	58,083	52,726	51,423	58,261	64,094	66,729	55,924	55,442	59,291	
中洲川端	9,578	8,051	8,701	10,060	9,567	8,761	10,379	11,567	11,860	9,885	9,643	10,932	
祇園	5,503	4,797	5,329	5,439	5,228	5,236	5,614	6,063	6,059	5,436	5,592	6,039	
博多	52,869	45,557	48,242	53,652	47,189	45,732	55,065	63,032	65,614	52,610	49,893	56,411	
東比恵	9,901	8,787	9,666	9,695	9,261	9,175	9,621	9,995	9,764	8,910	9,226	9,507	
福岡空港	14,915	11,900	12,492	14,712	13,803	12,925	16,705	19,850	20,398	15,779	14,100	18,386	
空港線計	256,657	229,808	242,710	256,932	234,539	231,025	261,050	286,478	290,585	247,911	246,311	264,915	
中洲川端	1,741	1,518	1,607	1,762	1,619	1,536	1,749	1,862	1,866	1,749	1,706	1,785	
呉服町	3,194	2,809	3,172	3,181	3,053	3,082	3,185	3,409	3,424	3,052	3,135	3,179	
千代田口	3,963	3,625	3,945	4,143	3,658	3,527	3,902	4,078	4,042	3,909	3,663	3,763	
馬出九大病院前	5,510	4,809	5,435	5,406	5,210	5,002	5,253	5,567	5,177	4,958	5,333	5,394	
箱崎宮前	3,434	3,018	3,351	3,305	2,998	3,059	3,318	3,468	3,344	3,528	3,185	3,353	
箱崎九大前	2,328	2,106	2,198	2,234	2,064	2,111	2,279	2,369	2,324	2,160	2,208	2,293	
貝塚	6,105	5,173	5,578	5,663	5,032	5,213	5,907	6,166	6,093	5,389	5,239	5,716	
西鉄貝塚線	3,468	3,432	3,482	3,228	3,277	3,365	3,227	3,466	3,120	3,362	3,438	3,021	
箱崎線計	29,743	26,490	28,768	28,922	26,911	26,895	28,820	30,385	29,390	28,107	27,907	28,504	
空港線・箱崎線計	286,400	256,298	271,478	285,854	261,450	257,920	289,870	316,863	319,975	276,018	274,218	293,419	
橋本	3,494	3,133	3,385	3,284	3,033	3,125	3,440	3,580	3,351	3,202	3,184	3,202	
次郎丸	2,683	2,402	2,591	2,523	2,369	2,436	2,586	2,707	2,584	2,418	2,441	2,502	
賀茂	2,735	2,431	2,594	2,601	2,394	2,504	2,660	2,823	2,669	2,514	2,539	2,558	
野芥	3,402	3,103	3,293	3,257	3,084	3,114	3,322	3,493	3,403	3,179	3,213	3,325	
梅林	1,300	1,204	1,252	1,236	1,199	1,192	1,262	1,333	1,291	1,208	1,252	1,264	
福大前	6,754	3,804	4,206	3,872	3,264	3,639	5,677	6,493	5,829	5,465	3,904	3,425	
七隈	3,952	3,439	3,832	3,727	2,816	2,986	3,943	4,407	4,257	3,685	3,042	3,086	
金山	2,563	2,327	2,458	2,480	2,342	2,341	2,480	2,601	2,573	2,359	2,410	2,481	
茶山	2,065	1,897	2,013	2,091	1,985	2,008	2,099	2,110	2,086	1,933	2,020	2,112	
別府	4,931	3,981	4,682	4,824	3,933	3,852	4,815	5,146	4,864	4,137	4,012	4,182	
六本松	5,795	5,910	6,068	5,930	5,270	5,659	5,925	6,336	6,187	5,758	6,092	6,031	
桜坂	1,514	1,529	1,624	1,552	1,427	1,492	1,561	1,608	1,639	1,495	1,507	1,535	
薬院大通	2,508	2,201	2,375	2,470	2,271	2,240	2,458	2,559	2,560	2,242	2,335	2,467	
薬院	8,970	8,131	8,702	8,282	6,664	7,220	8,892	9,904	9,140	8,564	7,477	6,892	
渡辺通	2,978	2,593	2,956	2,947	2,836	2,842	2,918	3,164	3,100	2,880	2,967	3,047	
天神南	19,937	16,510	18,057	18,426	16,811	16,543	19,268	20,903	20,721	18,435	17,633	18,162	
七隈線計	75,581	64,595	70,088	69,502	61,698	63,193	73,306	79,167	76,254	69,474	66,028	66,271	
乗継ぎ分	18,560	14,714	16,504	16,235	14,502	14,639	17,754	19,575	18,357	16,872	15,321	15,345	
合計	343,421	306,179	325,062	339,121	308,646	306,474	345,422	376,455	377,872	328,620	324,925	344,345	

※ 合計については、空港線・箱崎線と七隈線の乗継人員を除く

(8) 広告取扱額の推移

(単位:千円)

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
列 車	中 吊	133,472	117,336	110,984	45,808	39,920
	窓 上	80,388	71,645	72,244	55,718	50,629
	ド ア 上	25,816	25,492	27,715	31,311	26,237
	ド ア 横	111,300	111,301	119,825	126,244	119,411
	ステッカー広告	72,192	71,918	76,877	75,621	40,353
	マナー広告	16,447	16,044	16,193	0	15,880
	アピールライナー	12,943	9,858	18,326	7,260	9,073
	その他車内広告	25,380	25,380	666	0	0
小 計	477,938	448,974	442,830	341,962	301,503	
駅 構 内	ポスター貼(単体)	54,448	41,852	46,078	37,829	28,682
	ポスター貼(連続貼)	59,325	44,889	50,509	20,235	26,302
	メトロボード	8,825	9,284	12,317	3,412	—
	ワイドボード	—	—	—	1,283	3,154
	電照・パネル・デジタル広告	309,990	373,889	383,617	358,004	327,586
	フ ラ ッ グ	0	1,365	0	386	0
	エスカレーター	48,371	66,953	67,718	24,976	14,557
	自動改集札機	3,272	3,272	5,535	4,444	7,777
	フロア・壁面	3,821	6,393	37,570	24,917	13,930
	駅 柱 巻	29,108	29,729	8,550	7,943	4,646
	階 段	2,157	1,985	826	0	606
	駅アピールセット	16,081	2,765	—	—	—
	ホームドアステッカー	112,107	115,315	135,838	71,231	80,136
	駅構内ステッカー	28,637	22,975	8,670	9,030	8,286
	ラ ッ ク 広 告	17,951	21,000	25,745	26,653	26,652
	その他駅構内広告	3,806	3,806	3,806	3,876	3,981
小 計	697,899	745,472	786,779	594,219	546,295	
合 計	1,175,837	1,194,446	1,229,609	936,181	847,798	

- ※1 ステッカー広告・・・ドア横ステッカー、ドア上ステッカー、連結部ステッカー、車体ステッカー
 ※2 マナー広告・・・手ばさみ注意ステッカー、マナーステッカー、事故防止注意ステッカー、携帯マナーアップステッカー、不審物注意ステッカー
 ※3 その他車内広告・・・吊革、車内放送(令和元年度廃止)
 ※4 ポスター貼(連続貼)・・・連貼、ネット21、集中貼
 ※5 メトロボード・・・(令和2年9月末廃止)
 ※6 ワイドボード・・・(令和2年11月販売開始)
 ※7 電照・パネル・デジタル広告・・・電照・パネル、中柱、駅案内、救命ボックス、ビジュアルボード、AED、デジタルサイネージ
 ※8 エスカレーター・・・エスカレーター横、エスカレーター横壁面ステッカー、エスカレーター手すり間
 ※9 フロア・壁面・・・フロア、壁面シート、福岡空港駅改札内・外壁面シート
 ※10 駅構内ステッカー・・・ベンチ、構内ステッカー、乗車位置
 ※11 ラック広告・・・フリーペーパーラック、えふボックス
 ※12 その他駅構内広告・・・広報板、バナー

(9) 駅ナカ事業収入の推移

(単位:千円)

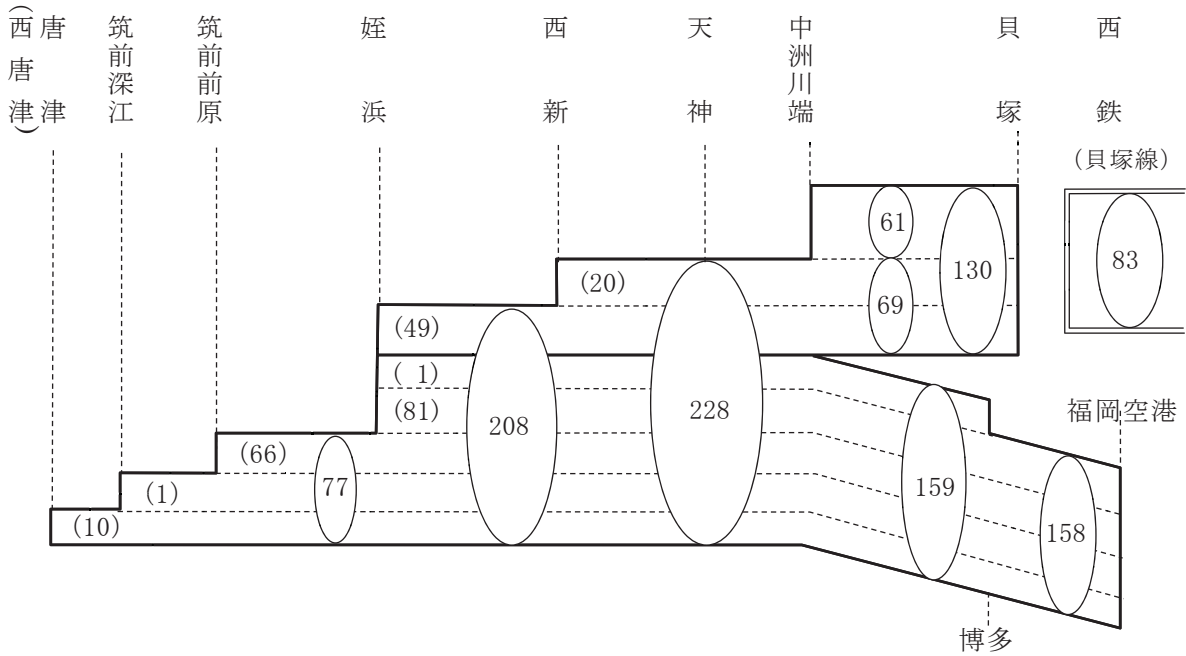
区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
空 港 線 ・ 箱 崎 線	467,096	438,400	439,496	414,651	416,797
七 隈 線	104,937	106,485	109,056	124,040	105,056
合 計	572,033	544,885	548,552	538,691	521,853

※駅ナカ事業収入の内訳【H29～R2:店舗、自販機等無人機、通信事業/R3:店舗、自販機等無人機】

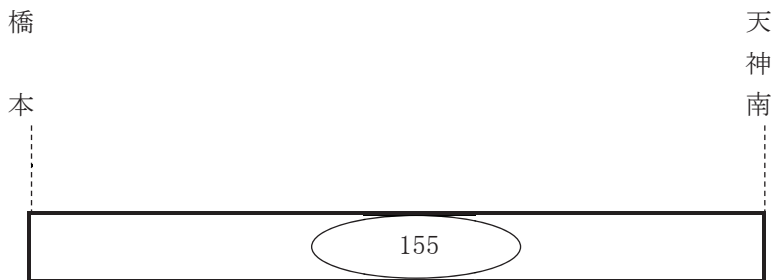
第 6 運 転

1. 運転本数（平日：片道）

(1) 空港線・箱崎線（令和3年3月13日改正）



(2) 七隈線（令和2年3月14日改正）



2. 運転時隔（平日）

（分．秒）

区 分 \ 区 間	筑 肥 線			空 港 線			箱崎線	七隈線
	唐津～筑前深江	筑前深江～筑前前原	筑前前原～姪浜	姪浜～西新	西新～中洲川端	中洲川端～福岡空港	中洲川端～貝塚	橋本～天神南
朝 混	20.00	15.00	7.30	3.00	3.00	3.50	7.30	3.45
昼 間	30.00	15.00 ～30.00	15.00	7.15	4.55	7.15	7.25	7.30
夕 混	24.00	20.00	15.00	4.05	4.05	5.50	7.30	6.00

※ 平均時分

3. 始終発時刻（平日）

行先系統別（東行き）	始 発	終 発
姪 浜 → 福岡空港	5:30	23:49
姪 浜 → 博 多	—	0:00
姪 浜 → 貝 塚	5:35	23:43
橋 本 → 天神南	5:30	23:30

行先系統別（西行き）	始 発	終 発
福岡空港 → 姪 浜	5:45	0:00
博 多 → 姪 浜	5:30	—
貝 塚 → 姪 浜	5:30	23:54
天神南 → 橋 本	6:00	0:00

4. 標準運転時分

(1) 空港線・箱崎線

(単位:分.秒)

停車時分	空港線東行										箱崎線北行									
	姪浜	2.00	3.35	5.35	7.45	9.20	11.15	13.05	15.05	17.15	19.00	21.40	24.55	16.35	18.05	19.50	21.45	23.25	25.40	
0.20	2.10	室見	1.15	3.15	5.25	7.00	8.55	10.45	12.45	14.55	16.40	19.20	22.35	14.15	15.45	17.30	19.25	21.05	23.20	
0.20	3.45	1.15	藤崎	1.40	3.50	5.25	7.20	9.10	11.10	13.20	15.05	17.45	21.00	12.40	14.10	15.55	17.50	19.30	21.45	
0.30	5.40	3.10	1.35	西新	1.40	3.15	5.10	7.00	9.00	11.10	12.55	15.35	18.50	10.30	12.00	13.45	15.40	17.20	19.35	
0.20	7.55	5.25	3.50	1.45	唐人町	1.15	3.10	5.00	7.00	9.10	10.55	13.35	16.50	8.30	10.00	11.45	13.40	15.20	17.35	
0.20	9.35	7.05	5.30	3.25	1.20	大濠公園	1.35	3.25	5.25	7.35	9.20	12.00	15.15	6.55	8.25	10.10	12.05	13.45	16.00	
0.20	11.25	8.55	7.20	5.15	3.10	1.30	赤坂	1.30	3.30	5.40	7.25	10.05	13.20	5.00	6.30	8.15	10.10	11.50	14.05	
0.40	13.15	10.45	9.10	7.05	5.00	3.20	1.30	天神	1.20	3.30	5.15	7.55	11.10	2.50	4.20	6.05	8.00	9.40	11.55	
0.30	15.20	12.50	11.15	9.10	7.05	5.25	3.35	1.25	中洲端	1.40	3.25	6.05	9.20	1.00	2.30	4.15	6.10	7.50	10.05	
0.20	17.20	14.50	13.15	11.10	9.05	7.25	5.35	3.25	1.30	祇園	1.25	4.05	7.20	-	-	-	-	-	-	
0.40	19.00	16.30	14.55	12.50	10.45	9.05	7.15	5.05	3.10	1.20	博多	2.00	5.15	-	-	-	-	-	-	
0.20	21.45	19.15	17.40	15.35	13.30	11.50	10.00	7.50	5.55	4.05	2.05	東比恵	2.55	-	-	-	-	-	-	
-	24.40	22.10	20.35	18.30	16.25	14.45	12.55	10.45	8.50	7.00	5.00	2.35	福岡空港	-	-	-	-	-	-	
0.20	16.55	14.25	12.50	10.45	8.40	7.00	5.10	3.00	1.05	-	-	-	-	吳服町	1.10	2.55	4.50	6.30	8.45	
0.20	18.30	16.00	14.25	12.20	10.15	8.35	6.45	4.35	2.40	-	-	-	-	1.15	千代田県庁口	1.25	3.20	5.00	7.15	
0.20	20.15	17.45	16.10	14.05	12.00	10.20	8.30	6.20	4.25	-	-	-	-	3.00	1.25	馬出九大病院前	1.35	3.15	5.30	
0.20	22.05	19.35	18.00	15.55	13.50	12.10	10.20	8.10	6.15	-	-	-	-	4.50	3.15	1.30	箱崎宮前	1.20	3.35	
0.20	23.45	21.15	19.40	17.35	15.30	13.50	12.00	9.50	7.55	-	-	-	-	6.30	4.55	3.10	1.20	箱崎九大前	1.55	
-	25.40	23.10	21.35	19.30	17.25	15.45	13.55	11.45	9.50	-	-	-	-	8.25	6.50	5.05	3.15	1.35	貝塚	

(2) 七隈線

七隈線東行

停車時分	橋本	1.28	2.59	4.32	6.05	7.53	9.18	10.47	12.25	14.23	15.59	17.50	19.41	21.05	22.38	24.25
0.20	1.38	次郎丸	1.11	2.44	4.17	6.05	7.30	8.59	10.37	12.35	14.11	16.02	17.53	19.17	20.50	22.37
0.20	3.09	1.11	賀茂	1.13	2.46	4.34	5.59	7.28	9.06	11.04	12.40	14.31	16.22	17.46	19.19	21.06
0.20	4.43	2.45	1.14	野芥	1.13	3.01	4.26	5.55	7.33	9.31	11.07	12.58	14.49	16.13	17.46	19.33
0.20	6.16	4.18	2.47	1.13	梅林	1.28	2.53	4.22	6.00	7.58	9.34	11.25	13.16	14.40	16.13	18.00
0.25	8.02	6.04	4.33	2.59	1.26	福大前	1.00	2.29	4.07	6.05	7.41	9.32	11.23	12.47	14.20	16.07
0.20	9.30	7.32	6.01	4.27	2.54	1.03	七隈	1.09	2.47	4.45	6.21	8.12	10.03	11.27	13.00	14.47
0.20	10.58	9.00	7.29	5.55	4.22	2.31	1.08	金山	1.18	3.16	4.52	6.43	8.34	9.58	11.31	13.18
0.20	12.31	10.33	9.02	7.28	5.55	4.04	2.41	1.13	茶山	1.38	3.14	5.05	6.56	8.20	9.53	11.40
0.25	14.21	12.23	10.52	9.18	7.45	5.54	4.31	3.03	1.30	別府	1.11	3.02	4.53	6.17	7.50	9.37
0.25	15.58	14.00	12.29	10.55	9.22	7.31	6.08	4.40	3.07	1.12	六本松	1.26	3.17	4.41	6.14	8.01
0.20	17.54	15.56	14.25	12.51	11.18	9.27	8.04	6.36	5.03	3.08	1.31	桜坂	1.31	2.55	4.28	6.15
0.25	19.45	17.47	16.16	14.42	13.09	11.18	9.55	8.27	6.54	4.59	3.22	1.31	薬院大通	0.59	2.32	4.19
0.25	21.09	19.11	17.40	16.06	14.33	12.42	11.19	9.51	8.18	6.23	4.46	2.55	0.59	薬院	1.08	2.55
0.20	22.45	20.47	19.16	17.42	16.09	14.18	12.55	11.27	9.54	7.59	6.22	4.31	2.35	1.11	渡辺通	1.27
-	24.30	22.32	21.01	19.27	17.54	16.03	14.40	13.12	11.39	9.44	8.07	6.16	4.20	2.56	1.25	天神南

5. 主要駅までの平均所要時分

① 天神から

駅	筑前前原（筑前深江）	唐津	西鉄香椎
所要時分	36分（51分）	83分	24分

- ・ 筑前深江 J R 筑肥線と相互直通運転
- ・ 唐津 J R 筑肥線と直通運転
- ・ 西鉄香椎 西鉄貝塚線と連絡（貝塚乗換え3分）

② 福岡空港から

駅	筑前前原（筑前深江）	唐津	香椎
所要時分	48分（63分）	95分	22分

- ・ 筑前深江 J R 筑肥線と相互直通運転
- ・ 唐津 J R 筑肥線と直通運転
- ・ 香椎 J R 鹿兒島本線と連絡（博多乗換え6分）

※1 唐津～筑前前原間 快速運行（平日ダイヤ）

※2 唐津～姪浜間 快速運行（土曜・休日ダイヤ）

6. 乗車効率、混雑率等

① 乗車効率及びラッシュ時集中率

（令和3年度）

	空港線・箱崎線	七隈線	全線
乗車効率（終日）	27.9%	29.8%	28.3%
ラッシュ時集中率 （8:00～8:59）	17.4%	17.5%	17.4%

② 混雑率及び集中率（最混雑区間）

（令和3年10月現在）

	空港線・箱崎線	七隈線
最混雑区間	大濠公園→赤坂	桜坂→薬院大通
最混雑時間	8:00～8:59	8:00～8:59
最混雑率	116.3%	103.0%
集中率	28.7%	22.3%

※ 混雑率算定の車両定員は、標準旅客定員（空港線・箱崎線：810人、七隈線：382人（1編成））で算定している。

第 7 駅 設 備 等

1. 駅設備

(1) 空港線・箱崎線

項 目		空 港								
		○ 姪 浜	室 見	藤 崎	○ 西 新	唐 人 町	大 濠 公 園	赤 坂	○ 天 神	
所 在 地		西 区 姪の浜四丁目 8番1号	早 良 区 室見一丁目	早 良 区 百道二丁目	早 良 区 西新三丁目	中 央 区 唐人町一丁目	中 央 区 大濠一丁目	中 央 区 赤坂一丁目	中 央 区 天神二丁目	
建 物 構 造		高 架 式	地 下 3 層	地 下 3 層	地 下 2 層	地 下 2 層	地 下 2 層	地 下 2 層	地 下 2 層	
延 面 積 (㎡)		5,174	7,837	8,142	8,268	6,076	6,448	7,309	10,926	
ホ ー ム	形 式	島 式	相 対 式	相 対 式	島 式	島 式	相 対 式	島 式	島 式	
	有 効 長 (m)	140	135	135	134	134	135	135	134	
	最 大 幅 員 (m)	7.98	7.67	6.49	9.77	9.15	6.58	9.80	10.00	
深 さ (m)		—	21.8	22.2	14.9	14.6	14.7	15.6	15.1	
出 入 口 (箇所)		3	6	5	9	7	6	6	12	
エスカレーター (基)		3	9	7	2	2	4	2	6	
エレベーター (基)		2	3	3	2	2	3	2	2	
駅 冷 房 設 備		局 所	局 所	局 所	全 館	局 所	局 所	局 所	全 館	
出 改 札 設 備	改 札 口 (箇所)		2 (1)	1	1	1	1	1	3	
	改 札 機 (台)		11 (3)	4	5	9	7	5	9	29
	券 売 機	マ ル チ (台)	5 (1)	3	3	4	3	3	3	17
		そ の 他 (台)	2 (1)	1	1	2	6	1	1	—
	精 算 機 (台)		2 (0)	2	2	2	2	2	2	6
定 期 券 発 行 機 (台)		2 (0)	—	—	2	—	—	—	2	
換 気 塔 (箇所)		—	2	2	2	2	2	2	3	

※1 中洲川端は、B1がコンコース、B2が箱崎線ホーム、B3が空港線ホームとなっている

※2 「延面積」には、出入り口を含まない

※3 「深さ」は、駅中心部の地表からレール面までの深さ

※4 「駅冷房設備」の欄の「全館」は駅舎全体の冷房であり、「局所」はホーム階の一部分の冷房

※5 姪浜駅内出改札設備のうち()内数については、JR九州が管理・運営
(設置場所：東側改札口(えきマチ1丁目口))

○印駅はお客様サービスセンター設置駅

(令和4年3月末現在)

線					箱 崎 線					
中洲川端	祇 園	博 多 ○	東 比 恵	福岡空港	呉 服 町	千 代 代	馬 出 九 大	箱 崎 宮 前	箱 崎 九 大 前	貝 塚 ○
博 多 区	博 多 区	博 多 区	博 多 区	博 多 区	博 多 区	博 多 区	東 区	東 区	東 区	東 区
上川端町	御供所町	博多駅中央街	東比恵二丁目	大字下臼井	綱 場 町	千代四丁目	馬出二丁目	馬出四丁目	箱崎三丁目	箱崎七丁目 1番1号
地下3層	地下2層	地下3層	地下2層	地下2層	地下2層	地下2層	地下2層	地下2層	地下2層	地上2層
13,680	6,986	19,975	5,340	5,964	6,396	6,834	6,943	10,641	6,301	3,407
島式2層	島 式	島 式	島 式	島 式	島 式	島 式	島 式	島 式	島 式	島 式
1号線161 2号線143	135	166	135	135	135	135	134	135	135	131
9.00	9.00	10.00	7.10	9.00	9.00	9.00	9.00	10.75	8.96	16.35
21.6	16.2	17.0	14.8	14.8	15.2	15.2	13.7	13.9	14.2	—
7	6	14	7	6	6	8	7	4	4	4
8	2	16	4	11	2	2	2	2	2	1
1	2	3	2	2	2	2	2	2	2	3
全 館	局 所	全 館	局 所	全 館	局 所	局 所	局 所	局 所	局 所	局 所
2	1	3	2	2	1	1	1	1	1	1
9	7	25	9	12	5	3	5	3	3	8
6	2	19	3	11	2	2	2	2	2	2
3	2	—	—	—	1	2	1	2	1	1
3	2	6	2	3	1	1	1	1	1	2
—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	2
2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	—

※6 券売機(マルチ)はICカード、IC定期、普通きっぷ対応

※7 券売機(その他)は普通きっぷのみ対応

※8 出入口は、記載のほかに祇園博多間地下通路に9カ所あり

(2) 七隈線

項 目		七 隈							
		橋 本	次 郎 丸	賀 茂	野 芥	梅 林	福 大 前	七 隈	
所 在 地		西 区 橋本二丁目	早 良 区 次郎丸一丁目	早 良 区 賀茂三丁目	早 良 区 野芥二丁目	城 南 区 梅林四丁目	城 南 区 七隈八丁目	城 南 区 七隈四丁目	
建 物 構 造		地下 2 層	地下 2 層	地下 2 層	地下 2 層	地下 2 層	地下 2 層	地下 2 層	
延 面 積 (㎡)		9,140	5,142	5,702	5,542	4,954	5,452	5,210	
ホ ー ム	形 式	島 対	島 式	島 式	島 式	島 式	島 式	島 式	
	有 効 長 (m)	81	83	89	84	79	85	81	
	最 大 幅 員 (m)	8.30	6.50	6.50	6.50	8.30	8.30	8.30	
深 さ (m)		12.9	12.3	12.8	12.0	15.7	13.6	14.4	
出 入 口 (箇所)		2	2	2	2	2	2	2	
エスカレーター (基)		7	6	6	8	6	6	6	
エレベーター (基)		3	2	2	2	2	2	2	
駅 冷 房 設 備		全 館	局 所	局 所	局 所	局 所	局 所	局 所	
出 改 札 設 備	改 札 口 (箇所)	1	1	1	1	1	1	1	
	改 札 機 (台)	4	3	3	3	3	5	3	
	券 売 機	マルチ(台)	3	3	3	3	2	3	2
		その他(台)	—	—	—	—	—	1	1
	精 算 機 (台)	2	1	1	1	1	1	1	
	定 期 券 発 行 機 (台)	—	—	—	—	—	2	—	
	自 動 定 期 券 発 売 機 (台)	1	—	—	1	—	1	—	
換 気 塔 (箇所)		2	3	2	3	2	2	2	

※1 「延面積」には、出入り口を含まない

※2 「深さ」は、駅中心部の地表からレール面までの深さ

※3 「駅冷房設備」の欄、「全館」は駅舎全体の冷房で、「局所」はホーム階の一部分の冷房

※4 福大前駅の「定期券発行機」は、多客時のみに使用

※5 券売機(マルチ)はICカード、IC定期、普通きっぷ対応

※6 券売機(その他)は普通きっぷのみ対応

※7 自動定期券発売機はICカード、IC定期対応

線

金山	茶山	○ 別府	六本松	桜坂	薬院大通	薬院	渡辺通	天神南
城南区 七隈三丁目	城南区 茶山一丁目	城南区 別府二丁目	中央区 六本松四丁目	中央区 桜坂三丁目	中央区 薬院四丁目	中央区 白金一丁目	中央区 渡辺通二丁目	中央区 渡辺通五丁目
地下2層	地下2層	地下2層	地下2層	地下2層	地下2層	地下2層	地下2層	地下2層
5,748	5,499	6,733	6,527	5,037	4,795	5,422	4,826	10,667
島式	島式	島式	島式	島式	島式	島式	島式	島式
83	81	87	81	81	83	81	81	105
8.30	8.30	7.50	8.30	7.50	8.30	8.30	8.30	10.00
14.0	13.5	13.5	13.9	13.4	13.8	13.5	13.5	14.1
2	2	3	3	2	2	2	2	6
6	6	6	6	4	6	10	4	8
2	2	2	2	2	3	2	2	2
局所	局所	全館	局所	局所	局所	全館	局所	全館
1	1	1	1	1	1	1	1	2
3	4	4	4	3	4	5	4	11
3	3	3	3	2	3	3	3	6
—	—	1	—	—	—	3	—	3
1	1	1	1	1	1	2	1	3
—	—	2	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	1	—	2
3	2	2	2	2	2	2	2	3

2. バリアフリー対応設備

(1) 空港線・箱崎線

① 駅設備

項 目		空 港								
		姪 浜	室 見	藤 崎	西 新	唐 人 町	大濠公園	赤 坂	天 神	
券 売 機	点 字 案 内 (台)	7 (2)	4	4	6	9	4	4	17	
	車椅子用カウンタ (箇所)	1 (0)	1	1	1	1	1	1	2	
	金銭投入口が低い (台)	7 (2)	4	4	6	9	4	4	17	
	音声案内機能付 (台)	7(2)	4	4	6	9	4	4	17	
	英語表示機能付 (台)	7 (2)	4	4	6	9	4	4	17	
改 札 機	点 字 案 内 (台)	11 (3)	4	5	9	7	5	9	29	
	音声案内及び 英語表示機能付 (台)	11 (3)	4	5	9	7	5	9	29	
	音声案内機能付精算機 (台)	2 (0)	2	2	2	2	2	2	6	
	車 椅 子 用 通 路 (箇所)	1	1	1	1	1	1	1	3	
	点 字 運 賃 表 (箇所)	1	1	1	1	1	1	1	3	
	多 機 能 ト イ レ (オストメイト対応) (箇所)	2	1	1	2	1	1	1	4	
	エ レ ベ ー タ ー (基)	2	3	3	2	2	3	2	2	
	自動列車接近放送装置 (台)	1	1	1	1	1	1	1	1	
	自 動 列 車 接 近 ・ 行 先 案 内 表 示 装 置 (箇所)	20	7	7	7	7	7	8	10	
	ホ ー ム ド ア	全 駅								
	誘 導 ブ ロ ッ ク									
	手すり点字案内板									

※ 姪浜駅出改札設備のうち()内数についてはJR九州の管理(えきマチ1丁目口)

② 車両設備

(令和4年3月末現在)

整 備 項 目	整 備 内 容	
案内装置設置	車内案内装置(視覚)	全編成設置
	自動放送装置(聴覚)	全編成設置
車椅子スペース・握り棒設置	全編成設置	
車両間転落防止外ホロ設置	JR筑肥線との相互直通運転のため、全編成設置	
車 両 扉 点 字 案 内	全編成設置	

(令和4年3月末現在)

線					箱 崎 線						
中洲川端	祇園博多	東比恵	福岡空港	吳服町	千代口	馬出九大	箱崎宮前	箱崎前	貝塚		
9	4	19	3	11	3	4	3	4	3	3	
2	1	3	1	6	1	1	1	1	1	1	
9	4	19	3	11	3	4	3	4	3	3	
9	4	19	3	11	3	4	3	4	3	3	
9	4	19	3	11	3	4	3	4	3	3	
9	7	25	7	12	5	3	5	3	3	8	
9	7	25	9	12	5	3	5	3	3	8	
3	2	6	2	3	1	1	1	1	1	2	
2	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	
2	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	
3	1	6	1	2	1	1	1	2	1	2	
1	2	3	2	2	2	2	2	2	2	3	
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
15	7	13	7	10	7	7	7	7	7	8	
設 置											

(2) 七隈線

① 駅設備

項 目		七 隈						
		橋 本	次 郎 丸	賀 茂	野 芥	梅 林	福 大 前	七 隈
券 売 機	点 字 案 内 (台)	3	3	3	3	2	4	3
	車椅子用カウンタ (箇所)	3	3	3	3	2	4	3
	金銭投入口が低い (台)	3	3	3	3	2	4	3
	音声案内機能付 (台)	3	3	3	3	2	4	3
	英語表示機能付 (台)	3	3	3	3	2	4	3
改 札 機	点 字 案 内 (台)	4	3	3	3	3	5	3
	音声案内及び 英語表示機能付 (台)	4	3	3	3	3	5	3
	音声案内機能付精算機 (台)	2	1	1	1	1	1	1
	車椅子用通路 (箇所)	1	1	1	1	1	1	1
	点字運賃表 (箇所)	1	1	1	1	1	1	1
	多機能トイレ (オストメイト対応) (箇所)	2	2	2	2	2	2	2
	エレベーター (基)	3	2	2	2	2	2	2
	自動列車接近放送装置 (台)	1	1	1	1	1	1	1
	自動列車接近 ・行先案内表示装置 (箇所)	5	5	5	5	5	5	5
	ホームドア	全 駅						
	誘導ブロック							
	手すり点字案内板							

※ 七隈線の券売機、改札機及び精算機は、バリアフリー対応として全駅全数設置

② 車両設備

(令和4年3月末現在)

整備項目		整備内容
案内装置設置	車内案内装置(視覚)	全編成設置
	自動放送装置(聴覚)	全編成設置
車椅子スペース・握り棒設置		全編成設置
車両間転落防止外ホロ設置		ホームドア設置のため不要
車両扉点字案内		全編成設置

(令和4年3月末現在)

線								
金 山	茶 山	別 府	六 本 松	桜 坂	薬院大通	薬 院	渡 辺 通	天 神 南
3	3	4	3	2	3	6	3	9
3	3	4	3	2	3	6	3	9
3	3	4	3	2	3	6	3	9
3	3	4	3	2	3	6	3	9
3	3	4	3	2	3	6	3	9
3	4	4	4	3	4	5	4	11
3	4	4	4	3	4	5	4	11
1	1	1	1	1	1	2	1	3
1	1	1	1	1	1	1	1	2
1	1	1	1	1	1	1	1	2
2	2	2	2	2	2	2	2	2
2	2	2	2	2	3	2	2	2
1	1	1	1	1	1	1	1	1
5	5	5	5	5	5	5	5	6
設 置								

3. 駐輪場及び駐車場設備

(1) 空港線・箱崎線

① 駐輪場（自転車・原動機付自転車）

(令和4年4月1日現在)

駐 輪 場 (設置駅数 19駅)	駅	名 称	収 容 台 数	使用料金の有無	管 理 者	
	姪 浜		姪浜駅高架下東	653	3,246	有 料
姪浜駅高架下西			2,593	有 料		福岡市シルハバー人材センター
室 見		室見駅前	719	1,445	有 料	福岡市シルハバー人材センター
		室見駅南	726		有 料	福岡市シルハバー人材センター
藤 崎		藤崎駅第1	150	972	有 料	福岡市シルハバー人材センター
		藤崎駅第2	822		有 料	福岡市シルハバー人材センター
西 新		西新路上	210	2,260	有 料	福岡市シルハバー人材センター
		西新駅西	200		有 料	福岡市シルハバー人材センター
		西新駅南	290		有 料	福岡市シルハバー人材センター
		西新駅東	60		有 料	福岡市シルハバー人材センター
		西新駅北	484		有 料	福岡市シルハバー人材センター
		西新駅中央	1,016		有 料	福岡市シルハバー人材センター
唐人町		唐人町駅	—	262	有 料	I-D0 (アイデオ)
大濠公園		大濠公園駅路上	—	301	—	—
赤 坂		赤坂駅路上	—	516	—	—
天 神		天神	1,438	3,346	有 料	I-D0 (アイデオ)
		天神路上	523		有 料	I-D0 (アイデオ)
		きらめき通り	589		有 料	(株)サン・ライフ
		天神中央公園	349		有 料	I-D0 (アイデオ)
		長浜公園	72		有 料	I-D0 (アイデオ)
		天神ふれあい通り	375		有 料	I-D0 (アイデオ)
中洲川端		川 端	431	1,804	有 料	博多リバレイン管理(株)
		清流公園	619		有 料	博多リバレイン管理(株)
		中島公園	340		有 料	博多リバレイン管理(株)
		冷泉公園	134		有 料	博多リバレイン管理(株)
		中洲川端駅路上	280		有 料	博多リバレイン管理(株)
祇 園		祇園駅路上	—	68	有 料	JR九州レンタカー&パーキング(株)
博 多		博多駅路上	339	3,925	有 料	JR九州レンタカー&パーキング(株)
		音羽公園	290		有 料	JR九州レンタカー&パーキング(株)
		博多駅高架下南	260		有 料	JR九州レンタカー&パーキング(株)
		博多口地下	897		有 料	JR九州レンタカー&パーキング(株)
		明治公園	736		有 料	JR九州レンタカー&パーキング(株)
		中比恵公園	437		有 料	JR九州レンタカー&パーキング(株)
		出来町公園	231		有 料	JR九州レンタカー&パーキング(株)
		人參公園	201		有 料	JR九州レンタカー&パーキング(株)
		博多駅東第一	57		無 料	博多区自転車対策・生活環境課
		博多駅東第二	117		無 料	博多区自転車対策・生活環境課
博多駅筑紫口	360	有 料	近鉄ファシリティーズ(株)			
東 比 恵		東比恵	380	500	無 料	博多区自転車対策・生活環境課
		東比恵北	120		無 料	博多区自転車対策・生活環境課
福岡空港		福岡空港駅	500	815	有 料	福岡市シルハバー人材センター
		福岡空港南	315		無 料	博多区自転車対策・生活環境課
呉服町		呉服町駅路上	—	191	有 料	博多リバレイン管理(株)
千代県庁口		千代県庁口駅	—	64	無 料	博多区自転車対策・生活環境課
馬出九大病院前		馬出九大病院前駅	—	150	無 料	東区維持管理課
箱崎宮前		箱崎宮前駅北	130	230	無 料	東区維持管理課
		箱崎宮前駅南	100		無 料	東区維持管理課
箱崎九大前		箱崎九大前駅	—	470	無 料	東区維持管理課
貝 塚		貝塚駅東	400	800	無 料	東区維持管理課
		貝塚駅西	350		無 料	東区維持管理課
		貝塚駅前	50		無 料	東区維持管理課
空港線,箱崎線 計 (51ヶ所)			21,365		—	

※1 市の管理によるもの以外は、指定管理者による管理

※2 大濠公園駅路上及び赤坂駅路上は、民間による管理

② 駐車場

(令和4年4月1日現在)

駅	名 称	収 容 台 数	敷地面積 (㎡)		使用料金の有無	管 理 者	
姪 浜	姪浜駅乗継駐車場	108	192	2,802	有 料	九州旅客鉄道(株)	
	姪浜第1パーキング	7		136			
	姪浜第2パーキング	22		630			
	姪浜第3パーキング	55		986			
室 見	リパーク室見駅前	—	5	—	255	有 料	三井不動産リアルティ九州(株)
箱崎九大前	東区箱崎2丁目パーキング	—	13	—	273	有 料	日本パーキング(株)
空港線, 箱崎線 計 (6ヶ所)			210		5,082	—	

(2) 七隈線

① 駐輪場(自転車・原動機付自転車)

(令和4年4月1日現在)

駅	名 称	収 容 台 数	使用料金の有無	管 理 者	
橋 本	橋 本 駅	771	無 料	西 区 管 理 調 整 課	
	橋 本 駅 南	110		西 区 管 理 調 整 課	
次 郎 丸	次 郎 丸 駅	188	有 料	福 岡 市 シ ル ハ ッ ー 人 材 セ ン タ ー	
	次 郎 丸 駅 路 上	30		福 岡 市 シ ル ハ ッ ー 人 材 セ ン タ ー	
賀 茂	賀 茂 駅 南	241	有 料	福 岡 市 シ ル ハ ッ ー 人 材 セ ン タ ー	
	賀 茂 駅 北	162		福 岡 市 シ ル ハ ッ ー 人 材 セ ン タ ー	
野 芥	野 芥 駅	128	有 料	福 岡 市 シ ル ハ ッ ー 人 材 セ ン タ ー	
	野 芥 駅 路 上	362		福 岡 市 シ ル ハ ッ ー 人 材 セ ン タ ー	
梅 林	梅 林 駅	—	有 料	福 岡 市 シ ル ハ ッ ー 人 材 セ ン タ ー	
福 大 前	福 大 前 駅	—	有 料	福 岡 市 シ ル ハ ッ ー 人 材 セ ン タ ー	
七 隈	七 隈 駅	116	有 料	福 岡 市 シ ル ハ ッ ー 人 材 セ ン タ ー	
	七 隈 駅 路 上	27		福 岡 市 シ ル ハ ッ ー 人 材 セ ン タ ー	
金 山	金 山 駅	—	有 料	福 岡 市 シ ル ハ ッ ー 人 材 セ ン タ ー	
茶 山	茶 山 駅 東	134	有 料	福 岡 市 シ ル ハ ッ ー 人 材 セ ン タ ー	
	茶 山 駅 西	171		福 岡 市 シ ル ハ ッ ー 人 材 セ ン タ ー	
別 府	別 府 駅	—	有 料	福 岡 市 シ ル ハ ッ ー 人 材 セ ン タ ー	
六 本 松	六 本 松 駅	—	有 料	I - D 0 (ア イ デ ィ オ)	
桜 坂	桜 坂 駅	—	有 料	I - D 0 (ア イ デ ィ オ)	
薬 院 大 通	薬 院 大 通 駅	—	有 料	I - D 0 (ア イ デ ィ オ)	
薬 院	薬 院 駅 南	246	有 料	I - D 0 (ア イ デ ィ オ)	
	薬 院 駅 北	50		I - D 0 (ア イ デ ィ オ)	
渡 辺 通	渡 辺 通 駅 路 上	—	—	—	
天 神 南	天 神 南 駅	—	有 料	I - D 0 (ア イ デ ィ オ)	
七隈線 計 (23ヶ所)			5,203	—	—

※1 市の管理によるもの以外は、指定管理者による管理

※2 渡辺通駅路上は、民間による管理

② 駐車場

(令和4年4月1日現在)

駅	名 称	収 容 台 数	敷地面積 (㎡)	使用料金の有無	管 理 者
橋 本	橋本駅第1パーキング	112	2,651	有 料	日本パーキング(株)
薬 院 大 通	NP24H薬院4丁目パーキング	8	275	有 料	日本パーキング(株)
七隈線 計 (2ヶ所)		120	2,926	—	

(3) 全線

(令和4年4月1日現在)

区 分	収 容 台 数
駐 輪 場 (74ヶ所)	26,568
駐 車 場 (8ヶ所)	330

第 8 線路設備及び土木構造物

1. 線路設備

線路名 項目	空港線					箱崎線					七隈線					合 計					
営業キロ	13.1キロ					4.7キロ					12.0キロ					29.8キロ					
起 終 点	姪浜～福岡空港					中洲川端～貝塚					橋本～天神南										
駅 数	13駅					7駅(中洲川端含む)					16駅					35駅					
軌道保守延長 (単線m)	27K829M うち交差渡り線 870m					11K538M うち交差渡り線 287m					25K375M うち交差渡り線 377m					64K742M うち交差渡り線 1,534m					
軌 間	1,067mm					1,067mm					1,435mm										
カント(最大)	105mm					100mm					150mm										
スラック(最大)	20mm					20mm					10mm										
最小曲線半径	177.349m					176.848m					100.000m										
曲 線 比 率	R<250	250≤R<600	R>600			R<250	250≤R<600	R>600			R<250	250≤R<600	R>600			R<250m	250≤R<600	R>600			
	9.3%	18.8%	24.7%			7.7%	9.3%	35.8%			11.6%	13.2%	22.8%			9.9%	14.9%	25.9%			
	全曲線 52.8%					全曲線 52.8%					全曲線 47.6%					全曲線 50.7%					
最急勾配	30‰					30‰					40‰										
勾 配 比 率	i=0	0<i≤10	10<i≤25	i>25		i=0	0<i≤10	10<i≤25	i>25		i=0	0<i≤10	10<i≤25	i>25		i=0	0≤i<10	10≤i<25	i>25		
	6.9%	51.4%	26.6%	15.1%		3.3%	63.4%	25.6%	7.7%		0.0%	62.0%	22.2%	15.8%		3.6%	57.7%	24.7%	14.0%		
最長のロングレール	2,582m					970m					6,337m					-					
ロングレールの比率 (200m以上/本)	81.2%					80.8%					96.4%					87.1%					
レ ー ル	50kgN					50kgN					50kgN					50kgN					
マ ク ラ ギ	種 別	PC	RC	合成	木	スラブ	PC	RC	合成	木	スラブ	PC	RC	合成	木	スラブ	PC	RC	合成	木	スラブ
	延 長 (m)	2,542	21,901	0	1,359	2,077	3,989	6,277	291	1,031		24,855	0	520	0		31,386	28,178	811	2,390	2,077
	本 数 (丁)	4,642	39,847	0	1,723		7,254	11,412	311	1,308		40,049	0	850	0		51,945	51,259	1,161	3,031	
	比 率	9.1%	78.5%	0.0%	4.9%	7.5%	34.4%	54.2%	2.5%	8.9%		98.0%	0.0%	2.0%	0.0%		48.4%	43.5%	1.2%	3.7%	3.2%
道 床	種別	コンクリート (スラブ含む)			砕 石	コンクリート (スラブ含む)			砕 石	コンクリート			砕 石	コンクリート (スラブ含む)			砕 石				
	延 長 (m)	27,472m			407m	10,366m			1,222m	25,365m			10m	63,203m			1,639m				
	比 率	98.5%			1.5%	89.5%			10.5%	99.96%			0.04%	97.5%			2.5%				

※本表には、基地及び側線は含まない。

2. 土木構造物

線路名 項目	空港線		箱崎線		七隈線		合 計	
建設キロ	14.9キロ		5.2キロ		12.7キロ		32.8キロ	
土 木 構 造 種 別 複 線 m	函 型 (複線型)	8,325m	(55.9%)	4,652m	(88.9%)	7,029m	(55.2%)	20,006m (60.9%)
	山 岳 トンネル	1,788m	(12.0%)			2,804m	(22.0%)	4,592m (14.0%)
	シールド	2,461m	(16.5%)			2,898m	(22.8%)	5,359m (16.3%)
	U 型	120m	(0.8%)	240m	(4.6%)			360m (1.1%)
	橋梁・高架	1,661m	(11.2%)					1,661m (5.1%)
	地 上	533m	(3.6%)	339m	(6.5%)			872m (2.6%)
	合 計	14,888m	(100.0%)	5,231m	(100.0%)	12,731m	(100.0%)	32,850m (100.0%)

第9 車両及び車両基地

1. 車両

(1) 車両諸元

① 1000N系（第01編成～第18編成）

形式	1500N	1000N	1100N	1000N	1100N	1500N
車種	Tc	M1	M'1	M2	M'2	T'c
定員(座席定員)(人)	135(45)	146(51)	146(51)	146(51)	146(51)	135(45)
自重(t)	34	※37.5/36.7	40.5	※37.5/36.7	40.5	34
最大長さ(mm)	20,500	20,000	20,000	20,000	20,000	20,500
車体長さ(mm)	20,000	19,500	19,500	19,500	19,500	20,000
最大幅(mm)	2,860					
車体幅(mm)	2,840					
最大高さ(mm)	4,090	4,090	4,135	4,090	4,135	4,090
屋根高さ(mm)	3,650					
床面高さ(mm)	1,150					
1両当り片側ドア数	4					
車体構造	ステンレス、溶接組立構造					
台車構造	空気ばね車体直結式 円筒案内式軸箱支持					
駆動方式	中実軸平行カルダン方式、歯車継手、歯車比 15:84=5.6					
軌間(mm)	1,067					
電気方式	直流 1,500V 架空単線式					
最高速度(km/h)	90					
加速度(km/h/s)	3.3(最大)					
減速度(km/h/s)	3.5(常用) 4.0(非常)					
主電動機容量	—	150kW×4	150kW×4	150kW×4	150kW×4	—
主電動機	自己通風式三相かご形誘導電動機					
制御装置	—	VVVFインバータ制御(1C4M×2群×2ユニット)				—
ブレーキ方式	回生ブレーキ併用電気演算形電気指令式直通ブレーキ(遅れ込め制御)、保安ブレーキ					
基礎ブレーキ装置	ディスクブレーキ	車輪踏面片押しブレーキ				ディスクブレーキ
空気圧縮機	—	—	2,230ℓ/min	—	2,230ℓ/min	—
	三相誘導電動機駆動水平対向単動往復式二段圧縮					
補助電源装置容量	—	—	210kVA	—	210kVA	—
	ブラシレス三相同期機、負荷転流形三相ブリッジインバータ					
保安装置	ATC、ATO、IR、ATS-SK、EB					
通信装置	誘導無線式同時送受話方式発報信号付					
冷房装置	低騒音分散自動温調扇機付 12.8kW(11,000kcal/h)×4/両					
運転方式	自動運転(ATO)					
保有車両数	108両					
1次車の営業開始年	1981年(昭和56年)					

※1 M1、M2の自重は第01～08編成が37.5t、第09～18編成が36.7t

※2 定員は、表記旅客定員で 854人

② 2000系（第21編成、第23編成及び第24編成）

形 式	2500	2000	2100	2000	2100	2500
車 種	Tc	M1	M'1	M2	M'2	T'c
定員(座席定員) (人)	135 (45)	146 (51)	146 (51)	146 (51)	146 (51)	135 (45)
自 重 (t)	29.0	34.5	35.0	34.5	35.0	29.0
最大長さ (mm)	20,500	20,000	20,000	20,000	20,000	20,500
車体長さ (mm)	20,000	19,500	19,500	19,500	19,500	20,000
最大幅 (mm)	2,860					
車体幅 (mm)	2,840					
最大高さ (mm)	4,090	4,090	4,135	4,090	4,135	4,090
屋根高さ (mm)	3,650					
床面高さ (mm)	1,130					
1両当り片側ドア数	4					
車 体 構 造	オールステンレス					
台 車 構 造	ボルスタレス空気ばね車体支持、片板ばね式軸箱支持					
駆 動 方 式	中実軸平行カルダン方式、歯車継手、歯車比 15 : 98 = 6.53					
軌 間 (mm)	1,067					
電 気 方 式	直流 1,500V 架空単線式					
最高速度 (km/h)	110					
加 速 度 (km/h/s)	3.5 (最大)					
減 速 度 (km/h/s)	3.5 (常用) 4.0 (非常)					
主 電 動 機 容 量	—	150kW×4	150kW×4	150kW×4	150kW×4	—
主 電 動 機	自己通風式三相かご形誘導電動機					
制 御 装 置	—	VVVFインバータ制御 (1C8M×2ユニット) ※				—
ブ レ ー キ 方 式	回生ブレーキ併用電気演算形電気指令式直通ブレーキ(遅れ込め制御)、保安ブレーキ					
基礎ブレーキ装置	片押式ユニットブレーキ (自動すきま調節機能、増粘着機能付)					
空 気 圧 縮 機	—	—	2,463ℓ/min	—	2,463ℓ/min	—
	三相誘導電動機駆動直列3気筒単動往復式二段圧縮					
補助電源装置容量 方式・形式	—	—	140kVA	—	140kVA	—
	静止形インバータ、昇降圧チョッパ方式 (DC-DCコンバータ 3相GTOインバータ)					
保 安 装 置	ATC、ATO、IR、ATS-SK、EB、デッドマン					
通 信 装 置	誘導無線式同時送受話方式発報信号付					
冷 房 装 置	屋根上セミ集中式 16.3kW (14,000kcal/h) ×3/両					
車両監視情報装置	伝 送 速 度 : 2.5Mbps(車両間), 9.6~38.4kbps(車両内) 伝送制御方式 : ポーリング・セレクトィング方式 表 示 方 式 : カラーLCD (タッチパネル式) 記 録 装 置 : 非接触ICカード (故障表示・運転台操作履歴・試運転記録) CFカード (運転状況記録)					
運 転 方 式	自 動 運 転 (ATO)					
保 有 車 両 数	30両					
1次車の営業開始年	1992年 (平成4年)					

※1 第24編成は1C4M×2群×2ユニット

※2 定員は、表記旅客定員で 854人

※3 第19編成は、現在、車体、機器等を大規模改修中

③ 2000N系（第19編成、第20編成及び第22編成）

形式	2500N	2000N	2100N	2000N	2100N	2500N
車種	Tc	M1	M'1	M2	M'2	T'c
定員(座席定員)(人)	135(45)	146(51)	146(51)	146(51)	146(51)	135(45)
自重(t)	28.9	34.2	33.6	34.1	33.7	29.0
最大長さ(mm)	20,500	20,000	20,000	20,000	20,000	20,500
車体長さ(mm)	20,000	19,500	19,500	19,500	19,500	20,000
最大幅(mm)	2,860					
車体幅(mm)	2,840					
最大高さ(mm)	4,090	4,090	4,135	4,090	4,135	4,090
屋根高さ(mm)	3,650					
床面高さ(mm)	1,130					
1両当り片側ドア数	4					
車体構造	オールステンレス					
台車構造	ボルスタレス空気ばね車体支持、片板ばね式軸箱支持					
駆動方式	中実軸平行カルダン方式、歯車継手、歯車比 15:98=6.53					
軌間(mm)	1,067					
電気方式	直流 1,500V 架空単線式					
最高速度(km/h)	110					
加速度(km/h/s)	3.5(最大)					
減速度(km/h/s)	3.5(常用) 4.0(非常)					
主電動機容量	—	150kW×4	150kW×4	150kW×4	150kW×4	—
主電動機	全閉内扇式三相かご形誘導電動機					
制御装置	—	VVVFインバータ制御(1C4M×2群×2ユニット)				—
ブレーキ方式	回生ブレーキ併用電気演算形電気指令式直通ブレーキ(遅れ込め制御)、保安ブレーキ					
基礎ブレーキ装置	片押式ユニットブレーキ(自動すきま調節機能、増粘着機能付)					
空気圧縮機	—	—	2,442ℓ/min	—	2,442ℓ/min	—
	三相誘導電動機駆動二段圧縮単道往復式直列3気筒					
補助電源装置容量 方式・形式	—	—	150kVA	—	150kVA	—
	静止形インバータ、ダイレクト変換電圧形3レベルIGBTインバータ					
保安装置	ATC、ATO、IR、ATS-SK、EB、デッドマン					
通信装置	誘導無線式同時送受話方式発報信号付					
冷房装置	マイクロコンピュータによる稼働率制御式(ON/OFF制御)(14,000kcal/h)×3/両					
車両監視情報装置	伝送方式:直列伝送(2.5Mbps) 表示方式:10.4インチカラーLCD(タッチパネル式) その他:故障表示・車内案内制御・試運転記録機能付					
運転方式	自動運転(ATO)					
保有車両数	6両					
改修後の営業開始年	2021年(令和3年)					

※ 定員は、表記旅客定員で 854人

④ 3000系（第01編成～第17編成）

形 式	3100	3200	3500	3600
車 種	M1c	M1	M3	M3c
定員(座席定員) (人)	89 (34)	100 (39)	100 (38)	89 (34)
自 重 (t)	26.9	25.5	25.5	26.9
最大長さ (mm)	16,750	16,500	16,500	16,750
車体長さ (mm)	16,250	16,000	16,000	16,250
車 体 幅 (mm)	2,490			
最大高さ (mm)	3,145			
屋根高さ (mm)	3,145			
床面高さ (mm)	830			
1両当り片側ドア数	3			
車 体 構 造	アルミダブルスキン			
台 車 構 造	リニアモータ駆動自己操舵空気ばね式			
軌 間 (mm)	1,435			
電 気 方 式	直流 1,500V 架空単線式			
最高速度 (km/h)	70			
加 速 度 (km/h/s)	3.2 (平均)			
減 速 度 (km/h/s)	4.0 (常用)		4.5 (非常)	
主 電 動 機 容 量	150kW相当×2	150kW相当×2	150kW相当×2	150kW相当×2
主 電 動 機	車上1次片側式リニアインダクションモータ			
制 御 装 置	VVVFインバータ制御 (1C2M×2群×2ユニット)			
ブ レ ー キ 方 式	電空併用電気指令式電磁直通空気ブレーキ (応荷重付)			
基礎ブレーキ装置	ディスクブレーキ			
空 気 圧 縮 機	2,442ℓ/min	—	—	2,442ℓ/min
	三相誘導電動機駆動直列3気筒単動往復式二段圧縮			
補助電源装置容量 方式・形式	120kVA	—	—	120kVA
	静止形インバータ、各相個別瞬時波形制御方式			
保 安 装 置	ATC、ATO、SR、デッドマン			
通 信 装 置	空間波無線方式			
冷 房 装 置	天井セミ集中式 14.5kW (12,500kcal/h) ×2/両			
車両情報制御装置	伝 送 速 度 : 3.2Mbps(車両間), 9.6~38.4kbps(車両内) 伝送制御方式 : サイクリック(車両間), ポーリング・セレクトィング方式(車両内) 表 示 方 式 : カラーLCD (タッチパネル式) 記 録 装 置 : 非接触ICカード (故障表示・運転台操作履歴・試運転記録)			
運 転 方 式	自 動 運 転 (ATO:自動閉扉・自動出発)			
保 有 車 両 数	68両			
1次車の営業開始年	2005年 (平成17年)			

※ 定員は、表記旅客定員で 378人

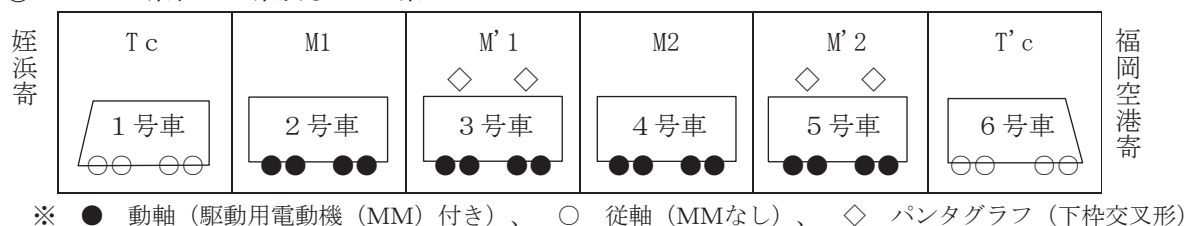
⑤ 3000A系（第18編成～第19編成）

形 式	3100A	3200A	3500A	3600A
車 種	M1c	M1	M3	M3c
定員(座席定員) (人)	81 (23)	95 (39)	94 (38)	81 (23)
自 重 (t)	26.7	25.8	25.7	26.6
最大長さ (mm)	16,750	16,500	16,500	16,750
車体長さ (mm)	16,250	16,000	16,000	16,250
車 体 幅 (mm)	2,490			
最大高さ (mm)	3,145			
屋根高さ (mm)	3,145			
床面高さ (mm)	830			
1両当り片側ドア数	3			
車 体 構 造	アルミダブルスキン			
台 車 構 造	リニアモータ駆動自己操舵空気ばね式			
軌 間 (mm)	1,435			
電 気 方 式	直流 1,500V 架空単線式			
最高速度 (km/h)	70			
加 速 度 (km/h/s)	3.2 (平均)			
減 速 度 (km/h/s)	4.0 (常用)		4.5 (非常)	
主 電 動 機 容 量	150kW相当×2	150kW相当×2	150kW相当×2	150kW相当×2
主 電 動 機	車上1次片側式リニアインダクションモータ			
制 御 装 置	VVVFインバータ制御 (1C2M×2群×2ユニット)			
ブ レ ー キ 方 式	電空併用電気指令式電磁直通空気ブレーキ (応荷重付)			
基礎ブレーキ装置	ディスクブレーキ			
空 気 圧 縮 機	1,120ℓ/min	—	—	1,120ℓ/min
	三相誘導電動機駆動水平対向4気筒単動往復式二段圧縮			
補助電源装置容量 方式・形式	120kVA	—	—	120kVA
	静止形インバータ、各相個別瞬時波形制御方式			
保 安 装 置	ATC、ATO、SR、デッドマン			
通 信 装 置	空間波無線方式			
冷 房 装 置	天井セミ集中式 冷房能力17.4kW (15,000kcal/h) ×2/両			
車両情報制御装置	伝 送 速 度 : 3.2Mbps(車両間), 9.6~38.4kbps(車両内) 伝送制御方式 : サイクリック(車両間), ポーリング・セレクトィング方式(車両内) 表 示 方 式 : カラーLCD (タッチパネル式) 記 録 装 置 : 非接触ICカード (故障表示・運転台操作履歴・試運転記録)			
運 転 方 式	自 動 運 転 (ATO:自動閉扉・自動出発)			
保 有 車 両 数	8両			
1次車の営業開始年	2022年 (令和4年)			

※ 定員は、表記旅客定員で 351人

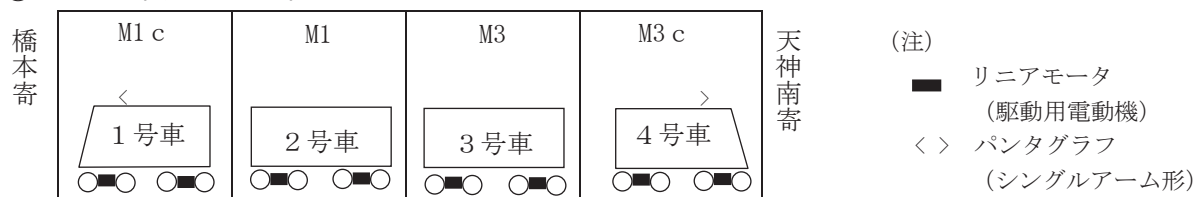
(2) 列車編成図

① 1000N系、2000系及び2000N系



※ ● 動軸（駆動用電動機（MM）付き）、○ 従軸（MMなし）、◇ パンタグラフ（下枠交叉形）

② 3000系及び3000A系



(注)
 ■ リニアモーター（駆動用電動機）
 ◇ パンタグラフ（シングルアーム形）

2. 車両基地

名称	福岡市交通局姪浜車両基地	福岡市交通局橋本車両基地
所在地	福岡市西区下山門四丁目1番1号	福岡市西区橋本二丁目34番1号
全敷地面積	71,500㎡	79,000㎡
建築延床面積	27,200㎡	25,800㎡
	管理棟 4,500㎡	管理棟 5,900㎡
	工場棟 11,500㎡	工場棟 17,700㎡
	検車庫 6,100㎡	その他 2,200㎡
	教材室 400㎡ その他 4,700㎡	

※姪浜車両基地は建屋の改修を実施中

3. 検修作業の概要

種 別	車両検査編成数		説 明
	姪浜車両工場	橋本車両工場	
列車検査	4～5編成/日 (24～30両/日)	3～4編成/日 (12～16両/日)	10日を超えない期間ごとに車両の主要部分について行う検査。
3月検査	7～8編成/月 (42～48両/月)	6～7編成/月 (24～28両/月)	3月を超えない期間ごとに、車両の状態及び機能について行う検査。
重要部検査 及び 全般検査	6編成/年 (36両/年)	4～5編成/年 (16～20両/年)	(重要部検査) 4年を超えない期間ごとに、車両の動力発生装置、走行装置、ブレーキ装置、その他の重要な装置の主要部分について行う検査。 ※3000系及び3000A系車両は5年を超えない期間ごと
			(全般検査) 8年を超えない期間ごとに、車両の主要部分を取りはずして、全般について行う検査。 ※3000系及び3000A系車両は10年を超えない期間ごと
臨時検査	—	—	車両を製作又は購入したとき、使用を休止した後使用を開始するとき、衝突脱線、その他の重大な事故が生じたとき、重要な改造又は修繕をしたとき、その他必要があるときに行う検査。

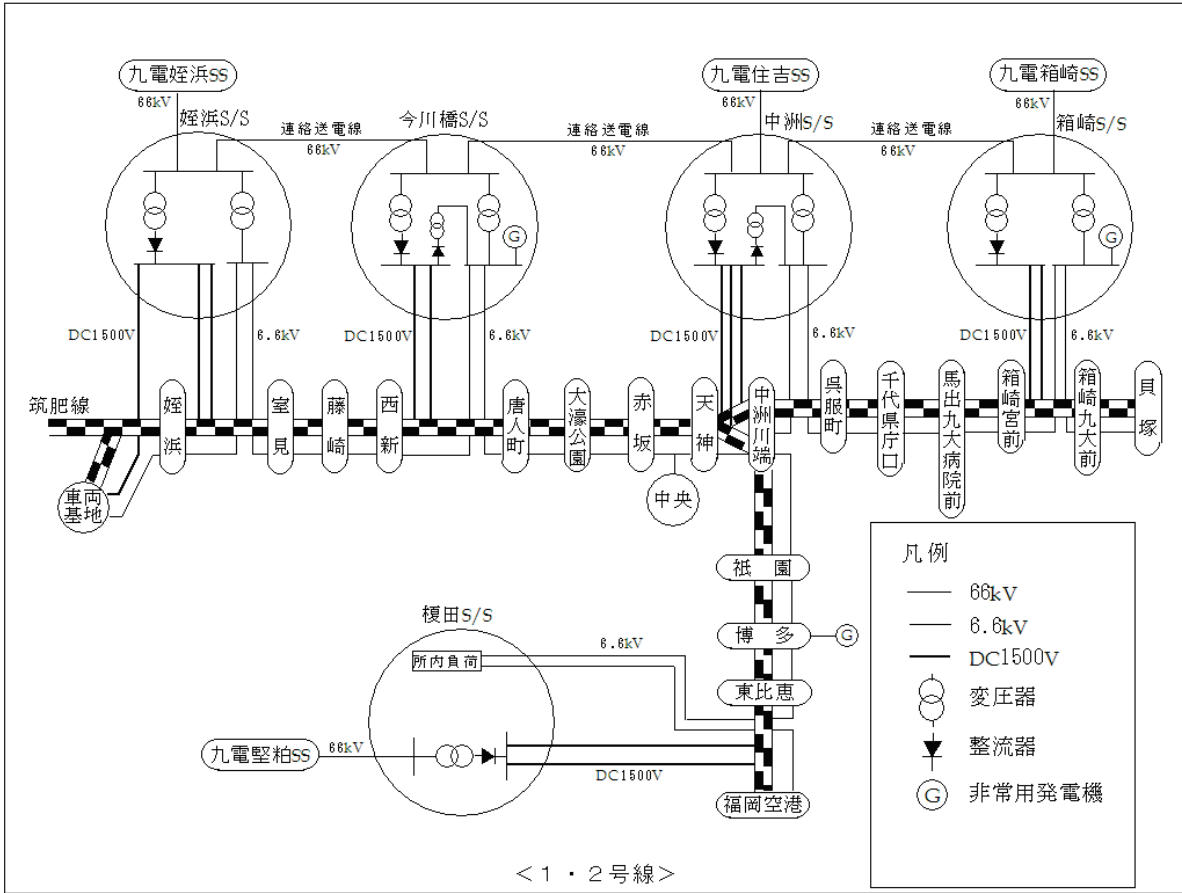
第10 電 気 設 備

1. 電力設備一覧表

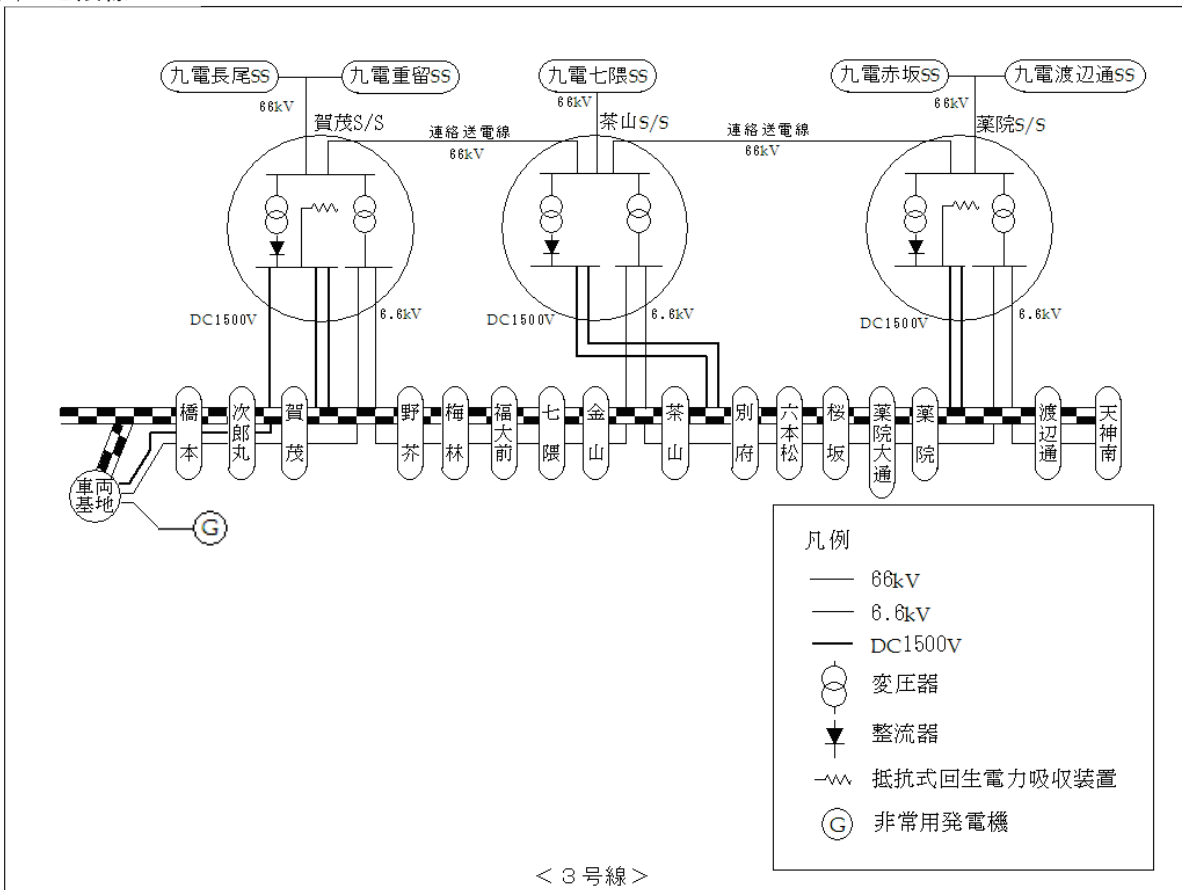
設 備 項 目			単 位	数 量	
				空港線 箱崎線	七隈線
送電	連絡送電線及び受電線	送電線	km	10.8 (66kV CV-T150mm ²)	9.4 (66kV EM-CET150mm ²)
		受電線		1.6 (66kV CV-T150mm ²)	-
変電	電力指令室		箇所	1	
	変電所		箇所	5	3
	シリコン整流器	4,000 kW	台	10	-
		3,000 kW	台	2	6
	回生電力吸収装置	500 kW (サイリスタインバータ方式)	台	2	-
		250 kW (抵抗方式)		-	2
	付帯用変圧器	5,000 kVA	台	-	1
		4,500 kVA	台	8	-
		4,000 kVA	台	-	2
	非常用電源装置	非常用発電機	台 kVA	3 3,750	1 1,500
電路	電気室	室	27	18	
		変圧器	122	76	
	高圧配電線		km	21.5×2 〔 6.6kV CV-T200mm ² ・150mm ² ・60mm ² 〕	14.0×2 (6.6kV EM-CET200mm ²)
	電車線	剛体式	km	36.9	27.0
シンプルカテナリ式		km	17.0	8.6	

2. 受配電系統図

(1) 空港線・箱崎線



(2) 七隈線



3. 信号設備一覧表

(令和4年3月末現在)

設備項目	線別	設備内容	単位	数量	記事
継電連動機	空港線・箱崎線	第1種電気継電	組	10	
	七隈線			3	
電子連動機	七隈線	第1種電子	組	1	橋本車両基地
電気転てつ機	空港線・箱崎線	N S 型 (ロック狂付)	台	69	本線及び姪浜車両基地
		耐水型 (ロック狂付)		3	博多駅の一部
		うす型 (ロック狂無)		4	福岡空港駅
	七隈線	N S 型 (ロック狂無)		34	橋本車両基地
		耐水型 (ロック狂無)		19	橋本, 茶山, 天神南
自動列車制御装置 (ATC)	空港線・箱崎線	搬送波 17, 18, 20, 21 kHz 制御情報 75, 65, 55, 45, 25, 15, 01, S, X, D	式	8	無絶縁軌道回路 108 有絶縁軌道回路 155
	七隈線	搬送波 主 11.3 kHz (予告時10.6 kHz) 副 9.2 kHz 制御情報 70, 65, 60, 55, 50, 45, 40, 35, 30, 25, 20, 15, 01, S35, S25, SP35, SP25, X		4	無絶縁軌道回路 131 有絶縁軌道回路 103
列車集中制御装置 (CTC)	空港線・箱崎線	1 : N	駅	7	
	七隈線			3	
自動列車運転装置 (ATO)	空港線・箱崎線	地上子	個	404	
	七隈線			164	
ホームドア制御用情報伝送装置 (DCU)	空港線・箱崎線	有電源地上子	ホーム	43	
	七隈線			ATO PO地上子による	

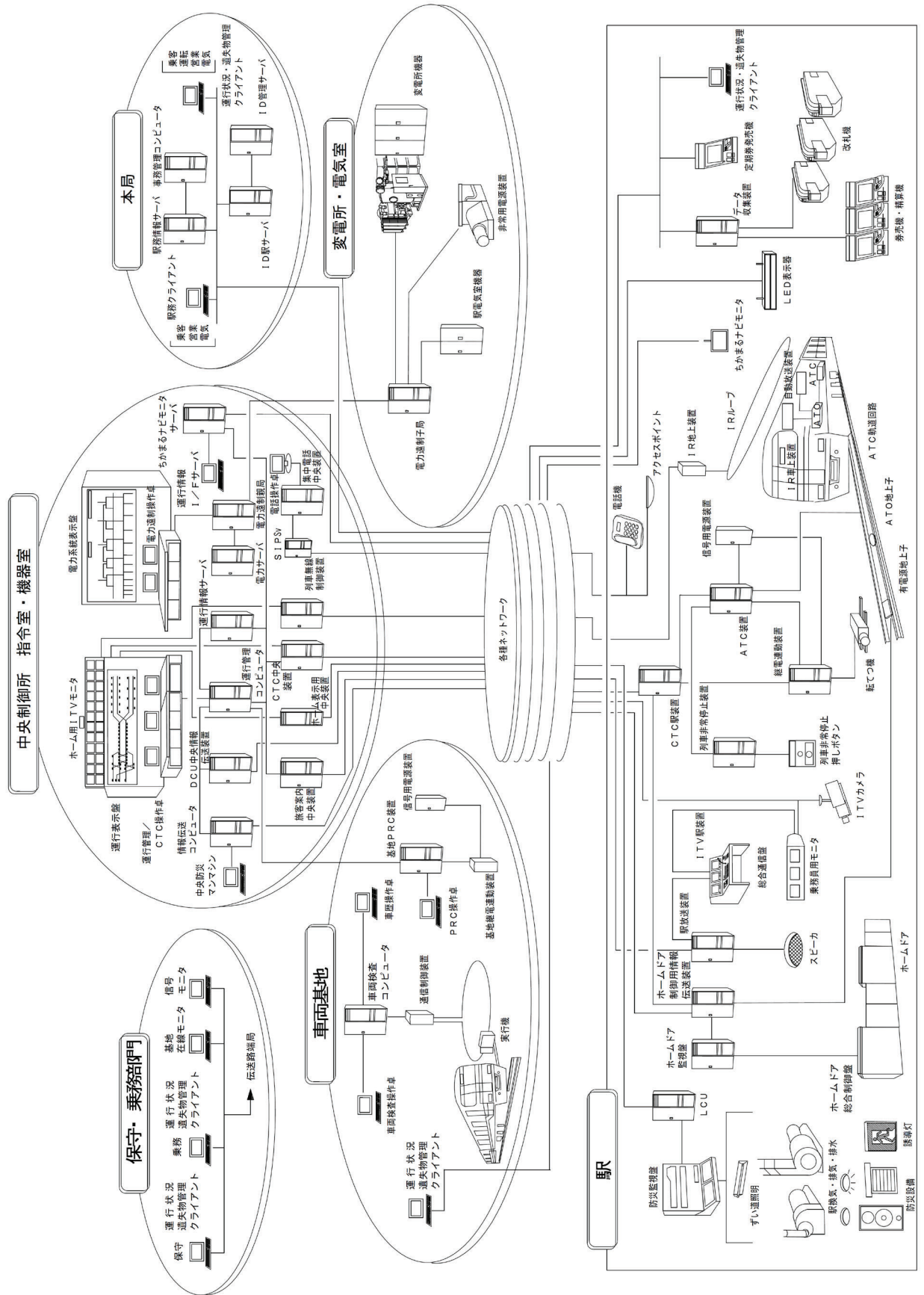
4. 通信設備一覧表

(令和4年3月末現在)

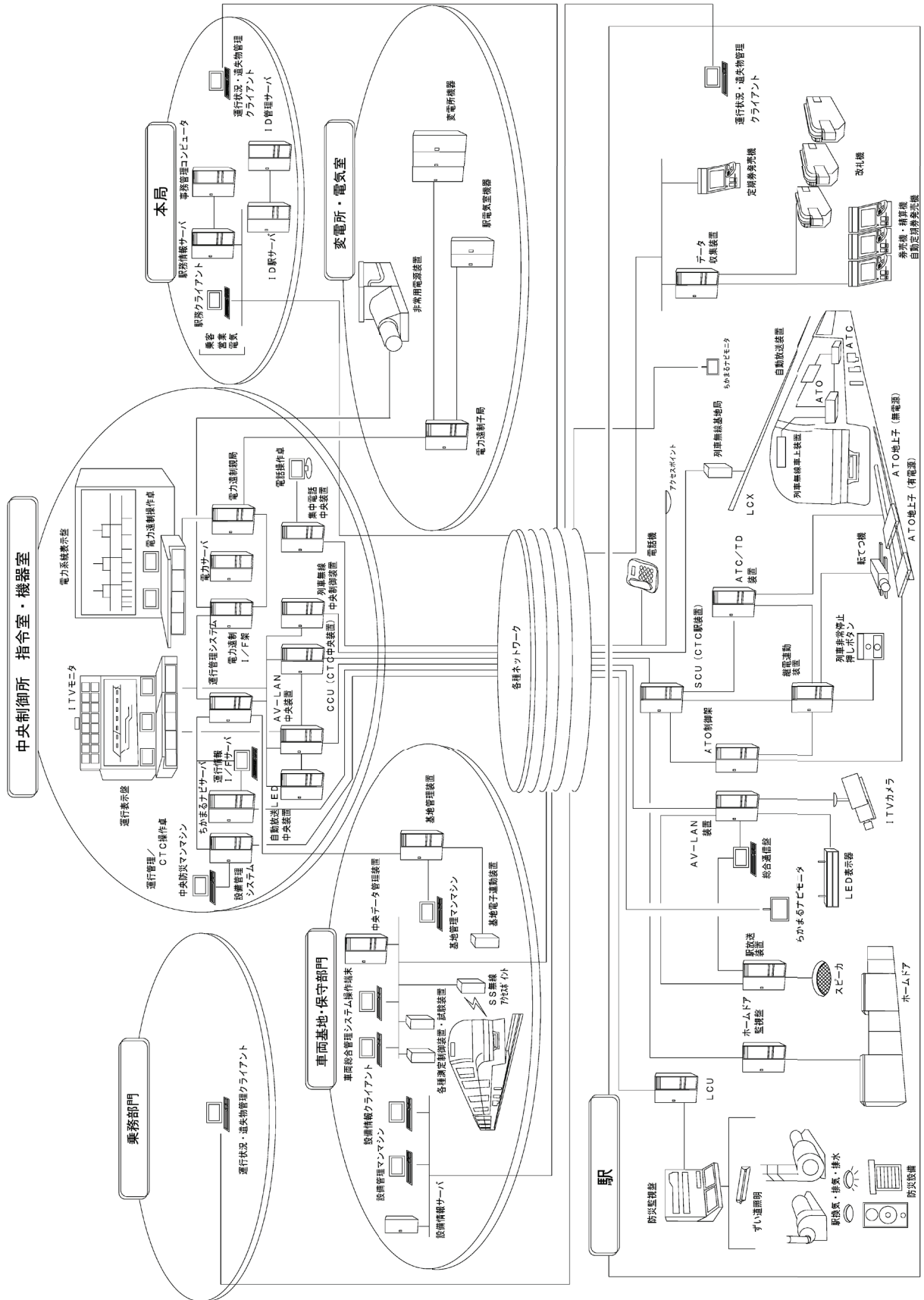
設備項目	線別	設備内容	単位	数量	記事
電話機	空港線・箱崎線	指令	台	59	
		業務用・沿線		612	
	七隈線	指令		48	
		業務用・沿線		506	
列車無線	誘導無線式 (空港線・箱崎線)	音声 2 ch 発報 1 ch	局	8	
		データ 2 ch		22	
	空間波無線式 (七隈線)	通話 2 ch 非常 1 ch データ 2 ch 保守 1 ch		6	
I T V	空港線・箱崎線	モニタ	台	179	
		カメラ		678	
	七隈線	モニタ		102	
		カメラ		388	

5. トータルシステム図

(1) 空港線・箱崎線



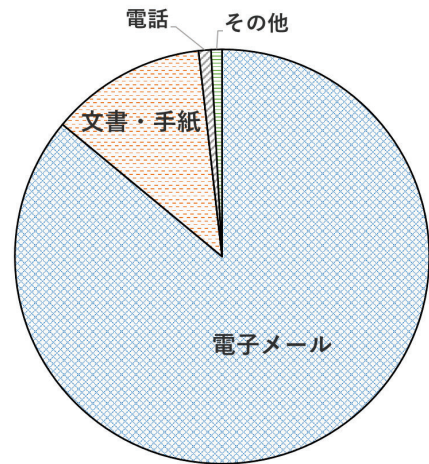
② 七隈線



第11 お客様の声

1. 收受方法別実績（令和3年度）

受付方法	件数	割合
電子メール	805	86.0%
文書・手紙	114	12.2%
面談	0	0.0%
電話	9	1.0%
その他	8	0.9%
計	936	100.0%



2. 内容別実績（令和3年度） ※ 1回のご意見で複数の内容の場合あり

内容	件数	割合	主な内容
乗客マナー	155	14.7%	携帯電話の使用、優先席占有等
乗客案内	154	14.7%	案内表示、案内放送、ホームページの改善等
運賃・乗車券等	152	14.5%	IC乗車券、販売制度、運賃等
職員等の対応	134	12.7%	職員・委託職員の対応等
駅施設等	130	12.4%	バリアフリー、駅務機器、エレベーター・トイレ等
車両	120	11.4%	車両の設備、空調等
運転・ダイヤ	94	8.9%	ダイヤの改善、安全対策、運転技術等
その他	62	5.9%	—
将来計画	37	3.5%	延伸計画・将来構想等
乗り換え・駅周辺整備	13	1.2%	地下鉄乗り換え、他交通との結節、駅周辺設備等
計	1,051	100.0%	

3. お客様の声を反映した主な取組（過去5年間）

平成29年11月	ホームドアに優先席や弱冷房車の位置案内ステッカーを設置
平成30年2月	外国人向けマナーポスターを掲示し、マナーの向上を呼びかけ
平成30年4月	「ちかパス65」の3か月・6か月定期を発売
平成31年4月	車内次駅放送に駅ナンバリングの放送を追加
平成31年4月	列車接近メロディの音量を調整
令和元年7月	ご意見投稿フォームにご意見を受理した旨の自動返信メール送付機能を追加
令和元年8月	ラッシュ時の混雑状況をホームページに掲載
令和元年9月	博多駅筑紫口の5、6番出入口方面に改札を新設
令和2年3月	空港線・箱崎線全駅改札付近サインのエレベーター案内表示を改良
令和2年7月	新型コロナウイルス感染症対策として、各駅にてマスクの販売を開始
令和2年10月	車両の優先座席付近に新たに「ヘルプマーク」を掲出
令和3年8月	抗菌・抗ウイルスコーティングを実施
令和3年10月	新型コロナウイルス感染症対策の英語放送を開始
令和3年10月	エスカレーター安全利用キャンペーンを実施
令和4年3月	駆け込み乗車禁止サインの表示や設置場所を見直し

第12 経 緯

年 月 日	概 要
昭和44 (1969)	
2. 3	運輸大臣が「都市交通審議会」に諮問 (第8号)
2. 6	「都市交通審議会」内に北部九州部会を設置
昭和46 (1971)	
3. 11	「都市交通審議会」が運輸大臣に答申 (第12号) [参考資料1]
7. 11	福岡市議会に「都市交通対策特別委員会」を設置
10. 28	「福岡都市圏交通対策協議会」を設置
昭和47 (1972)	
2. 22	「都市交通対策特別委員会」の中間報告 [参考資料3] (1. 計画路線 2. 機種 3. 開業時期など)
昭和48 (1973)	
2. 21	「都市交通対策特別委員会」で決定 [参考資料4] (1. 経営建設主体 2. 緊急に建設すべき路線)
12. 22	福岡市議会において、福岡市が高速鉄道を建設し、経営する決議を得る (1号線 姪浜～博多間 9.8km、2号線 中洲川端～貝塚間 4.7km)
昭和49 (1974)	
2. 1	運輸大臣に地方鉄道事業免許を申請 (昭和49. 8. 22 免許) (1号線 姪浜～博多間 9.8km、2号線 中洲川端～貝塚間 4.7km)
2. 20	「福岡都市圏交通対策協議会」で決定 [参考資料5] (1. 路線 2. 緊急整備区間 3. 方式 4. 経営 (建設) 主体 5. 交通対策)
昭和50 (1975)	
1. 14	建設大臣に道路への敷設許可申請 (昭和50. 6. 25 許可) (1号線 室見～博多間、2号線 中洲川端～箱崎九大前間)
3. 28	運輸大臣に第1次分割工事施行認可申請 (昭和50. 10. 23 認可) (土木関係 1号線 室見～祇園間、2号線 中洲川端～呉服町間)
4. 3	1号線 (姪浜～博多間)、2号線 (中洲川端～貝塚間) 都市計画決定
7. 2	建設大臣に工事施行認可申請 (昭和50. 10. 8 認可) (1号線 室見～祇園間、2号線 中洲川端～呉服町間)
8. 11	運輸大臣に第2次分割工事施行認可申請 (昭和51. 4. 19 認可) (電気関係)
11. 2	西鉄路面電車福岡市内線 (貫線、呉服町線、城南線) 廃止
11. 12	高速鉄道起工式
昭和51 (1976)	
3. 31	筑肥線と1号線との「列車の相互直通運転に関する基本協定」を国鉄と締結
昭和52 (1977)	
2. 21	運輸大臣に工事施行認可申請 (昭和53. 5. 26 認可) (1号線 姪浜～室見間、祇園～博多間、2号線 呉服町～貝塚間)
6. 21	建設大臣に工事施行認可申請 (昭和53. 2. 9 認可) (1号線 祇園～博多間、2号線 呉服町～箱崎九大前間)

年月日	概要
昭和53 (1978)	
2. 20	都市交通対策特別委員会に事業費変更 (2,717億円に) を報告
5. 17	建設大臣に道路への敷設許可申請 (昭和53. 11. 22 許可) (2号線 千代県庁口～馬出九大病院前間、当初許可後に道路区域決定のため)
7. 26	中央区役所・高速鉄道建設局合同庁舎起工式
12. 27	建設大臣に工事施行認可申請 (昭和54. 6. 29 認可) (2号線 千代県庁口～馬出九大病院前間)
昭和54 (1979)	
1. 20	都市交通対策特別委員会に事業費変更 (2,935億円に) 報告
2. 11	西鉄路面電車福岡市内線 (循環線、貝塚線) 廃止
2. 20	藤崎トンネル (飛石工区・室見～藤崎間 611m) 貫通式
4. 23	室見トンネル (愛宕下工区・愛宕下～室見間 537m) 貫通式
10. 1	1号線 (姪浜～博多) 駅名決定
10. 29	那珂川工区隧道貫通式
昭和55 (1980)	
2. 26	
～2. 28	1000系車両第1編成車両基地搬入
3. 29	姪浜変電所通電開始式
4. 26	トンネル銘板「地下鉄隧道」除幕式、室見～天神間軌道締結式
6. 3	中央区役所・高速鉄道建設局合同庁舎竣工式
7. 7	中央制御所火入式
7. 15	1000系車両第1編成トンネル内に入線
7. 19	室見～天神間試運転開始式
昭和56 (1981)	
5. 19	建設大臣に室見～天神間運輸開始承認申請 (昭和56. 6. 26 承認)
5. 26	運輸大臣及び福岡陸運局長に地方鉄道業の旅客運賃及び運輸に関する料金制定認可申請 (昭和56. 7. 3 認可)
6. 7	陸運局長に室見～天神間運輸開始認可申請 (昭和56. 7. 16 認可)
6. 22	西大橋復元開通式
7. 26	1号線 (室見～天神) 開業
10. 27	室見～呉服町間試運転開始
12. 2	1人乗務 (ワンマン) 運転の試行 (～12. 25) (1日4往復、空車列車)
昭和57 (1982)	
2. 13	都市交通対策特別委員会に事業費の変更 (3,428億円に) を報告
3. 2	2号線 (呉服町) 駅名決定
3. 15	1人乗務 (ワンマン) 運転の試行 (～4. 14) (1日4往復、営業列車)
4. 20	1号線 (天神～中洲川端)、2号線 (中洲川端～呉服町) 開業
5. 15	1人乗務 (ワンマン) 運転の試行 (～6. 14) (全営業列車)

年 月 日	概 要
昭和57 (1982)	
8. 1	1000系車両「ローレル賞」受賞
8. 31	中洲川端～博多（仮）間試運転開始
10. 20	車両基地～室見間試運転開始
昭和58 (1983)	
3. 22	1号線（姪浜～室見、中洲川端～博多（仮））開業、国鉄筑肥線と相互直通 運転開始（相互直通区間 筑前前原～博多）
4. 15	1人乗務（ワンマン）運転の試行（～6.14） （国鉄列車を除く全営業列車）
9. 14	2号線（呉服町を除く）駅名決定
12. 22	呉服町～馬出九大病院前間試運転開始
昭和59 (1984)	
1. 20	1人乗務（ワンマン）運転の実施 （国鉄列車を除く全営業列車）
2. 20	第3委員会に建設工程の変更（貝塚までの開業時期の延長）及び事業費変更 （3,604億円）を報告
4. 27	2号線（呉服町～馬出九大病院前）開業
5. 15	建設大臣に道路への敷設許可申請（昭和60. 1. 24 許可） （1号線 姪浜～室見間、当初許可後に道路区域決定のため）
8. 23	トンネル銘板「 ^{ジッポウムゲ} 十方無礙」除幕式
昭和60 (1985)	
2. 28	「都市交通対策特別委員会」は1号線博多～福岡空港間のルートは百年橋通りルート とすることで意見の集約をみた旨を報告
3. 3	1号線（博多（仮）～博多）開業
6. 1	第1回運賃改定（初乗り 140円）
昭和61 (1986)	
1. 31	2号線（馬出九大病院前～箱崎九大前）開業
5. 23	福岡市議会において、福岡市が高速鉄道を建設し、経営する議決を得る。 （1号線 博多～福岡空港間 建設キロ 3.1km、営業キロ 3.3km）
8. 4	1号線 博多～福岡空港間建設について、福岡都市圏交通対策協議会において決定
8. 5	運輸大臣に地方鉄道事業免許を申請（昭和61. 10. 13 免許） （1号線 博多～福岡空港間 3.3km）
10. 29	運輸大臣に第1次分割工事施行認可申請（昭和62. 3. 11 認可） （土木関係 1号線 博多～福岡空港間）
11. 12	2号線（箱崎九大前～貝塚）開業、西鉄宮地岳線と接続 （昭和49. 8. 22 免許取得区間について全線開業）
〃	西鉄宮地岳線との連絡定期券導入
昭和62 (1987)	
3. 31	1号線（博多～福岡空港間）都市計画決定
4. 24	運輸大臣に第2次分割工事施行認可申請（昭和62. 11. 18 認可） （電気関係 1号線 博多～福岡空港間）

年 月 日	概 要
昭和62 (1987)	
5. 20	建設大臣に道路への敷設許可申請 (昭和62. 8. 31 許可) (1号線 博多～福岡空港間)
9. 13	1号線 (博多～福岡空港間) 建設着工
9. 14	建設大臣に工事施行認可申請 (昭和62. 12. 18 認可) (1号線 博多～福岡空港間)
昭和63 (1988)	
3. 17	1号線 (博多～福岡空港間) 都市計画事業認可
5. 11	1号線 (博多～福岡空港間) 建設全面着工
平成元 (1989)	
6. 1	第2回運賃改定 (初乗り 160円)
〃	西鉄宮地岳線との乗継割引開始
10. 16	九州地方交通審議会答申 (第4号) [参考資料2]
平成3 (1991)	
2. 12	「都市交通対策特別委員会」の調査報告 (1. 3号線放射型ルート 2. 車両基地)
6. 12	榎田東工区・空港工区トンネル貫通式
6. 18	1号線 (東比恵・福岡空港) 駅名決定
11. 27	路線愛称決定 (空港線 (1号線)、箱崎線 (2号線) …平成5年3月より使用)
平成4 (1992)	
2. 28	「都市交通対策特別委員会」の中間報告 (1. 3号線都心部ルート 2. 構造形式 3. 優先整備区間)
4. 30	「福岡都市圏交通対策協議会」 (3号線ルート及び構造形式について了承)
8. 25	2000系車両第1編成 (2000系第19編成) 車両基地搬入
12. 1	第3回運賃改定 (初乗り 180円)
12. 16	2000系車両第1編成運用開始
平成5 (1993)	
2. 26	「都市交通対策特別委員会」の中間報告 (3号線の建設・経営主体)
3. 1	市長が福岡市議会に対し、都市高速鉄道3号線については、市営地下鉄としての 早期事業化をめざし、さらに具体的な取り組みを進めていくことを表明
3. 3	空港線 (博多～福岡空港) 開業
7. 1	「福岡市高速鉄道3号線計画推進本部」設置
平成6 (1994)	
2. 25	「都市交通対策特別委員会」の中間報告 (3号線のシステムについて)
7. 22	「福岡市地下鉄3号線整備促進期成会」設立
平成7 (1995)	
2. 14	「都市交通対策特別委員会」の調査報告 (3号線の橋本～天神の駅及び車両基地の位置)

年 月 日	概 要
平成7 (1995)	
3. 10	「福岡都市圏交通対策協議会」 (3号線のシステム、建設・経営主体、建設計画などについて了承)
〃	ダイヤ改正実施
3. 28	運輸大臣に鉄道事業免許を申請 (平成7. 6. 7 免許) (3号線 橋本～天神間 12.0km)
5. 8	カードシステムの導入 (えふカード)
平成8 (1996)	
1. 16	運輸大臣に第1次分割工事施行認可申請 (平成8. 3. 4 認可) (土木関係 3号線 橋本～天神間)
〃	運輸大臣に特別の構造許可申請 (平成8. 3. 4 許可) (電車線高さ 3号線 橋本～天神間)
3. 25	建設大臣に道路への敷設許可申請 (平成8. 7. 15 許可) (3号線 橋本～天神間)
4. 23	運輸大臣に第2次分割工事施行認可申請 (平成8. 9. 10 認可) (電気関係 3号線 橋本～天神間)
7. 18	建設大臣に工事施行承認申請 (平成8. 9. 26 承認)
7. 26	福岡市地下鉄マスコット「ちかまる」誕生
10. 30	3号線 (橋本～天神間) 都市計画決定
12. 3	J R九州において、筑肥線複線化着工
12. 11	3号線工事契約・着工
12. 17	博多駅中央口供用開始
平成9 (1997)	
1. 22	3号線起工式
2. 14	福岡都市交通問題協議会において、箱崎線と宮地岳線の相互直通運転に関して 実現化に向けた検討を行うことで西日本鉄道株式会社と合意
6. 1	第4回運賃改定 (初乗り 200円)
8. 1	「1日乗車券」発売開始
平成10 (1998)	
3. 20	ダイヤ改正実施
3. 31	1000系車両大規模改修車両第1編成 (1000N系第01編成) 竣工 (主回路のみ先行改造)
5. 1	J R九州において、姪浜駅東口供用開始
5. 8	3号線 (橋本～天神間) 都市計画事業認可
12. 16	箱崎九大前駅エレベーター供用開始
平成11 (1999)	
3. 13	中洲川端駅改造工事完了 (川端口改札改良、博多リバレイン接続など)
3. 15	天神駅改造工事完了 (エスカレーター増設、エレベーター移設など)
3. 23	1000系車両大規模改修車両第1編成竣工
4. 1	福岡市地下鉄と西鉄大牟田線・バスとの共通カードシステム導入 (よかネットカード)
11. 1	福岡市地下鉄ホームページ開設

年 月 日	概 要
平成12 (2000)	
1. 22	ダイヤ改正実施
3. 27	赤坂駅、祇園駅、箱崎宮前駅エレベーター供用開始 (全駅エレベーター設置完了)
4. 1	J R九州との連絡運輸区域拡大 (定期券)
7. 24	弱冷房車両運行開始
11. 1	西新駅エレベーター供用開始 (エレベーター移設)
12. 11	姪浜駅エレベーター供用開始 (エレベーター移設)
平成13 (2001)	
3. 3	ダイヤ改正実施
4. 1	福岡市地下鉄とJ R九州との共通カードシステムの導入 (ワイワイカード)
〃	J R九州との連絡運輸区域拡大 (定期券)
〃	「1日乗車券」料金値下げ (850円→600円)
4. 24	姪浜駅前南側広場供用開始
6. 28	サブフェアシステム (乗車券入出場確認システム) 導入
10. 1	「えふカード」プレミアムの増加
〃	西鉄宮地岳線との乗継割引の拡大
12. 1	共通定期乗車券 (地下鉄・自転車駐車場) の発売 (乗っちゃリパス)
平成14 (2002)	
2. 28	特定認定事業者として国土交通大臣による認定
3. 23	ダイヤ改正実施 (営業時間の延長)
〃	空港線相互直通区間を筑前深江まで延長 (相互直通区間 筑前深江～福岡空港)
4. 1	西鉄天神大牟田線との連絡定期券導入
〃	共通定期乗車券 (地下鉄・自転車駐車場) の適用拡大
〃	J R九州との連絡運輸区域拡大 (定期券)
7. 15	プリントカード発売機の導入 (マイショットカード)
9. 28	福岡市地下鉄3号線貫通式
11. 28	3号線 (橋本～天神南) 駅名決定
平成15 (2003)	
3. 15	ダイヤ改正実施
4. 1	テレホンセンターの営業時間を延長
6. 20	3号線路線愛称決定 (七隈線)
7. 1	全駅の全面禁煙実施
7. 2	七隈線シンボルマーク及び3000系車両デザイン決定
10. 22	七隈線レール締結式
平成16 (2004)	
1. 9	3000系車両第1編成車両基地搬入
2. 13	天神駅西側にオストメイト対応の多機能トイレ新設
3. 15	空港線 (姪浜～福岡空港) 全駅にホームドア設置完了
4. 6	福岡ダイエーホークス・和田毅投手を福岡市地下鉄イメージモデルに起用

年 月 日	概 要
平成16 (2004)	
6. 5	「ノーマイカーデー 1日乗車券」 (年2回) 発売開始
6.16	3000系車両第1編成トンネル内に入線
6.22	橋本～天神南間試運転開始式
7. 1	箱崎線 (呉服町～貝塚) 駅業務の一部を委託開始
7.15	モバイル版地下鉄ホームページの公開開始
7.28	鉄道事業の旅客運賃設定認可申請 (平成16.9.15認可 (5区、6区料金設定))
11.28	天神南駅見学会 (福岡ダイエーホークス・和田毅投手の1日駅長)
平成17 (2005)	
1.22	七隈線試乗会
1.27	トンネル銘板「夢 七隈線」除幕式
2. 2	七隈線記念モニュメント「夢 七隈線」除幕式
2. 3	七隈線 (橋本～天神南) 開業
〃	七隈線 (橋本～天神南) 駅業務の一部を委託開始
〃	ダイヤ改正実施
2.23	1000N系更新車両第18編成竣工 (1000系車両更新工事完了)
4.14	「ノーマイカーデー 1日乗車券」 (月1回) 発売拡大
7. 1	J R九州との連絡運輸区域拡大 (定期券)
7.21	「ちかまるきっぷ」発売開始
7.27	3000系車両 機械工業デザイン賞「経済産業大臣賞」受賞
12. 6	七隈線トータルデザイン SDA賞「経済産業大臣賞」受賞
12.10	「伊都・キャンパス回数券」発売開始
12.15	箱崎線 (中洲川端～貝塚) 全駅にホームドア設置完了 (全線完了)
平成18 (2006)	
1.17	七隈線のバリアフリー化に関する施設整備及び車両バリアフリー化推進功労者表彰 「内閣府特命担当大臣賞」受賞
1.25	福岡市地下鉄全線乗り放題定期券「ちかパス」発売開始 (2.1運用開始)
4. 1	「おとなりきっぷ」発売開始
7.26	「福岡市地下鉄開業25周年記念えふカード」発売 (全国地下鉄初の懸賞付き乗車券)
平成18 (2006)	
9. 1	空港線8駅 (冷房設備の未設置駅) のホーム階に局所冷房 (クールルーム) 設置完了
9.24	3000系車両「ローレル賞」受賞
11. 1	「伊都・シーサイド回数券」発売開始
12. 4	動力車操縦者養成所 (教習所) として国土交通大臣による指定
平成19 (2007)	
3.18	ダイヤ改正実施
3.26	天神駅東口の多機能トイレの改装にあわせて、授乳室を設置
4. 6	「ノーマイカーデー 1日乗車券」 (毎週金曜日) 発売拡大
6. 4	天神駅、博多駅、福岡空港駅など主要駅で、公衆無線LANサービス開始
6. 7	箱崎線6駅のホーム階に局所冷房 (クールルーム) 設置完了 (全線完了)

年 月 日	概 要
平成20 (2008)	
1. 28	定期券購入の際のクレジットカード決済サービス開始
4. 1	七隈線で車内放送広告開始
4. 11	平成21年春導入予定のICカードの名称を「はやかけん」に決定
4. 12	「エコちかきっぷ」(毎月第2土曜日・翌日曜日)発売開始
5. 21	七隈線「環境デザイン賞」受賞(社団法人 日本騒音制御工学会)
7. 1	福岡市地下鉄モニター制度開始
7. 1	天神駅と天神南駅間に「のりかえベビーカー」を導入
7. 1	天神駅と天神南駅に乗換時刻表示器を設置
9. 25	SUBWAY DIET(サブウェイ ダイエット)プロジェクト開始
10. 1	空港線・箱崎線で車内放送広告開始
平成21 (2009)	
3. 7	ICカード「はやかけん」サービス開始
3. 14	「エコちかきっぷ」(毎週土・日曜日・祝日)発売拡大
3. 20	「ノーマイカーデー1日乗車券」の枚数制限を撤廃
4. 1	全駅及びテレホンセンターで英語・韓国語・中国語の電話利用による通訳サービス「外国語サポートサービス」を開始
4. 1	中洲川端駅業務の一部を委託開始
4. 10	「はやかけん」を利用したメール配信サービス「みまもりタッチ」モニター開始
10. 4	福岡市地下鉄環境キャラクターの名称を「メコロ」に決定
12. 16	ANAとの提携による「ANAはやかけん」発売開始
平成22 (2010)	
1. 29	「はやかけん」を利用した民間事業者との「パーク&ライド優待」サービス開始
3. 13	ICカード「はやかけん」相互利用開始(nimoca・SUGOCA・Suicaとの4者間)、同時に「はやかけん」電子マネーサービス開始
3. 18	博多口コンコース改良第1期工事完了(博多口エレベーター供用開始)
3. 31	福岡市地下鉄と西鉄天神大牟田線・バスとの共通カード「よかネットカード」発売終了
4. 1	「定期券うりば」と「テレホンセンター」を再編し「お客様サービスセンター」を設置
5. 25	福岡市施設(区役所・博物館など)における「はやかけん電子マネー決済」の開始
7. 27	地下鉄全改札口、各区市民プール、総合図書館などで「みまもりタッチ」サービス開始
平成23 (2011)	
1. 4	福大前駅と福大病院新診療棟をつなぐ地下通路供用開始
3. 2	福岡市地下鉄全駅(空港線・箱崎線・七隈線)において、駅ナンバリング(駅番号制)表示
〃	博多駅博多口出入口のデザイン統一化及び駅案内サインの統一化
〃	博多駅博多口コンコース改良第2期工事完了
3. 12	ダイヤ改正実施
3. 31	「ノーマイカーデー1日乗車券」発売終了
〃	福岡市地下鉄とJR九州との共通カード「ワイワイカード」発売終了
4. 1	「はやかけん」を利用したJR筑肥線～地下鉄線を対象としたポイントサービスを開始
〃	「外国語サポートサービス」を全駅窓口に加え、全てのお客様サービスセンターへ拡大

年 月 日	概 要
平成23 (2011)	
4. 1	「みまもりタッチ」サービス有料化開始
5. 10	福岡市証明サービスコーナーを博多駅に設置
8. 12	橋本駅の歩行者連絡橋（駅E Vを含む）が供用開始
8. 16	橋本駅に隣接する商業施設の駐車場を利用したパーク&ライドを開始
12. 26	地下鉄利用者数30億人達成
平成24 (2012)	
3. 17	ダイヤ改正実施
3. 31	「マイショットカード」発売終了
4. 9	国土交通大臣に道路への敷設許可を申請（平成24. 5. 29 許可） （七隈線 天神南～博多間）
〃	国土交通大臣に鉄道事業許可を申請（平成24. 6. 11 許可） （七隈線 天神南～博多間 1. 6km）
4. 30	公衆無線LAN整備全線完了
5. 29	福岡ソフトバンクホークス・本多雄一選手を地下鉄イメージモデルに起用
9. 6	券売機の4カ国語対応（日・英・中・韓）
12. 7	国土交通大臣に第1次分割工事施行認可申請（平成25. 4. 11 認可） （土木関係 七隈線 天神南～博多間）
12. 31	「えふカード」発売終了
平成25 (2013)	
1. 1	「はやかけん」ボーナスポイント改定
3. 23	ICカード「はやかけん」交通系ICカード全国相互利用開始（Kitaca・PASMO・Suica・manaca・TOICA・PiTaPa（電子マネーを除く）・ICOCA・nimoca・SUGOCAとの10者間）
3. 28	馬出九大病院前駅と九大病院をつなぐ地下通路（7番出入口[E V 2 基含む]）が供用開始
4. 11	七隈線（天神南～博多間）都市計画決定
〃	七隈線（天神南～博多間）環境影響評価書公告
4. 30	磁気定期券発売終了及び定期券の一括発売制度の廃止
5. 10	ICカード「はやかけん」の発行枚数50万枚達成
〃	国土交通大臣に第2次分割工事施行認可申請（平成26. 1. 24 認可） （電気関係 七隈線 天神南～博多間）
12. 4	七隈線（天神南～博多間）工事契約・着工
平成26 (2014)	
2. 12	七隈線（天神南～博多間）起工式
3. 15	ダイヤ改正実施
4. 1	第5回運賃改定（初乗り 200円）
〃	空港線（大濠公園、赤坂）駅業務の一部を委託開始
平成27 (2015)	
2. 14	旅客案内システムリニューアル
3. 12	福岡市地下鉄ホームページリニューアル
3. 16	ちかまるナビ（運行情報提供システム）運用開始
4. 1	空港線（唐人町）駅業務の一部を委託開始

年 月 日	概 要
平成27 (2015)	
4. 1	「外国語サポートサービス」にタイ語を追加し、福岡市地下鉄営業時間中対応へ変更
5. 29	ICカード「はやかけん」を使ってカーシェア料金を割引く「ルール&カーシェアサービス」を開始
平成28 (2016)	
3. 18	ダイヤ改正実施
3. 23	野芥駅及び六本松駅コンコースにバスナビジョンを設置
4. 1	「外国語サポートサービス」の対応言語が全10ヵ国語へ拡大
6. 15	福岡空港駅5 出入口エレベーター供用開始
7. 26	開業35周年を記念し、車内外に装飾を施したフルラッピング列車「ちかまる号」を運行
8. 28	「ちかまるきっぷ」発売終了
9. 25	「エコちかきっぷ」発売終了
9. 28	65才以上を対象とした地下鉄全線乗り放題定期券「ちかパス65」発売開始(10. 1運用開始)
9. 30	西新駅8 出入口エレベーター供用開始
10. 1	家族を対象とした1日乗車券「ファミちかきっぷ」発売開始
〃	「おとなりきっぷ」を終了し、「はやかけんひと駅ポイント」サービスへ移行
10. 5	福岡空港駅新1 出入口(エスカレーター4基) 供用開始
11. 1	2000系車両(全6編成)の7人掛け座席バケット化改良及び縦手摺設置完了
11. 2	エスカレーター安全利用シンポジウム実施
11. 8	七隈線博多駅(仮称) 工区における道路陥没事故発生
平成29 (2017)	
2. 9	第1回駅接客選手権開催
3. 4	ダイヤ改正実施
3. 24	天神駅、博多駅ホームに整列乗車ラインを設置
4. 1	「外国語サポートサービス」の対応言語が全14ヵ国語へ拡大
〃	空港線(祇園、東比恵) 駅業務の一部を委託開始
5. 3	運転免許を返納後、「ちかパス65」を購入した方を対象とした「運転免許返納割」サービスを開始
〃	対象駐車場に駐車し、「ファミちかきっぷ」を購入した方を対象とした「パーク&ライド家族割」サービスを開始(土日祝日、姪浜・橋本のみ)
9. 25	訪日外国人専用2日乗車券「2Day Pass」発売開始
9. 26	六本松駅3 出入口エレベーター供用開始
11. 28	第2回駅接客選手権開催
平成30 (2018)	
3. 29	第1回お仕事体験開催
4. 1	空港線(福岡空港) 駅業務の一部を委託開始
7. 26	大人と小児を対象とした1日乗車券「ファミリーペア券」発売開始
8. 20	第2回お仕事体験開催
9. 20	薬院大通駅に副駅名「動植物園口」を設定
10. 1	博多駅において、地下鉄駅コンシェルジュ開始(試行)
11. 29	第3回駅接客選手権開催

年月日	概要
令和元 (2019)	
2. 25	七隈線 (天神南～博多間) 軌道工事契約・着工
2月	福岡市地下鉄経営戦略策定
3. 7	大濠公園駅に副駅名「福岡市美術館口」を設定
3. 16	ダイヤ改正実施
3. 18	姪浜駅、貝塚駅を除く空港・箱崎線の全駅に整列乗車ライン設置完了
3. 28	福岡空港駅新改札口供用開始
4. 1	空港線 (西新駅) 駅業務の一部を委託開始
4. 1	「外国語サポートサービス」の対応言語が全17ヵ国語へ拡大
8. 21	第3回お仕事体験開催
8. 29	姪浜駅新設エスカレーター供用開始
9. 22	博多駅新設東7出入口供用開始
10. 1	第6回運賃改定 (初乗り 210円)
10. 3	六本松駅に副駅名「科学館前」を設定
10. 7	企画乗車券購入の際のLINE Pay等決済サービス開始
11. 12	企画乗車券購入の際のクレジットカード決済サービス開始
11. 21	第4回駅接客選手権開催
12. 24	定期券購入の際のLINE Pay等決済サービス開始
令和2 (2020)	
3. 14	ダイヤ改正実施
4. 1	姪浜管区駅を天神駅管区駅に統合
〃	空港線 (室見駅、藤崎駅) 駅業務の一部を委託開始
〃	地下鉄駅コンシェルジュを本格実施 (博多駅、福岡空港駅)
〃	賀茂駅コンコースにバスナビジョンを設置
8. 26	2000系車両大規模改修車両第1編成 (2000N系第22編成) 竣工
令和3 (2021)	
1. 7	2000系車両大規模改修車両第1編成運用開始
3. 13	ダイヤ改正実施
3. 22	東比恵駅朝ラッシュ時限定のICカード専用出口供用開始
3. 25	西新駅9出入口エレベーター供用開始
3. 31	訪日外国人専用2日乗車券「2Day Pass」発売中止
4. 1	FUKUOKA TOURIST CITY PASS (紙券) 発売無期限休止
〃	地下鉄駅コンシェルジュの配置駅を博多駅のみに縮小
4. 26	ファミちかきっぷ、ファミリーペア券のインターネット発売開始
6. 28	七隈線 (櫛田神社前・博多) 駅名決定
9. 28	博多駅筑紫口東1出入口エスカレーター (上下) 供用開始
〃	3000A系車両第1編成 (3000A系第18編成) 基地搬入
10. 19	天神駅東口ホームコンコース間エレベーター供用開始
令和4 (2022)	
1. 7	櫛田神社前駅シンボルマーク決定
2. 9	3000A系車両第1編成運用開始
2. 14	祇園駅に副駅名「博多旧市街口」を設定

第13 交通対策特別委員会調査報告の概要

1. 七隈線（橋本～天神南）免許申請までの経緯の一部抜粋

年 月 日	概 要
平成3年 2月12日 調査報告	<p>高速鉄道3号線と西南部の交通体系について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 放射型のルートは「野芥周辺地区」から「七隈」「別府」「六本松」「渡辺通」を経由し、都心部の「天神」・「博多駅」に至る路線が適当であり、車両基地についても室見川左岸の「橋本、戸切及びその周辺地区」が適当である。また、都心部における天神からウォーターフロント方面への延伸、構造、事業主体等についても研究する必要がある。 ・ 環状型は、南部地域の将来的なまちづくりとあわせて、一層の調査、検討を進める必要がある。
平成4年 2月28日 中間報告	<p>高速鉄道3号線と西南部の交通体系について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3号線の放射型ルートにおける天神からウォーターフロント方面に至る都心部ルートとしては、渡辺通りから国体道路、土居通りを経由して博多ふ頭に至る博多部経路ルートが適当である。構造形式は、全線地下構造形式が望ましい。 ・ 今後の事業化に向けた取り組みの中では、西南部と都心間の整備が優先されるべきである。また、機種、事業主体等について検討していく必要がある。 ・ 南部方面の対応として、環状型についても博多駅地区との結節を考慮しつつ、地域の将来的なまちづくりとあわせて早急に具体的な調査・検討を進めていく必要がある。
平成5年 2月26日 中間報告	<p>高速鉄道3号線と西南部の交通体系について 高速鉄道3号線沿線のまちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3号線の建設・経営主体については市がなるべきである。 ・ 都市整備局と交通局が一体となって3号線の早期事業化に取り組むべきであり、3号線沿線のまちづくりの調査・検討を踏まえ、国等関係機関等の協力、支援を得て3号線の早期実現に向け、特段の努力をするとともに機種、駅位置等について検討する必要がある。 ・ 環状型についても、博多駅地区との結節を考慮しつつ、地域の将来的なまちづくりとあわせて早急に具体的な調査・検討を進めていく必要がある。
平成6年 2月25日 中間報告	<p>高速鉄道3号線と西南部の交通体系について 高速鉄道3号線沿線のまちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3号線のシステムは鉄輪式リニアモーターシステムが望ましい。 ・ 整備優先区間、駅位置等については、3号線導入計画調査、沿線まちづくり調査等を踏まえ今後検討するとともに、国等関係機関等の協力、支援を得るよう議会としても国への要望等を積極的に行う必要がある。

年月日	概要
平成7年 2月14日 調査報告	<p>高速鉄道3号線と西南部の交通体系について 高速鉄道3号線のまちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天神～橋本間の駅及び車両基地については、別図の位置が適当である。 ・ 3号線の沿線のまちづくりについては、3号線計画の事業化と並行して利便性、災害に強いまちづくり、住民参加等を考慮し、今後さらに調査する必要がある。 ・ 環状型についても、博多駅地区との結節を考慮しつつ、地域の将来的なまちづくりとあわせ調査・検討を進めていく必要がある。

※ 平成15年7月4日に、都市交通対策特別委員会は交通対策特別委員会に名称変更

2. 七隈線延伸（天神南～博多）の許可申請までの経緯の一部抜粋

年月日	概要
平成20年 2月13日 中間報告	<p>高速鉄道3号線と沿線のまちづくりに関する調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 延伸計画については、今後パーソントリップ調査での将来予測等を踏まえつつ、地下鉄全体の経営状況、本市の財政状況等を勘案した上で、幅広く、総合的な調査・検討を進めていく必要がある。
平成21年 2月12日 中間報告	<p>高速鉄道3号線と沿線のまちづくりに関する調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 延伸計画については、パーソントリップ等のデータが揃い需要予測を行う環境が整ったこと等から、現ルート（天神南～中洲川端～ウォーターフロント及び薬院～博多駅）に加え、参考ルート（天神南～博多駅）について報告を受けた。 ・ 今後、参考ルートを含め、早急に事業採算性等の検討を行い、厳しい本市の財政状況、地下鉄全体の経営状況、都心交通のあり方も十分に勘案し、実現可能な都心部区間の整備のあり方について、引き続き、総合的な調査・検討を積極的に進めていく必要がある。
平成22年 2月12日 中間報告	<p>高速鉄道3号線と沿線のまちづくりに関する調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都心部区間の検討ルートの中で優先して実現していくべきルートとしては、最も建設費の負担が少なく、利用者数が多く見込まれること等から事業採算性に優れ、費用対効果が大きい天神南～博多駅ルートが妥当であるとの報告を受けた。 ・ 今後、この報告に基づき、示された市民の意向や効率的で利便性の高い公共交通体系の確立、厳しい本市の財政状況、地下鉄の経営状況等に十分留意しながら、調査・検討を進めていく必要がある。 ・ なお、天神南～中洲川端～ウォーターフロント及び薬院～博多駅の2ルートについては、将来のまちづくりの進展等を見据えて、長期的視点に立った検討を進めていくべきである。

年 月 日	概 要
平成23年 2月9日 調査報告	高速鉄道3号線と沿線のまちづくりに関する調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 都心部区間については、天神南～博多駅ルートについて、国等の関係機関との協議に早急に着手する等、早期実現に向けた取り組みを進めていく必要があるとの報告を受けた。厳しい本市の財政状況、都心交通のあり方等を十分勘案しつつ、今後の取り組みを進めていく必要がある。 ・ なお、天神南～中洲川端～ウォーターフロント及び薬院～博多駅の2ルートについては、将来のまちづくりの進展等を見据えて、長期的視点に立った検討を進める必要がある。
平成24年 2月10日 中間報告	高速鉄道3号線と沿線のまちづくりに関する調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 延伸区間については、シンポジウムの開催等市民への情報発信や国予算の確保に向けた要望活動等を行うとともに、環境アセスメントの手續に着手しており、24年度予算政府案に延伸関係予算が計上され、国の補助金の確保に一定のめどが立ったことを踏まえ、必要な手續を進め、早期着工を目指して取り組んでいくとの報告を受けた。 ・ 今後とも、3号線と沿線のまちづくりについては、事業の進捗状況を注視しながら、延伸後の交通需要の変化を踏まえた総合交通体系の確立に向け、総合的な調査・検討を進めていく必要がある。

福岡市及び北九州市を中心とする北部九州都市圏における旅客輸送力の整備増強に関する基本的計画について

(昭和46年 3月11日 都市交通審議会 答申第12号)

1. ま え が き

- (1) 福岡市及び北九州市を中心とする北部九州都市圏は、わが国屈指の都市圏であり、全国的な交通・通信ネットワークの枢要な拠点である。福岡市は中枢管理機能の集積地として、また、北九州市は工業・交通の拠点として今後さらに発展を期待されている。

本審議会は、北部九州都市圏における旅客輸送力の整備増強に関する基本的計画を策定するに当たり、通勤通学圏と目される両市を中心としたそれぞれ30km圏を対象とし、目標年次を昭和60年として、通勤通学時における輸送力の確保と業務交通の円滑化を実現するための方策の検討を行なった。

- (2) 北部九州都市圏の今後の発展状況を概観すると、福岡市を中心とする地域においては、業務地区は、現在天神附近を中心として形成されているが、最近博多駅附近の発展が著しく、今後博多駅附近が天神附近と並んで業務地区を形成するものとみられ、住宅地区は、主に西南部、南部、東北部に発展するものと思われる。また、輸送需要に密接に関連する福岡市の人口関係指標の動向からみると、昭和40年に対し、昭和60年には、夜間人口では1.7倍程度、昼間就業就学人口では1.8倍程度、業務地区への流入人口では2倍程度となるものと予測される。

つぎに北九州市を中心とする地域においては、現在小倉駅附近及び黒崎駅附近の2地区に形成されている業務地区は、将来とも発展し、住宅地区は、主に小倉南部、小倉東南部、八幡西南部に発展するものと思われる。また、輸送需要に密接に関連する北九州市の人口関係指標の動向からみると、昭和40年に対し、昭和60年には、夜間人口では1.3倍程度、昼間就業就学人口では1.6倍程度、業務地区への流入人口では2倍程度となるものと予測される。

2. 旅客輸送力の整備増強に関する基本方針

上記の昼間就業就学人口の増加に伴う輸送需要の増大に対処するため、各交通機関の輸送サービス水準（安全性、定時性、快適性、適正な通勤時間）及び利用者の利便の確保に十分留意するとともに北部九州都市圏の地域開発計画、都市計画、住宅計画等との整合性に十分な配慮を行い、目標年次においては、高速鉄道を中心とし、これを補完する大量路面交通機関を効率的に活用することにより、総合的交通体系の確立を図ることとする。

なお、当面の措置として、既設交通機関の再編、整備を行い、その積極的活用を図ることとし、このため、必要な諸施設の整備、優先通行の確保、バス・アンド・ライドの促進等を行なうものとする。

3. 交通体系の整備計画

- (1) 既設交通機関の再編、整備

既設交通機関については、つぎの措置を講ずるものとする。

① 路面交通機関

(i) 路面電車

当面の措置としては、路面電車の有効活用を図るため、路面電車の優先通行、連結運転、バスとの調整等を実施するが、高速鉄道の整備、バス輸送力の整備等を勘案して、代替可能区間から逐次廃止する。

(ii) バス

バス輸送力の整備を図るため、次の措置を講ずるものとする。

(ア) バス路線の再編成

バス路線は、高速鉄道、路面電車との関連、都市部停留所の処理能力等を考慮しながら、利用者の利便に資するよう輸送需要に応じて積極的に再編、整備する必要がある。

(イ) バスターミナル及び駅前広場の整備

都心部停留所の処理能力の向上及びバス・アンド・ライドの積極的採用を図るため、都心部及び周辺の主要高速鉄道駅附近には、バスターミナル及び駅前広場の整備を促進する必要がある。

とくに、下記の地区におけるバスターミナルの整備について、具体的検討を行なうものとする。

(福岡市)

天神・渡辺通附近 博多駅附近

(北九州市)

小倉駅附近 黒崎駅附近

(ウ) 通勤高速バスの運行

都市高速道路における通勤高速バスの運行を検討する。

② 交通規制による路面交通の円滑化

自動車交通量の急激な増加に伴い、道路混雑が慢性化している現状においては、限られた道路スペースを効率的に利用する必要があるため、駐車禁止区域の拡大、幹線道路における一方通行の実施等市内における広域的な交通規制を強化するとともに、路面電車、バスなど公共性の高い大量交通機関の優先通行を確保するため、軌道敷内通行の制限、バスレーンの設定等に十分な配慮をするものとする。

③ 既設高速鉄道

(i) 輸送力を増強すべき路線

国鉄鹿児島本線、日豊本線、筑肥線、西鉄大牟田線、筑豊電鉄線については、列車編成の長大化、運転時隔の短縮、列車速度の向上等により積極的に輸送力の増強を図る。

(ii) 改良すべき路線

(ア) 西鉄宮地岳線

当面の措置として、改軌その他の改良を実施し、都心部への乗り入れを行なう。

(イ) 筑豊電鉄線

熊西停車場附近から黒崎駅附近までの路線を建設する。

(iii) そ の 他

既設高速鉄道について、旅客の利便を確保するとともに、高速鉄道の積極的利用を促進するため、輸送需要の動向を勘案して旅客駅の新設及び連絡施設の整備を図る。

また、市街地における既設高速道路の高架又は地下化、踏切道の立体化等積極的に推進する。

(2) 高速鉄道路線の新設

以上の諸措置を講じても、なお目標年次には輸送力の不足が生じると予測されるので、つぎの路線の新設が必要と思われる。

(福岡市)

- (i) 都心部から西南部方面に至る路線
- (ii) 都心部から箱崎方面に至る路線
- (iii) 都心部から福岡空港方面に至る路線

(北九州市)

- (iv) 小倉駅附近から徳力・曾根方面に至る路線
- (v) 黒崎駅附近から小嶺方面に至る路線
- (vi) 小倉駅附近と黒崎駅附近とを結ぶ路線

上記路線のうち、輸送力の不足が著しい路線については、昭和50年代の半ばまでに建設を必要とすると予測されるが、地域開発計画、住宅計画等の進捗状況との関連、高速道路の路線との調整等を十分考慮しつつ、具体的な建設時期、建設主体、採用すべき高速鉄道の方式、資金の調達方策等について、今後さらに検討を必要とする。

なお、これに関連して、新設高速鉄道路線相互間、(i)の路線と国鉄筑肥線、(ii)の路線と西鉄宮地岳線、(vi)の路線と筑豊電鉄線との直通運転についても検討する必要がある。

(3) 道路の整備

自動車交通量の急激な増加に対処して道路容量の増大を図るため、都市高速道路の建設及び主要街路の整備を積極的に推進する必要がある。

なお、この場合、空港、港湾、バスターミナル、駅前広場等の交通施設との接続には十分配慮するとともに、バスベイ及びタクシーベイの整理を積極的に行うものとする。

4. む す び

本審議会は、以上のような北部九州都市圏における旅客輸送力の整備増強に関する基本的計画を策定したが、交通体系の整備が北部九州都市圏の今後の発展にとって必要欠くべからざるものであることにかんがみ、本計画を遂行するため、県・市をはじめとする関係者が、協議会を早急に設置する等協力体制をさらに強化し、積極的に努力することを強く望むものである。

福岡県における公共交通機関の維持整備に関する計画について（抜粋）

（平成元年10月16日 九州地方交通審議会答申第4号）

（福岡都市圏関係抜粋）

第5章 公共交通機関の維持整備に関する計画

第3節 交通圏内交通についての施策

3. 福岡交通圏内の施策

(1) 福岡交通圏内の交通問題と課題

福岡交通圏は、福岡市を中心にした人口が194万人（昭和60年）の交通圏であり、日常の交通状況は福岡都心へ求心的な交通が放射状に集中し、主要交差点等では恒常的な交通渋滞にみまわれ、その解決のための有効な施策が迫られているところである。

福岡交通圏の人口は、概ね10年後には昭和60年の194万人の1.23倍、46万人増の240万人に達するものと見込まれる。この将来人口増のほとんどが福岡市の郊外部、市外周辺市町村部で増えることになり、周辺から都心へ流入してくる将来の交通量は昭和60年の1.31倍にも増加して推移するものと予測されており、上述した交通問題が益々逼迫化してくることが想定される場所である。このような交通問題の改善・解決のためには自動車利用から公共交通への利用転換を誘導できるよう公共輸送のサービス改善を推進し、既存の鉄道、バスの活用、再生を図る必要がある。一方、交通圏内においてもウォーターフロント開発計画、天神地区の再開発計画、主要駅周辺の再開発・区画整理事業、大規模公園整備等数多くの開発計画、都市整備計画構想が持ち上がっており、これらの開発・整備計画構想の進行に伴う交通需要増に対応し、更に、今までとは違った新たな交流の発生に伴う交通需要にも対応できる公共交通機関の整備のあり方を検討しなければならない。

(2) 既設鉄軌道の有効利用と活用

- ① 鹿児島本線の快速運行の増発（略）
- ② 筑肥線と地下鉄との相互直通運転の強化、複線化等

将来交通の動向と現行の運行状況を踏まえ、運行の増発、市営地下鉄1号線との相互直通運転の強化を図るとともに、快速運行等の整備によりスピードアップを図り、西九州方面及び前原と福岡都心部との間の連絡時間の短縮を図っていくものとする。

なお、福岡市営地下鉄は平成5年に空港までの延伸を予定しており、これらの施策と合わせ、福岡都市圏西部、西九州からの空港連絡鉄道として一体的に活用する。また、利便性の向上と新規需要を喚起するために、時刻表がなくとも利用しやすいよう運行時刻のラウンド化を推進するとともに、始終発の延長を検討する。

更に、中・長期的には前原までの沿線開発計画、需要の動向等を勘案して、沿線自治体も含

め筑肥線の県内区間の一部複線化について検討することとする。また、福岡空港周辺の需要動向等を踏まえ、地下鉄1号線の延伸の可能性についても検討することとする。

- ③ 篠栗線の博多駅直通運転の強化と電化・複線化 (略)
- ④ 香椎線の活用 (略)
- ⑤ 西鉄宮地岳線・地下鉄2号線

両線は、福岡交通圏の北東部臨海部地域を、貝塚駅での水平乗換えにより都心と結んでいる。沿線は人口増勢地域で、今後、玄海レク・リゾート開発構想等の沿線開発も進展し、利用客増が見込まれるところであるので、接続ダイヤの円滑化を進めつつ旅客需要に合わせた高頻度運行を推進するものとする。

また、中・長期的には、都市と港湾周辺の調和のとれた活力ある街づくりの一環として福岡市において進められている東部埋立て計画や需要の動向等を見極めながら、地下鉄2号線と西鉄宮地岳線等の既存鉄道との相互直通運転化について検討することとする。

- ⑥ 西鉄大牟田線 (略)
 - ⑦ 甘木鉄道 (略)
 - ⑧ 駅整備 (略)
- (3) 旅客線以外の既設鉄道線の活用
- ① 新幹線回送列車の旅客線化 (略)
 - ② 博多臨港貨物線(香椎～箱崎～長浜)の旅客線化 (略)

(4) 福岡市西南部における鉄軌道系輸送機関の整備

西南部の抱える交通問題に適切に対処するための施策として、また、西南部の交通利便性を高めることにより、都市機能の内陸部分散化を誘導し、望ましい都市づくりを図るための交通基盤づくりとして、まず、道路整備を進めバス輸送力の確保を図るとともに、西南部中央部と都心部を結ぶ都心放射状の鉄軌道系輸送機関の導入について、採算性等に十分留意して、地元自治体を含め検討を図ることとする。

(5) バスの改善施策

- ① 運行面における施策
 - 1) 都市新バスシステムの導入(専用レーンと高頻度運行) (略)
 - 2) 都市高速バスの整備 (略)
 - 3) バス路線網の再編

都心部におけるバス路線のあり方としては、鉄軌道系輸送のフィーダー輸送サービス及び鉄軌道系輸送で対応し難い輸送を担うという考え方を基本にして、都市高速道路経由のバス運行も含めたバス路線網の再編整備、バスと鉄道の結節機能の強化を図り、バスと鉄軌道相互の有機的な連携を通じて両者の共存共栄を図るものとする。

- 4) 交通実態に即したバスの運行の工夫
 - イ) フリー乗降の活用 (略)
 - ロ) 昼間時バス運行の特定時間帯集中化 (略)

② サービス面における施策

1) 情報案内の充実

交通圏内外から福岡市に入ってくる場合の玄関口ともいえる福岡空港、博多港旅客船ターミナル、JR博多駅、西鉄福岡駅、福岡都心において多数の交通線が結節し、多数の利用者が乗降する地下鉄博多駅、地下鉄天神駅、多数のバス路線系統が集中発着する博多駅の福岡交通センター（博多）、福岡バスターミナル（天神）等においては、地域事情に不案内な県外等の乗降者が各方面のバス等に乗継ぐところであるので、バス路線網をはじめ乗継ぎ交通機関の種類、運賃、経路、ダイヤ、待時間等の関係情報のいきとどいた案内サービスを充実させていく必要がある。

2) バスロケーションシステムの整備拡充（略）

③ 走行環境改善のための施策（略）

④ 移動の連続性の確保のための施策

1) バスターミナル等の整備

地下鉄1号線の空港延伸を踏まえ、空港における乗継ぎバスターミナルのあり方を検討し、その機能も兼ねて福岡市南東方面からのバス系統の発着を総合的に処理する拠点ターミナルづくりについても検討していくものとする。

2) バスアンドライドの推進（略）

(6) 海上交通（略）

(7) ツインドーム交通施策

シーサイドももち地区に、平成4年完成を目途にツインドーム建設計画が推進されており、これが完成すれば、年間700万人の利用が見込まれる。このツインドームへの利用客の輸送は、公共交通機関の利用促進が図られるよう交通対策を講じていく必要がある。具体的には、都市高速道路や荒津豊浜線などの幹線道路を活用したバス網の拡充や、最寄りの地下鉄1号線唐人町駅や西新駅などからの連絡バスの運行を計画するとともに、バスターミナル的機能等を有する交通施設の整備に努める。

福岡都市高速鉄道路線等について

(昭和47年2月22日 都市交通対策特別委員会決定)

本委員会は、過去数回にわたり、福岡市における高速鉄道の路線等について検討した結果、おおむね次のような中間的結論を得たが、今後さらに財政的、技術的検討を加えて最終的結論を得ることとした。

第1 計画路線について

1. 計画路線として次の3つが考えられる。
 - (1) 東南部から西部方面に至る路線として、空港から博多駅、呉服町、天神を經由して西新、姪浜方面にて筑肥線と直通運転を行なう路線（以下「1号線」という。）
 - (2) 東北部方向に至る路線として、天神から呉服町、千代町、馬出及び箱崎網屋立筋を經由して宮地岳線と直通運転を行なう路線（以下「2号線」という。）
 - (3) 西南部住宅地区と博多駅地区及び西区の区民センターを結ぶと共に、渡辺通り1丁目地区の再開発をはかり、また六本松の交通緩和対策を考慮した路線として、早良口、野芥、片江、屋形原、高宮、博多駅、渡辺通り1丁目、天神、六本松等を經由する路線（以下「3号線」という。）
2. 1号線及び2号線については、いずれも本市の現在までの集積を考慮して、おおむね国道202号線を通ることが適当であると考えられる。

第2 機種について

1. 1号線及び2号線については、他の鉄道との直通運転との関係からいずれも地下鉄とする。
2. 3号線については、モノレールや札幌方式についても今後なお検討することが必要である。

第3 開通時期等について

1. 1号線及び2号線については、現下の交通情勢に対応するとともに国際的諸行事との関係もあり、昭和53年春の開通を目途に建設を進めるべきである。
2. 3号線についても、1号線及び2号線に引き続き早期に開通すべきである。

福岡都市高速鉄道の建設に伴う経営（建設）主体並びに緊急に建設すべき路線等について

(昭和48年2月21日 都市交通対策特別委員会決定)

本特別委員会は、昭和47年2月22日「福岡都市高速鉄道路線等について」の中間的結論を得たところであるが、さらに昭和47年4月以降今日まで、計6回の委員会を重ね、高速鉄道建設の実現について残された種々の問題について、財政的・技術的検討を加え調査研究を続けてきた結果、経営（建設）主体並びに緊急に建設すべき路線等について、次のような結論に達した。

なお、これが建設にはまだ多くの研究課題が残されており、今後も積極的に調査研究を進める必要があり、而して現下の都市内交通の打開策をはかるものである。

I 経営（建設）主体について

高速鉄道建設に伴う経営（建設）主体については都市交通機関がになう公共性・社会性から、また高速鉄道建設に関する現行の国の補助制度等を勘案すると、福岡市が経営（建設）主体となることが適当である。

II 緊急に建設すべき路線について

緊急に建設すべき路線としては、交通需要と輸送効率、建設資金の確保などの観点から、第1次建設分としては、特に緊急を要する次の区間が適当である。

- (1) 1号線のうち、博多駅から呉服町、天神、西新を經由して姪浜に至る9.5キロメートルの区間。
- (2) 2号線のうち、中洲附近から千代、馬出を經由して箱崎松原に至る3.7キロメートルの区間。

III 路線建設に当たっての附帯事項について

(1) 車両基地について

車両基地は、初期投資を要するも将来を展望した場合、自線内に設けることが有利であり、現市内では西部方面が適当である。

(2) 他の路線との直通運転について

乗客の利便、運転効率等の観点から1号線と2号線は中洲附近において直通運転することが望ましい。また、1号線の姪浜で国鉄筑肥線との直通運転及び2号線の箱崎松原で西鉄宮地岳線との直通運転の問題に関しては早期に関係者と協議を行い、結論を得るべきである。

(3) 建設年次について

1号線及び2号線のうち、緊急に建設すべき区間については昭和49年度には建設に着手し、遅くとも、昭和53年春には開業すべきが望ましい。

IV 今後の研究課題について

- (1) 1号線のうち、博多駅から空港間及び3号線については緊急建設区間につづいて緊急性の高い区間から順次建設に着手すべきである。

また、3号線の機種については、今後なお慎重な検討を行ない早期に結論をだすべきである。

- (2) 補完交通機関については早急に対策を講ずるべきである。

高速鉄道の整備計画

(昭和49年2月20日 福岡都市圏交通対策協議会決定)

1. 高速鉄道路線

昭和46年3月11日付け都市交通審議会答申第12号「福岡市及び北九州市を中心とする北部九州都市圏における旅客輸送力の整備増強に関する基本的計画について」において新設が必要とされた路線のうち、福岡市にかかるものについては、次のとおり整備することが適当である。

(1) 都心部から西南部方面に至る路線及び都市部から福岡空港方面に至る路線

福岡空港から博多駅、呉服町、中洲、天神及び西新を経て姪浜に至る路線（以下「1号線」という。）とする。

(2) 都心部から箱崎方面に至る路線

中洲附近から千代町及び馬出を経て貝塚に至る路線（以下「2号線」という。）とする。本路線は、西鉄宮地岳線と直通運転を行なうことが望ましいが、当面の措置としては、貝塚において西鉄宮地岳線と連絡する。

1号線と2号線は、直通運転を行なうことが望ましい。

[付 記]

上記路線のほか、福岡市南部及び西南部地域の今後の発展に対応して、将来これらの地域と都心部を連絡する路線の建設について検討する必要がある。

2. 緊急整備区間

次の区間は、増大する交通需要にかんがみ、近い将来既設路面交通機関の輸送限界を超え、また道路混雑によって道路機能が麻痺状態に陥ることが予想されるので、これを救済するために早急な整備が必要である。

(1) 1号線のうち、博多駅から呉服町、中洲、天神及び西新を経て姪浜に至る区間9.7km

(2) 2号線 5.0km

上記路線は、おおむね別表上欄に掲げる整備計画によって建設を行うことが適当であり、これにはおおむね別表下欄に掲げる資金を必要とする。

3. 高速鉄道の方式

1号線、2号線とも地下高速鉄道とする。

4. 経営（建設）主体

都市交通機関がになう公共性、高速鉄道建設に関する現行の国の補助制度等からみて、福岡市が経営（建設）主体となるのが適当である。

5. 工事期間中の交通対策

地下高速鉄道の建設にあたっては、建設工法との関係から建設工事前に路面電車貫線及び呉服町線を撤去する必要があり、また、建設工事のため国道202号線が相当に狭隘となることから、工事区間及びその周辺においては、大幅な輸送力の低下、交通渋滞、道路交通安全の悪化等が予想される。そのため関係機関による協議会を設置する等により、路面電車城南線のバス代替、道路の整備、交通規制、歩行者安全施設の整備、自家用自動車の都心乗入れ抑制等抜本的な交通対策を工事着工前半年頃までに樹立し、その実施を推進する必要がある。

経営理念

私たちは、日常を支える公共交通機関として、安全・安心を何よりも優先するとともに、質の高いサービスの提供にチャレンジし続けることで、お客様と福岡のまちの笑顔と元気を運びます。

<経営理念に込めた思い>

『日常を支える』

私たちは、市民生活を支える足であり、このまちを訪れる人々の足である、福岡の日常を支える都市基盤としての責務を自覚し、その役割を果たします。

『安全・安心を何よりも優先する』

私たちは、安全・安心な輸送サービスの提供を使命とし、安全が全てに優先する判断基準であるとの認識のもと、お客様に信頼される地下鉄を目指します。

『質の高いサービスの提供にチャレンジし続ける』

私たちは、お客様により満足いただける高品質なサービスの提供を目指し、現状に満足せず、果敢に挑戦し続けます。

『お客様と福岡のまちの笑顔と元気を運ぶ』

私たちは、お客様一人ひとりの幸せと福岡のまちの発展に貢献します。



発行 令和 4 年 7 月

福岡市交通局総務課

TEL 092 (732) 4106

印刷 株式会社 谷口印刷所

この印刷物は再生紙を使用
しています。